

**IV****障害者生活実態調査の結果**

身体・知的障害者、難病患者		
回答者の属性 (単位：人)		
性別		
男		531
女		452
無回答		5
合計		988
年齢		
5歳以下		9
6-18歳		52
19-39歳		94
40-64歳		307
65-69歳		124
70歳以上		398
無回答		4
合計		988

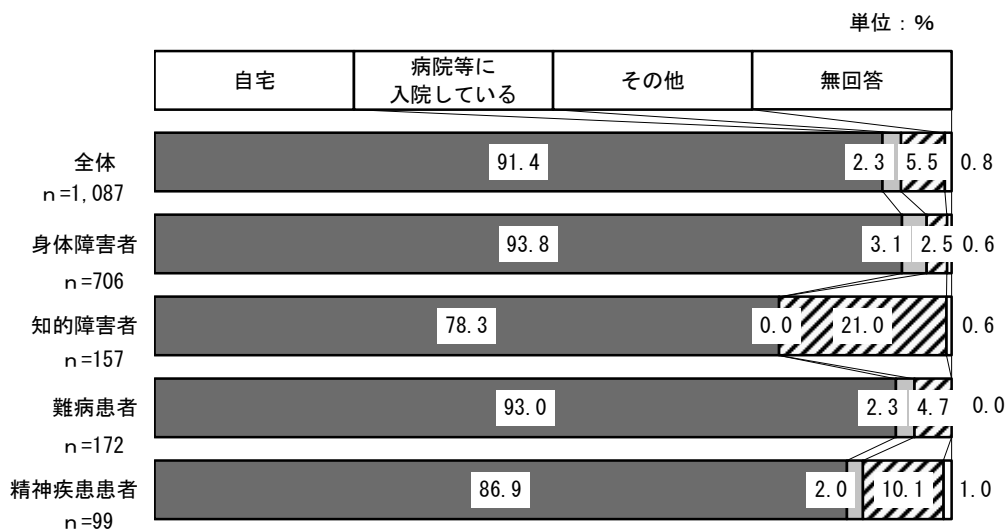
精神疾患患者		
回答者の属性 (単位：人)		
性別		
男		50
女		47
無回答		2
合計		99
年齢		
5歳以下		0
6-18歳		0
19-39歳		27
40-64歳		61
65-69歳		8
70歳以上		1
無回答		2
合計		99



# 1 基本属性

## (1) 現在の居所

問1 あなた（あて名ご本人）は、現在どちらで生活していますか。  
[1つに○]

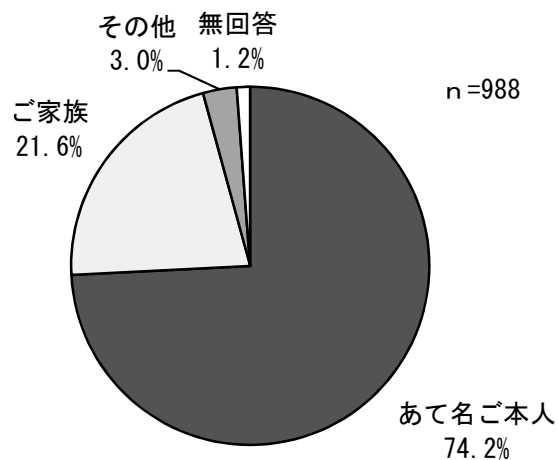


現在の居所については、すべての種別で「自宅」が7割台後半～9割台前半と最も多くなっています。

## (2) 記入者

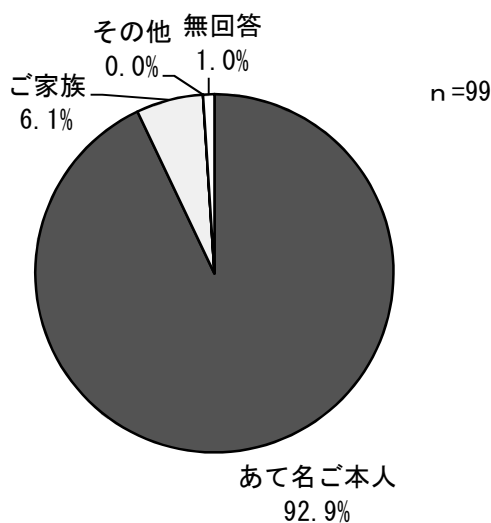
問2 この調査票はどなたがご記入されますか。[1つに○]

[身体・知的障害者、難病患者]



調査票記入者については、身体・知的障害者、難病患者では「あて名ご本人」(74.2%)が最も多く、次いで「ご家族」(21.6%)が多くなっています。

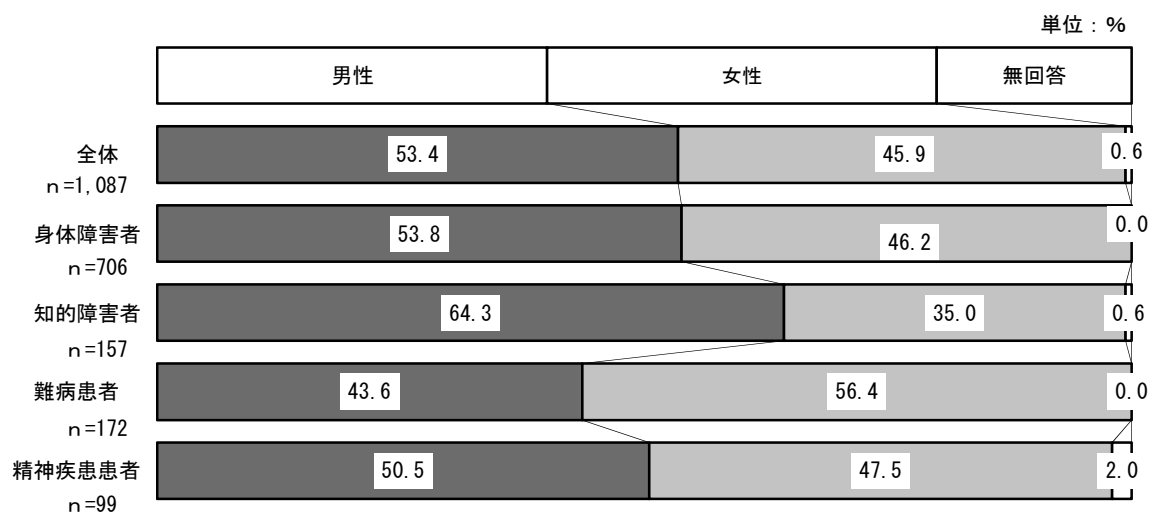
[精神疾患患者]



精神疾患患者では、「あて名ご本人」(92.9%)が最も多く、次いで「ご家族」(6.1%)が多くなっています。

(3) 性別

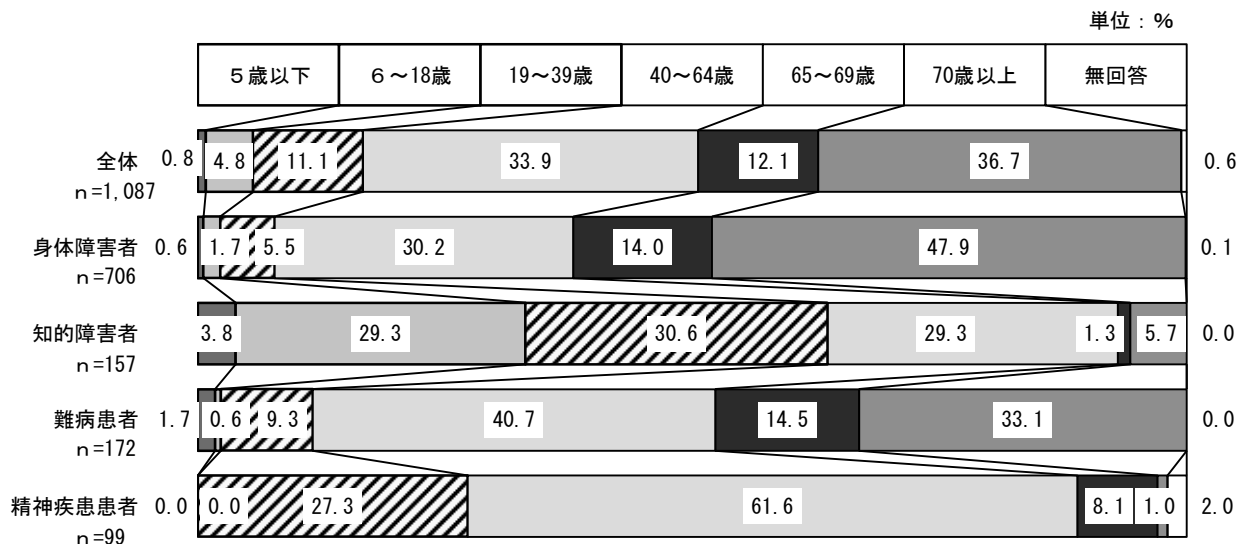
問3 あなたの性別は次のうちどれですか。[1つに○]



身体障害者、知的障害者、精神疾患患者では、過半数を占めて「男性」が多くなっています。一方で、難病患者は「女性」が56.4%とやや多くなっています。

(4) 年齢

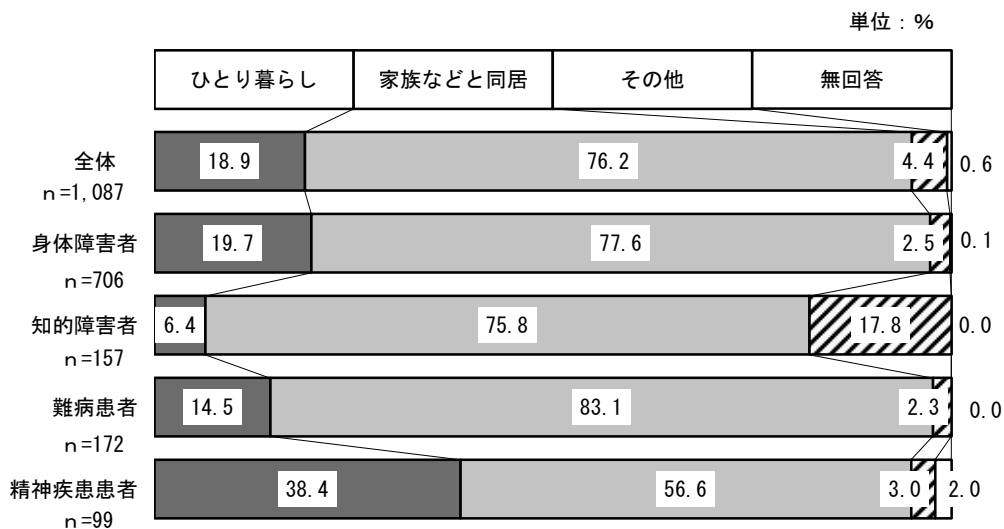
問4 あなたの年齢は次のうちどれですか。[1つに○]



身体障害者では「70歳以上」(47.9%)、知的障害者では「19~39歳」(30.6%)が最も多くなっています。また、難病患者、精神疾患患者はともに「40~64歳」(それぞれ40.7%、61.6%)という回答が最も多くなっています。

(5) 家族構成

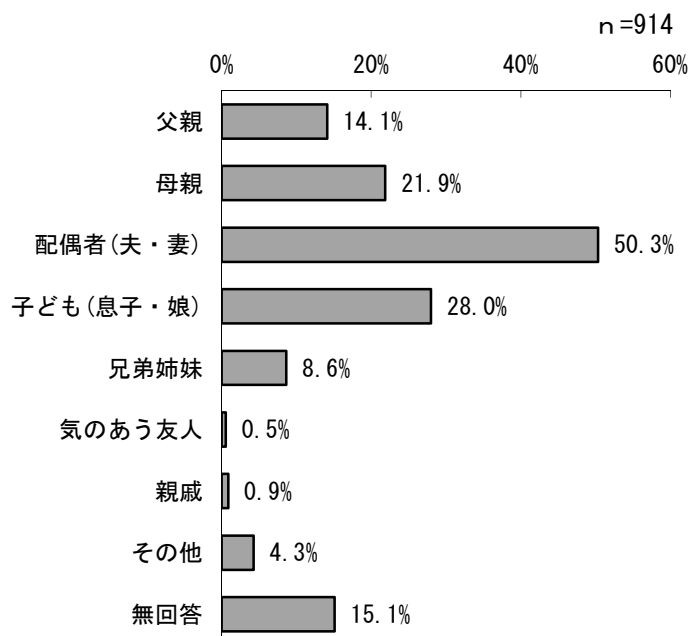
問5 家族構成をお教えてください。[1つに○]



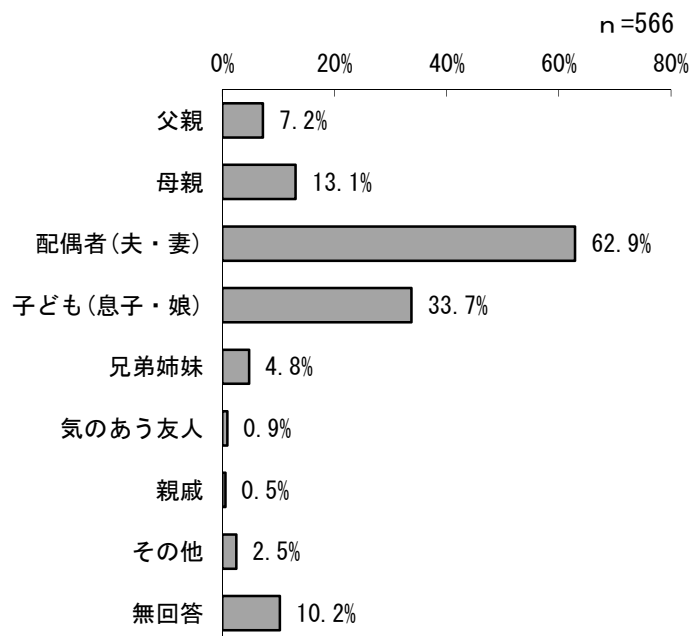
すべての種別で「家族など同居」が過半数以上を占め、最も多くなっています。

問5で「1.ひとり暮らし」以外に答えた方におたずねします。  
 問5-1 同居されている方はどなたですか。[いくつでも〇]

[全体]

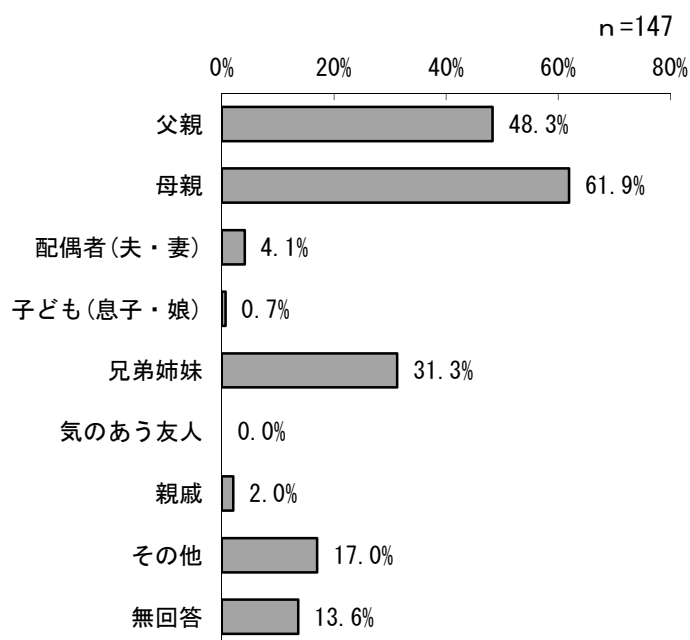


[身体障害者]



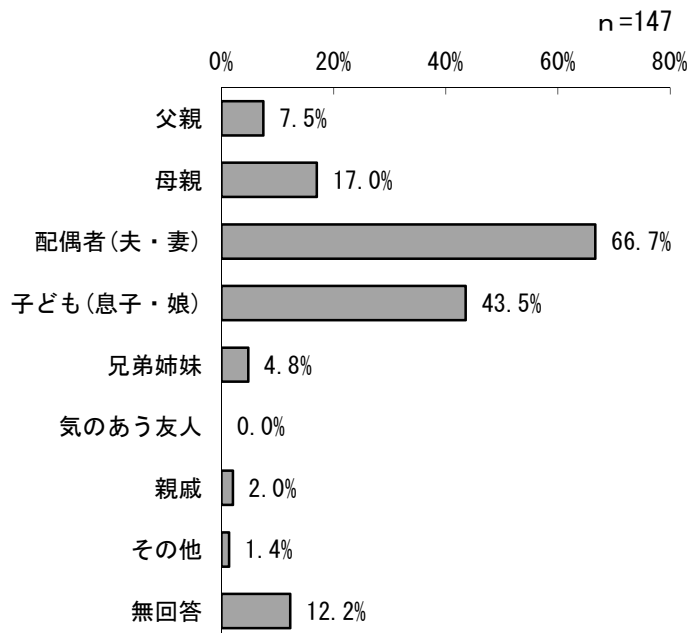
同居家族については、身体障害者では「配偶者」(62.9%)が最も多く、次いで「子ども」(33.7%)、「母親」(13.1%)の順で続いています。

### [知的障害者]



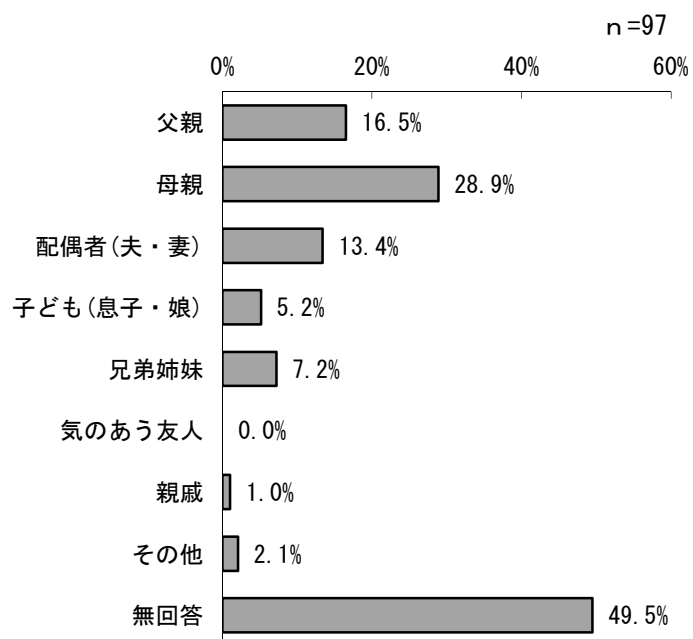
知的障害者では「母親」(61.9%)が最も多く、次いで「父親」(48.3%)、「兄弟姉妹」(31.3%)の順で続いています。

### [難病患者]



難病患者では「配偶者」(66.7%)が最も多く、次いで「子ども」(43.5%)、「母親」(17.0%)の順で続いています。

[精神疾患患者]



精神疾患患者では、回答があった中では「母親」(28.9%)が最も多く、次いで「父親」(16.5%)、「配偶者」(13.4%)の順で続いています。

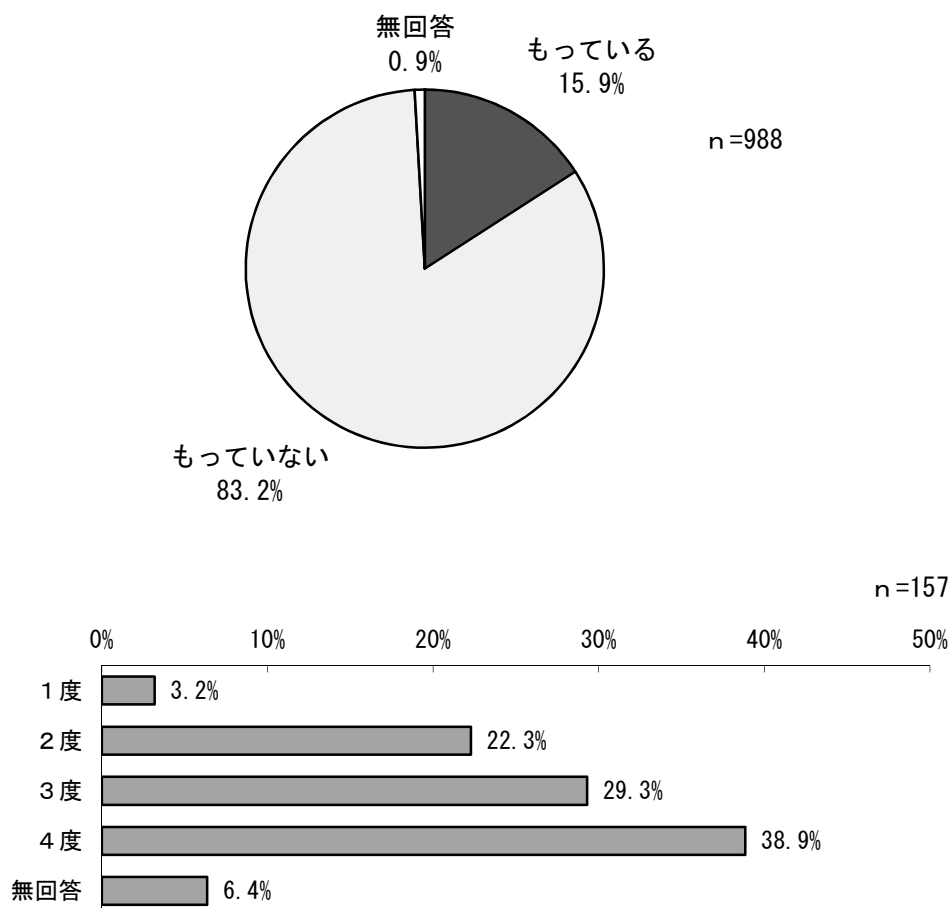


## (6) 愛の手帳の取得状況と度数

問6 次の手帳等をお持ちですか。

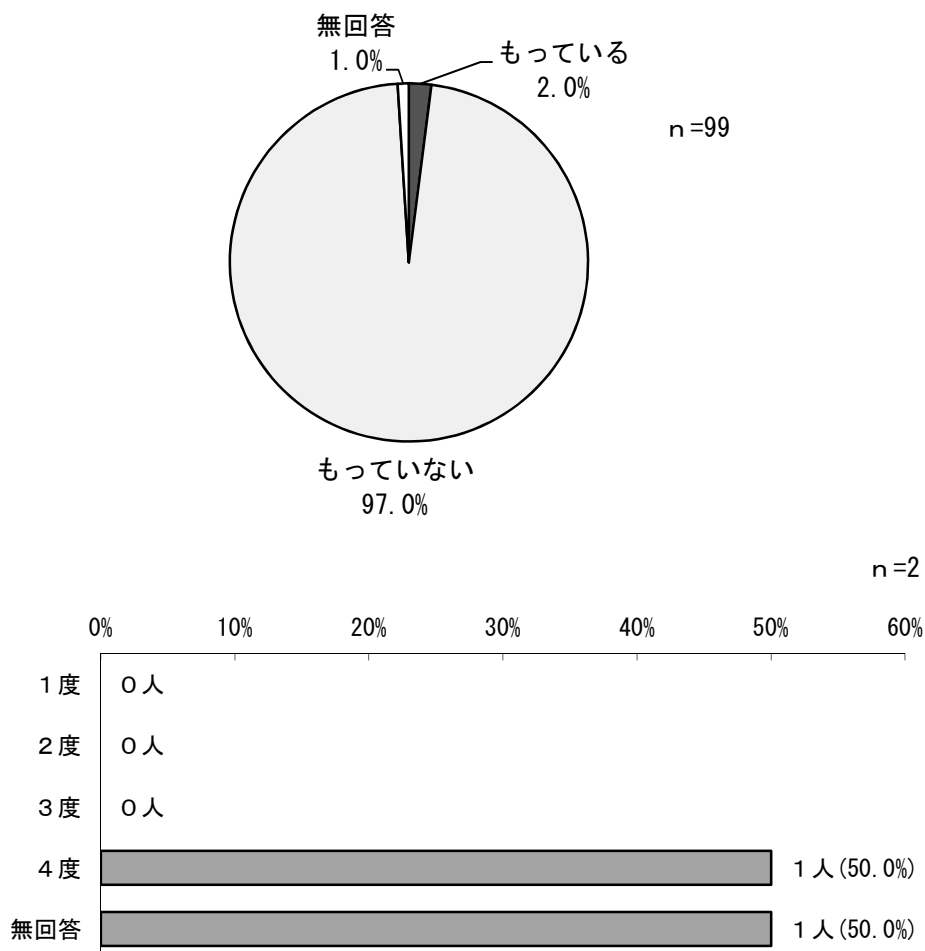
(1) 愛の手帳[1つに○]

[身体・知的障害者、難病患者]



愛の手帳の取得状況については、身体・知的障害者、難病患者では「もっていない」が83.2%、「もっている」が15.9%となっています。また、「もっている」と回答した157人に度数について聞いたところ、「4度」(38.9%)、「3度」(29.3%)が多くなっています。

[精神疾患患者]



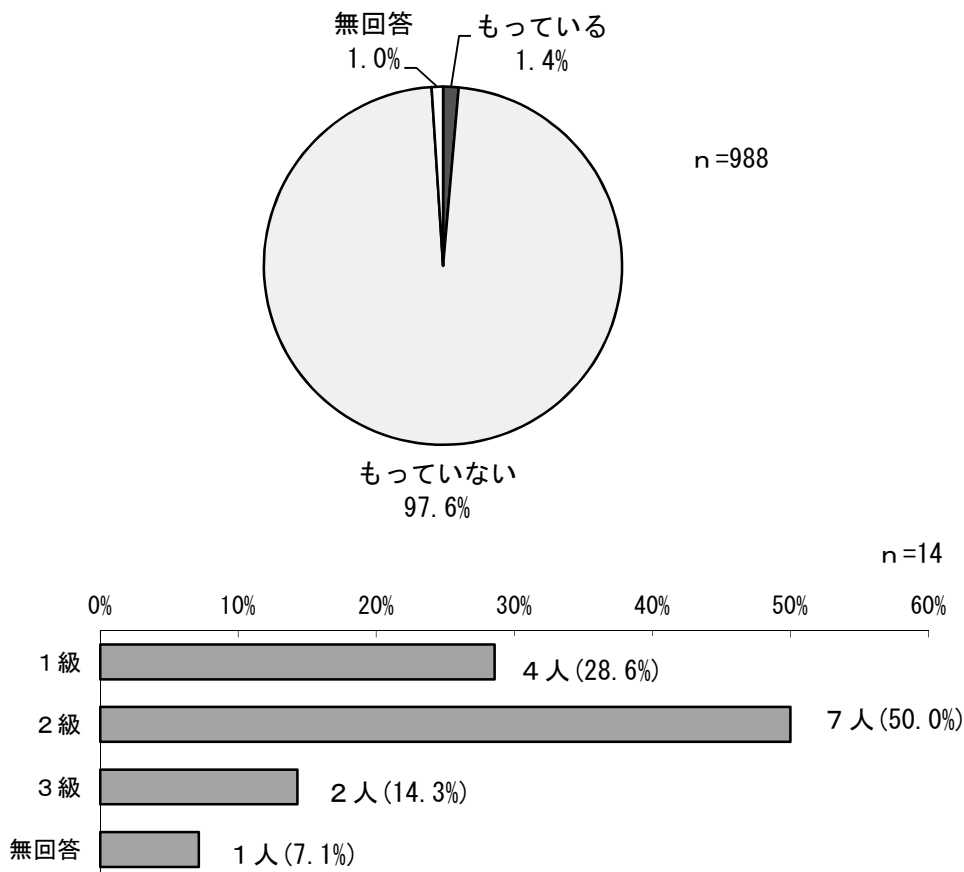
精神疾患患者では、「もっていない」が97.0%、「もっている」が2.0%となっています。また、「もっている」と回答した2人に度数について聞いたところ、「4度」と「無回答」（ともに2人中1人〔参考値：50.0%〕）となっています。

(7) 精神障害者保健福祉手帳の取得状況と等級

問6 次の手帳等をお持ちですか。

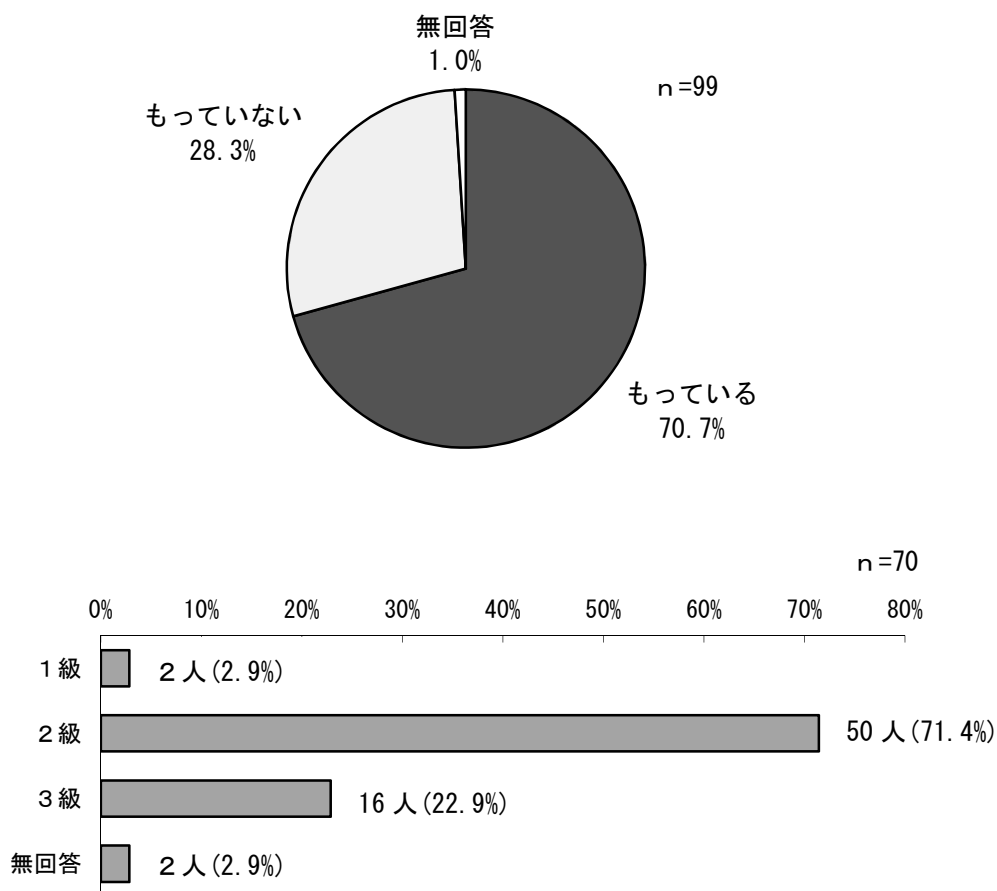
(2) 精神障害者保健福祉手帳 [1つに○]

[身体・知的障害者、難病患者]



精神障害者保健福祉手帳の取得状況については、身体・知的障害者、難病患者では「もっていない」が97.6%、「もっている」が1.4%となっています。また、「もっている」と回答した14人に等級について聞いたところ、「2級」(14人中7人〔参考値：50.0%〕)が最も多く、次いで「1級」(同4人〔参考値：28.6%〕)が多くなっています。

[精神疾患患者]



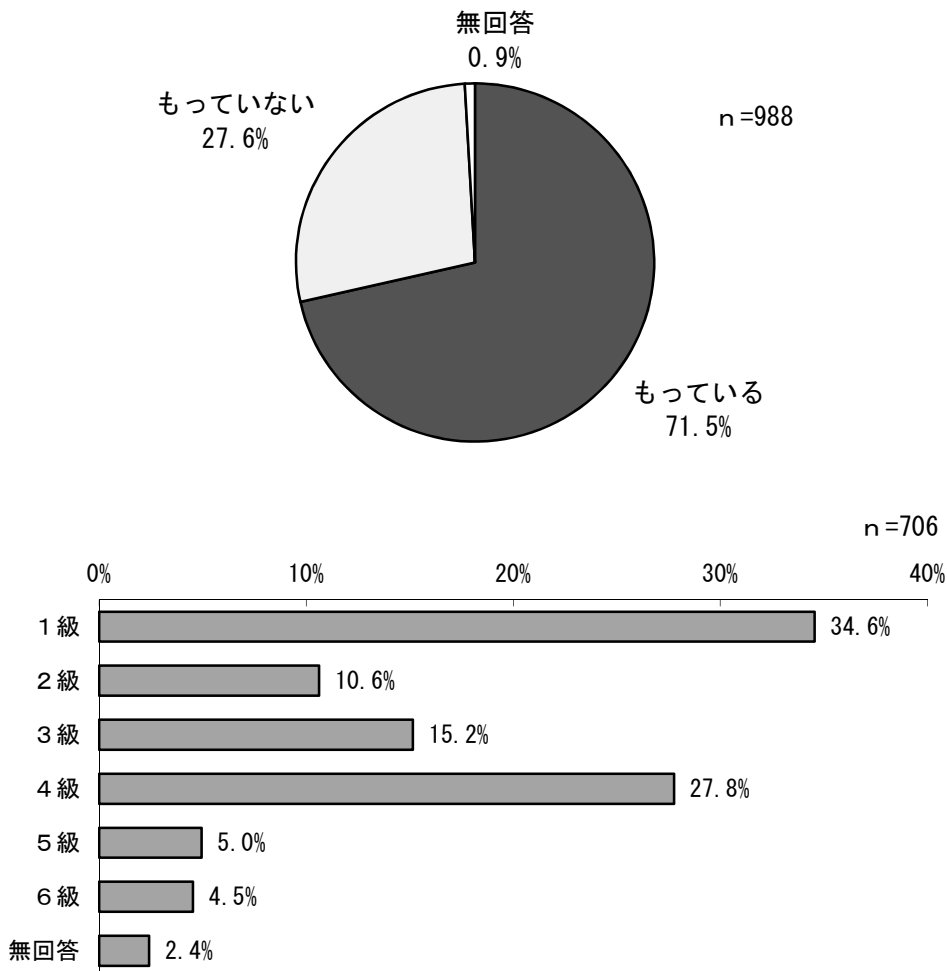
精神疾患患者では、「持っている」が70.7%、「もっていない」が28.3%となっています。また、「持っている」と回答した70人に等級について聞いたところ、「2級」(70人中50人〔参考値：71.4%〕)が最も多く、次いで「3級」(同16人〔参考値：22.9%〕)が多くなっています。

(8) 身体障害者手帳の取得状況と等級

問6 次の手帳等をお持ちですか。

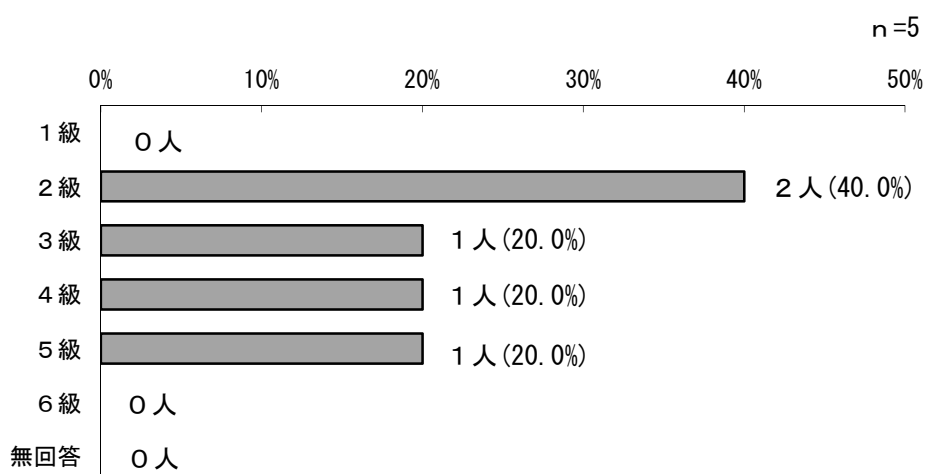
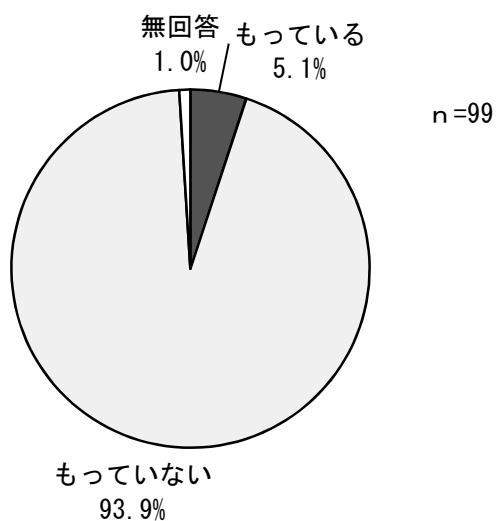
(3) 身体障害者手帳 [1つに○]

[身体・知的障害者、難病患者]



身体障害者手帳の取得状況については、身体・知的障害者、難病患者では「持っている」が71.5%、「もっていない」が27.6%となっています。また、「持っている」と回答した706人に等級について聞いたところ、「1級」(34.6%)が最も多く、次いで「4級」(27.8%)、「3級」(15.2%)の順で続いています。

[精神疾患患者]

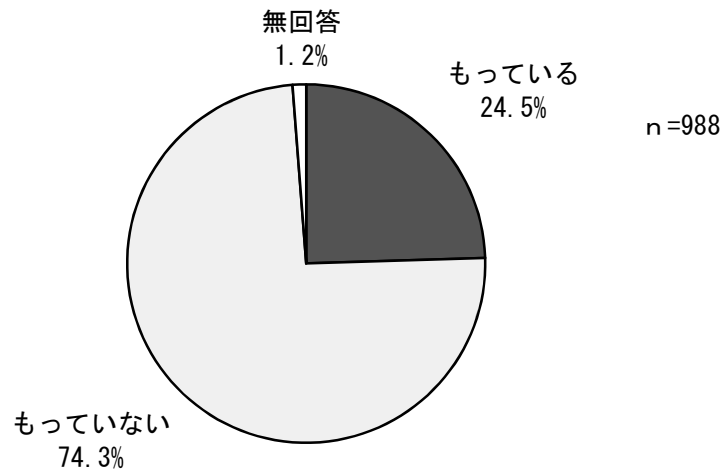


精神疾患患者では、「もっていない」が93.9%、「もっている」が5.1%となっています。また、「もっている」と回答した5人に等級について聞いたところ、「2級」（5人中2人〔参考値：40.0%〕）が最も多くなっています。

(9) 難病医療費助成制度(東京都)の医療券の取得状況  
【身体・知的・難病調査のみ】

問6 次の手帳等をお持ちですか。

(4) 難病及び透析にかかる医療券をお持ちですか。[1つに○]

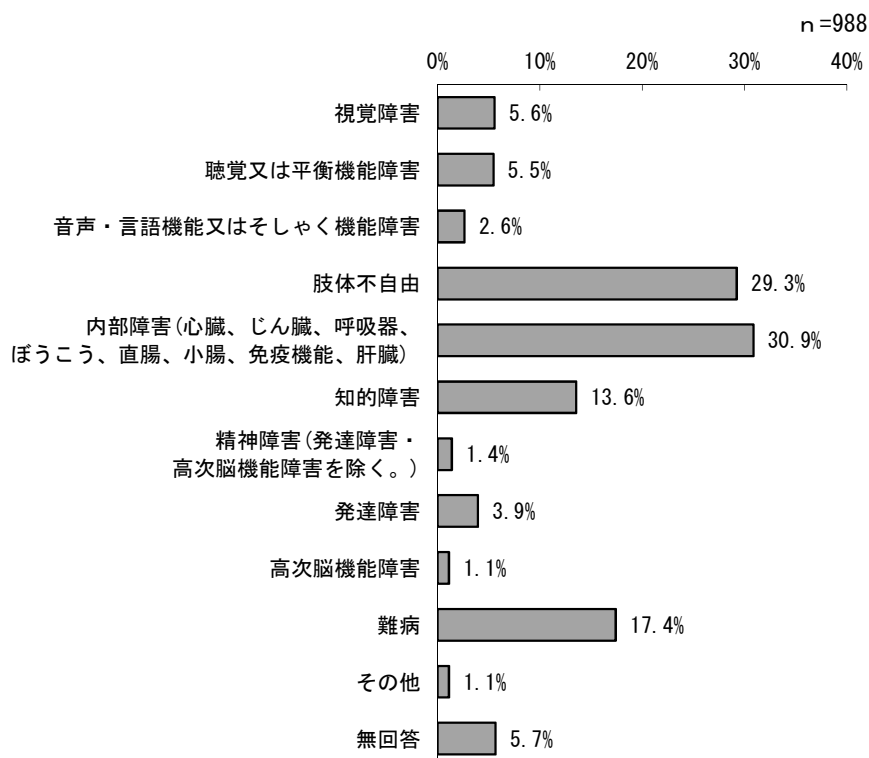


難病医療費助成制度(東京都)の医療券の取得状況については、「もっていない」が74.3%、「持っている」が24.5%となっています。

## (10) 障害の種類と難病の内容

【身体・知的・難病調査のみ】

問7 障害の種類についておたずねします。[いくつでも○]



障害の種類については、「内部障害」(30.9%)、「肢体不自由」(29.3%)が多く、次いで「難病」(17.4%)、「知的障害」(13.6%)の順で続いています。

問7で「10. 難病」と答えた方におたずねします。

問7-1 り患されている疾病の名称をご記入ください。

記入による回答があった158件のうち、主な病名は表の通りです。「潰瘍性大腸炎」が158件中26件と最も多く、「パーキンソン病」と「原発性胆汁性肝硬変」(ともに同12件)、「全身性エリテマトーデス」と「網膜色素変性症」(ともに同10件)の順で続いています。

[主な病名(上位5位まで)]

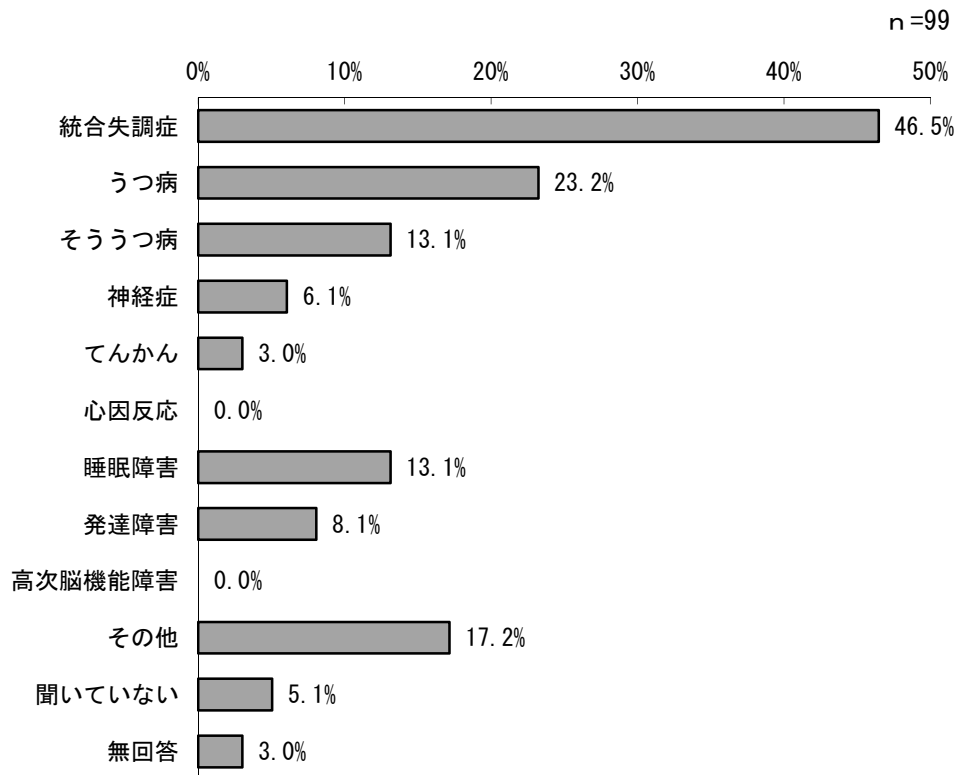
病名	単位(件)
潰瘍性大腸炎	26
パーキンソン病	12
原発性胆汁性肝硬変	12
全身性エリテマトーデス	10
網膜色素変性症	10



(11) 病名

【精神疾患等調査のみ】

問7 あなたは病名について、主治医からどのように聞いていますか。  
[いくつでも○]



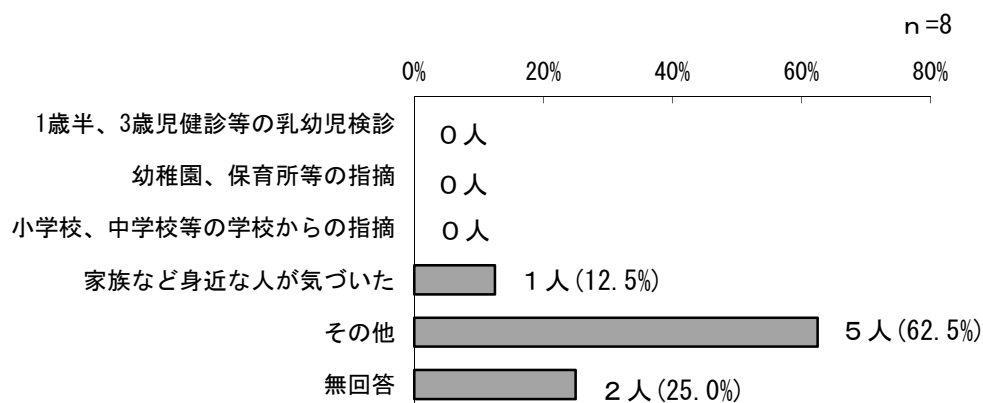
病名については、「統合失調症」(46.5%)が最も多く、次いで「うつ病」(23.2%)、「その他」(17.2%)の順で続いています。

(12) 発達障害がわかったきっかけ

【精神疾患等調査のみ】

問7で「8. 発達障害」と答えた方におたずねします。

問7-1 発達障害がわかったきっかけはどれですか。[いくつでも○]



問7で「発達障害」と回答した8人に、発達障害がわかったきっかけについて聞いたところ、「その他」が8人中5人（参考値：62.5%）となっています。

なお、「その他」で記入があったうち、最も多い回答は「医師からの指摘」でした。

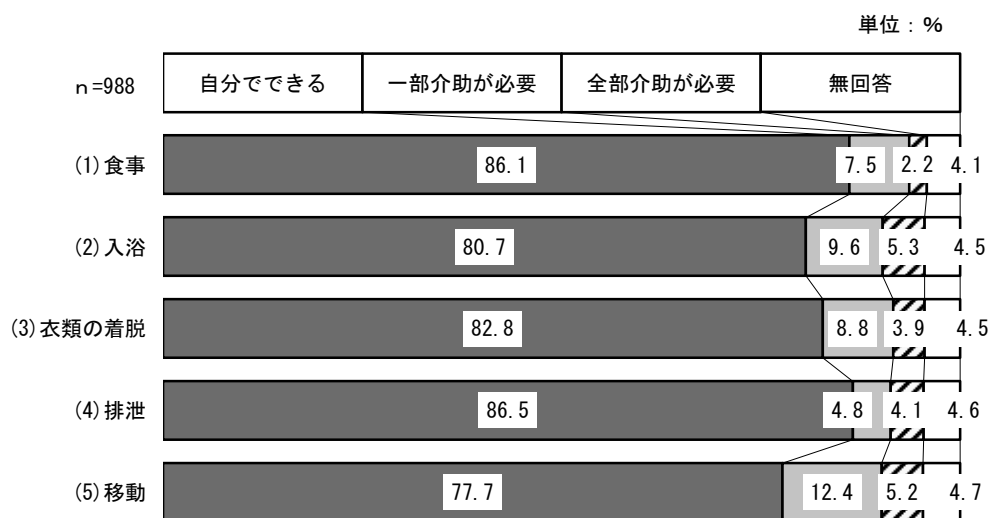
## 2 日常生活について

### (1) 家の中での動作

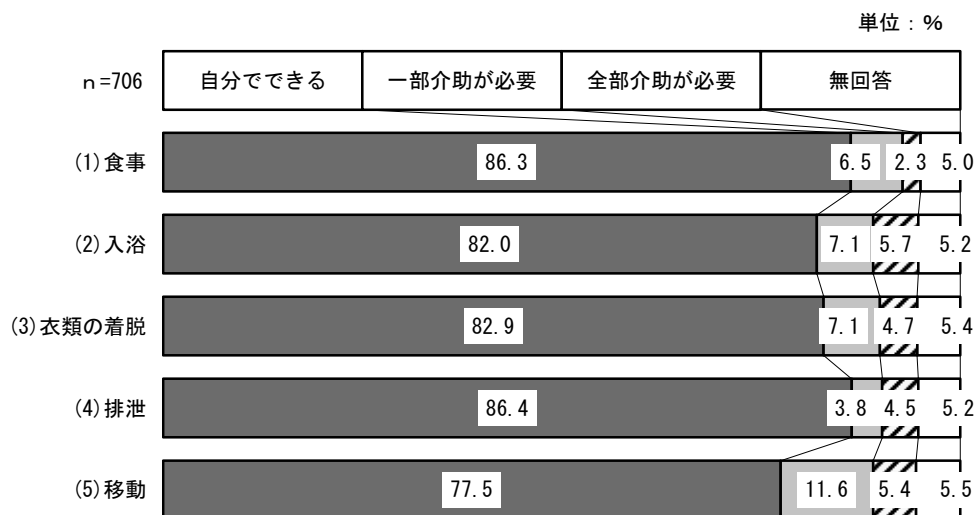
【身体・知的・難病調査のみ】

問8 家の中での次の動作についておたずねします。[それぞれ1つに○]

[全体]

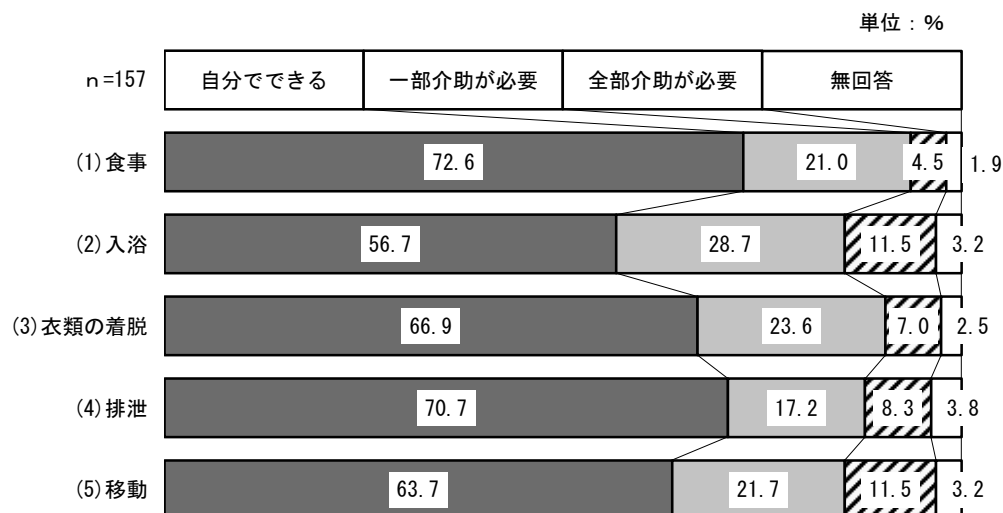


[身体障害者]



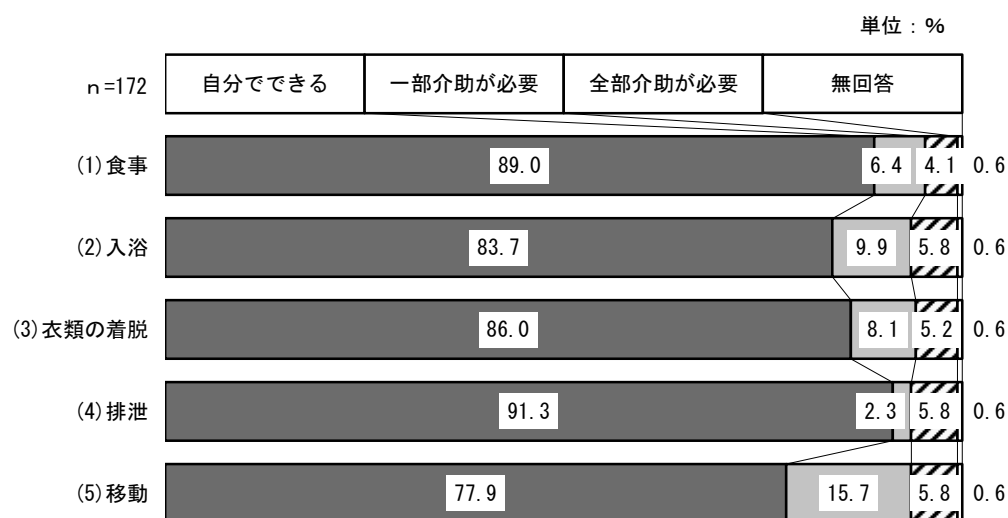
身体障害者の家の中の動作については、すべての動作について「できる」が8割前後となっており、「(5)移動」は「一部介助が必要」が11.6%と多くなっています。

### [知的障害者]



知的障害者の家の中の動作については、「(1) 食事」、「(3) 衣類の着脱」、「(4) 排泄」について、「できる」が7割前後となっています。また、「(2) 入浴」は「一部介助が必要」が28.7%と多くなっています。

### [難病患者]



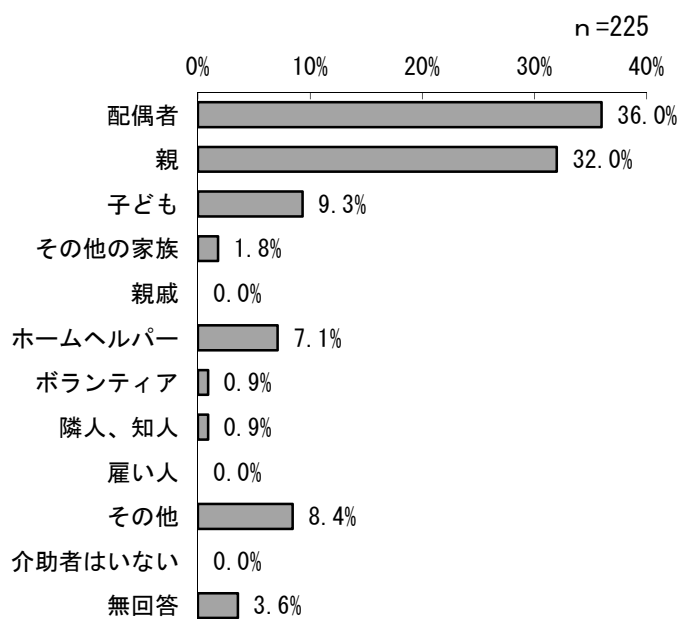
難病患者の家の中の動作については、すべての動作について、「できる」が7割台後半以上となっており、「(5) 移動」は「一部介助が必要」が15.7%と多くなっています。

## (2) 主な介助(支援)者

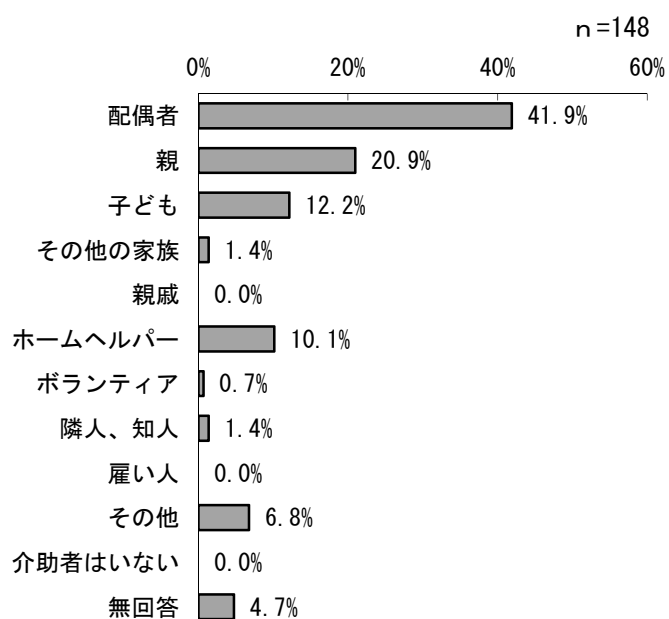
### 【身体・知的・難病調査のみ】

問8のいずれかで、一部介助または全部介助が必要と答えた方におたずねします。  
問8-1 主な介助(支援)者は誰ですか。[1つに○]

#### [全体]

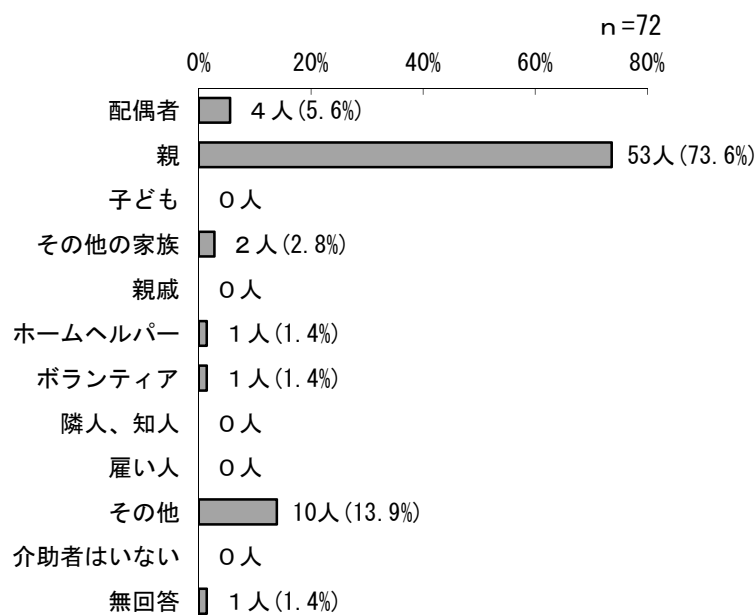


#### [身体障害者]



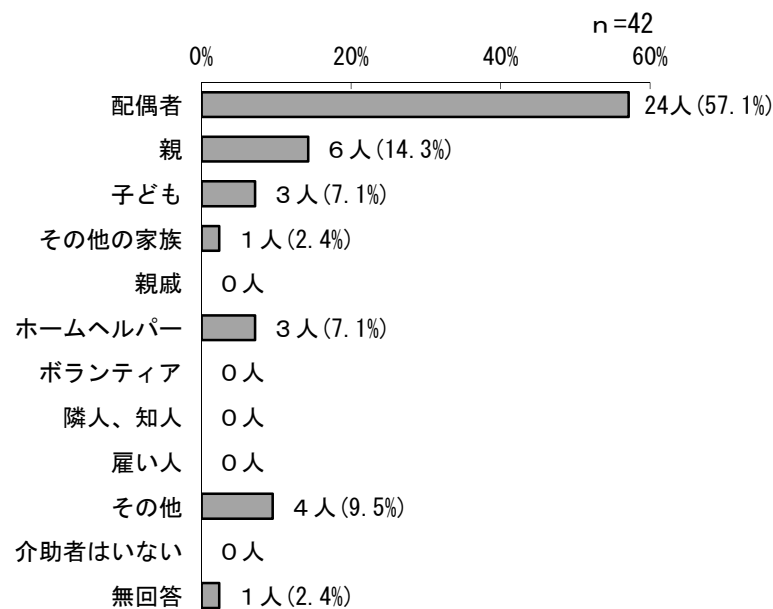
主な介助(支援)者については、身体障害者では「配偶者」(41.9%)が最も多く、次いで「親」(20.9%)、「子ども」(12.2%)の順で続いています。

## [知的障害者]



知的障害者では「親」(72人中53人〔参考値:73.6%〕)が最も多く、かなりの差があって「その他」(同10人〔参考値:13.9%〕)、「配偶者」(同4人〔参考:5.6%〕)の順で続いています。

## [難病患者]

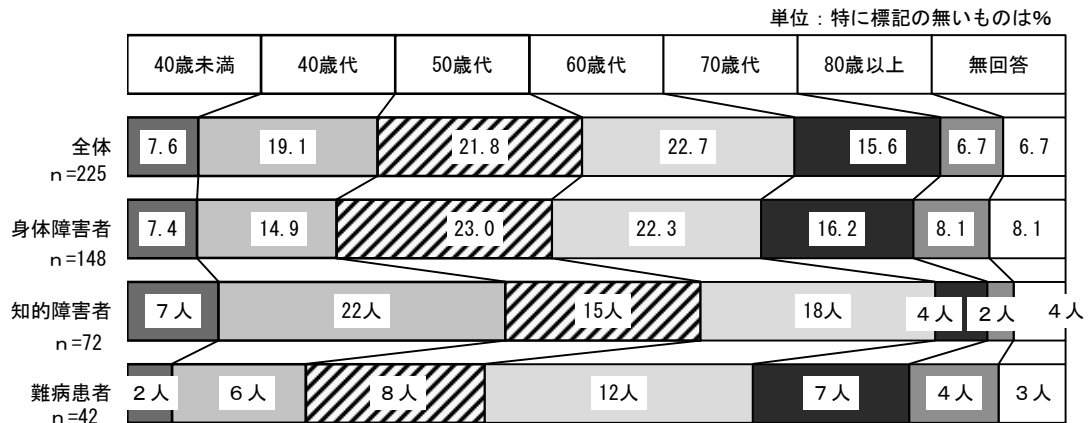


難病患者では「配偶者」(42人中24人〔参考値:57.1%〕)が最も多く、かなりの差があって「親」(同6人〔参考値:14.3%〕)、「その他」(同4人〔参考値:9.5%〕)の順で続いています。

### (3) 主な介助(支援)者の年齢

【身体・知的・難病調査のみ】

問8のいずれかで、一部介助または全部介助が必要と答えた方におたずねします。  
問8-2 主な介助(支援)者の年齢は、どれですか。[1つに〇]

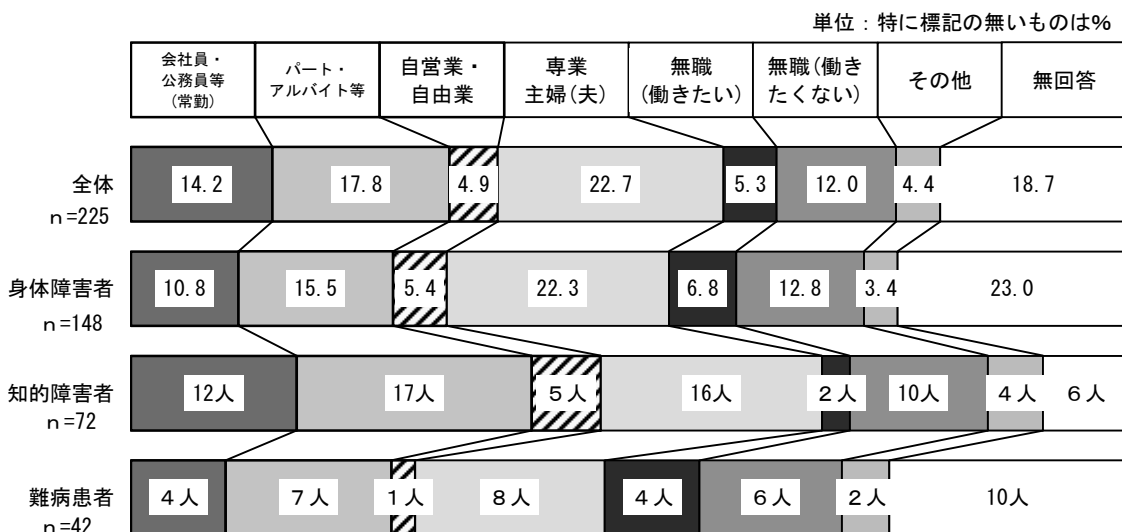


身体障害者では「50歳代」(23.0%)、知的障害者では「40歳代」(72人中22人〔参考値：30.6%〕)、難病患者では「60歳代」(42人中12人〔参考値：28.6%〕)が最も多くなっています。

### (4) 主な介助(支援)者の就労状況

【身体・知的・難病調査のみ】

問8のいずれかで、一部介助または全部介助が必要と答えた方におたずねします。  
問8-3 主な介助(支援)者の就労状況は、どれですか。[1つに〇]

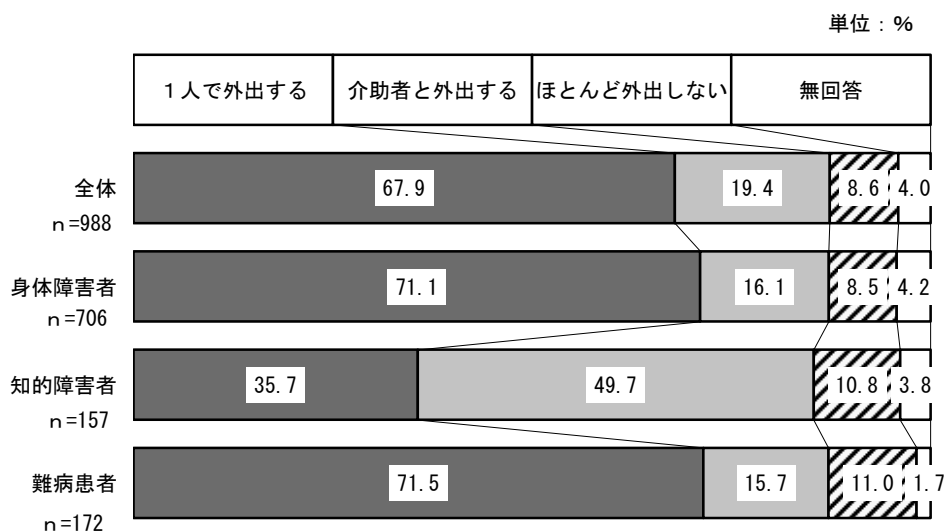


「無回答」を除き、身体障害者、難病患者では「専業主婦(夫)」(それぞれ22.7%、42人中8人〔参考値：19.0%〕)、知的障害者では「パート・アルバイト等」(72人中17人〔参考値：23.6%〕)が最も多くなっています。

(5) 買い物や趣味、遊び、散歩などの外出状況

【身体・知的・難病調査のみ】

問9 買い物や趣味、遊び、散歩などで家から外出されますか。  
 (通学、通院、通勤、施設に通うことは除きます。) [1つに〇]



身体障害者、難病患者では「1人で外出する」が7割を超えて最も多くなっている一方、知的障害者では「介助者と外出する」(49.7%)が最も多くなっています。

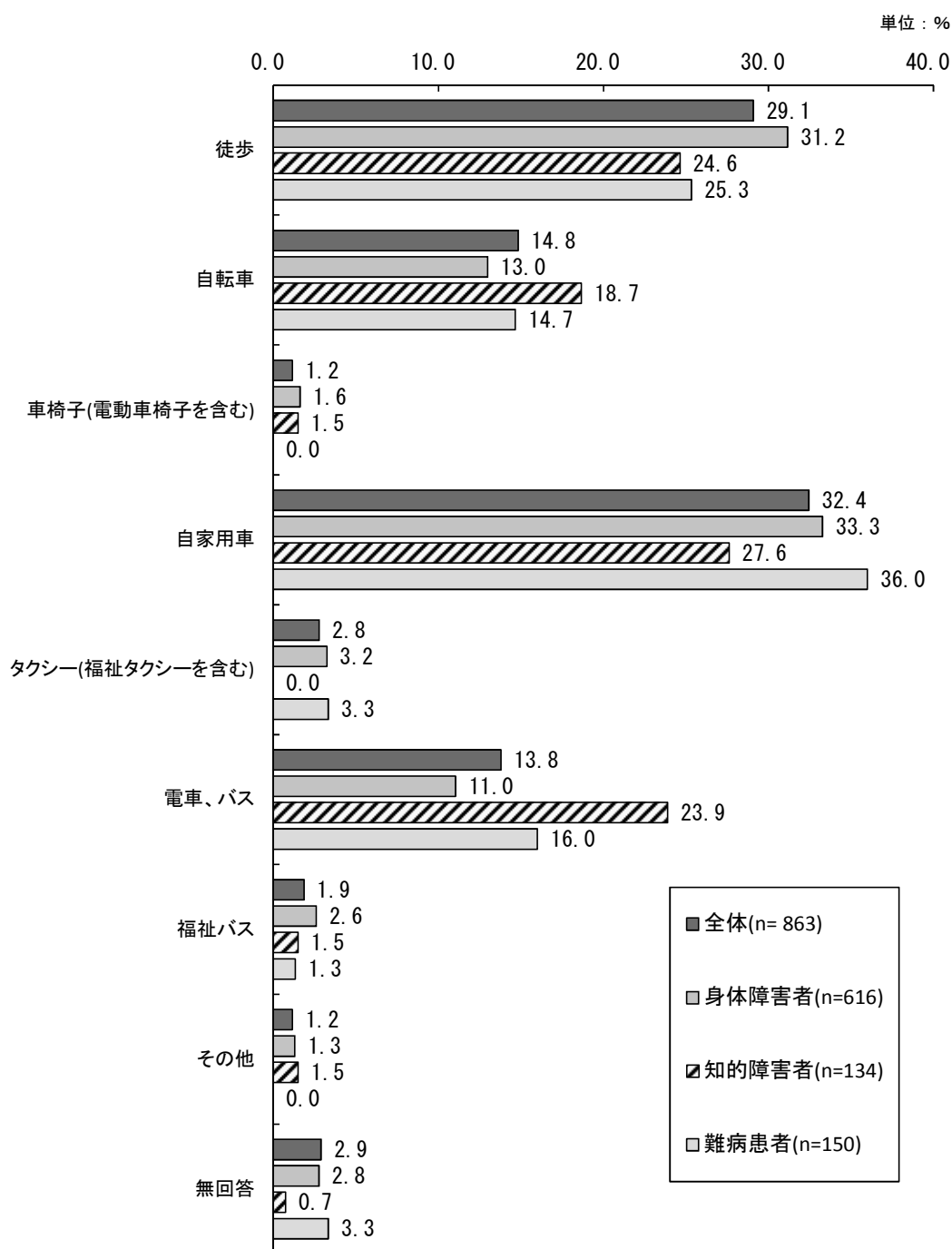


(6) 外出時に最も多い移動方法

【身体・知的・難病調査のみ】

問9で「1. 1人で外出する」または「2. 介助者と外出する」と答えた方におたずねします。

問9-1 外出する最も多い方法は何ですか。[1つに〇]



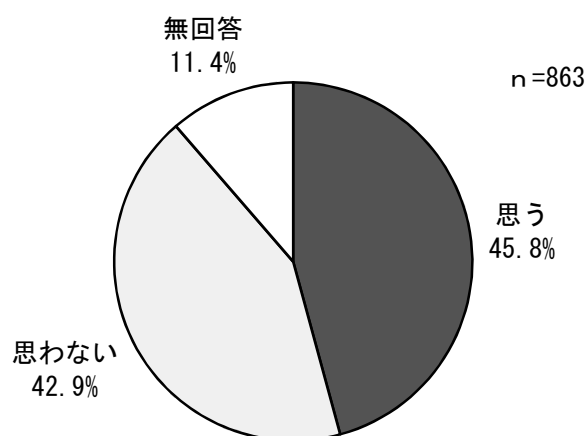
すべての種別で「自家用車」が最も多くなっています(それぞれ 33.3%、27.6%、36.0%)。

### (7) 音響付き信号機の設置希望

【身体・知的・難病調査のみ】

問9で「1. 1人で外出する」または「2. 介助者と外出する」と答えた方におたずねします。

問9-2 外出先で、音響付き信号機があった方がいいと思いますか。[1つに○]



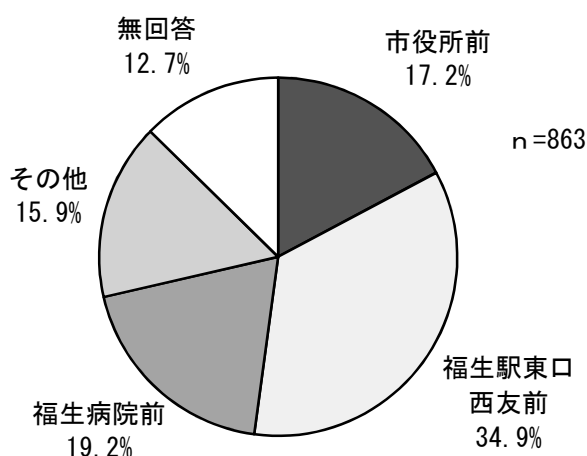
音響付き信号機の設置希望については、あった方がいいと「思う」が45.8%、「思わない」が42.9%で、わずかに「思う」が多くなっています。

### (8) 音響付き信号機の設置場所

【身体・知的・難病調査のみ】

問9-2で「1. 思う」と答えた方におたずねします。

問9-2-1 音響付き信号機を設置してほしい場所は具体的にどこですか。

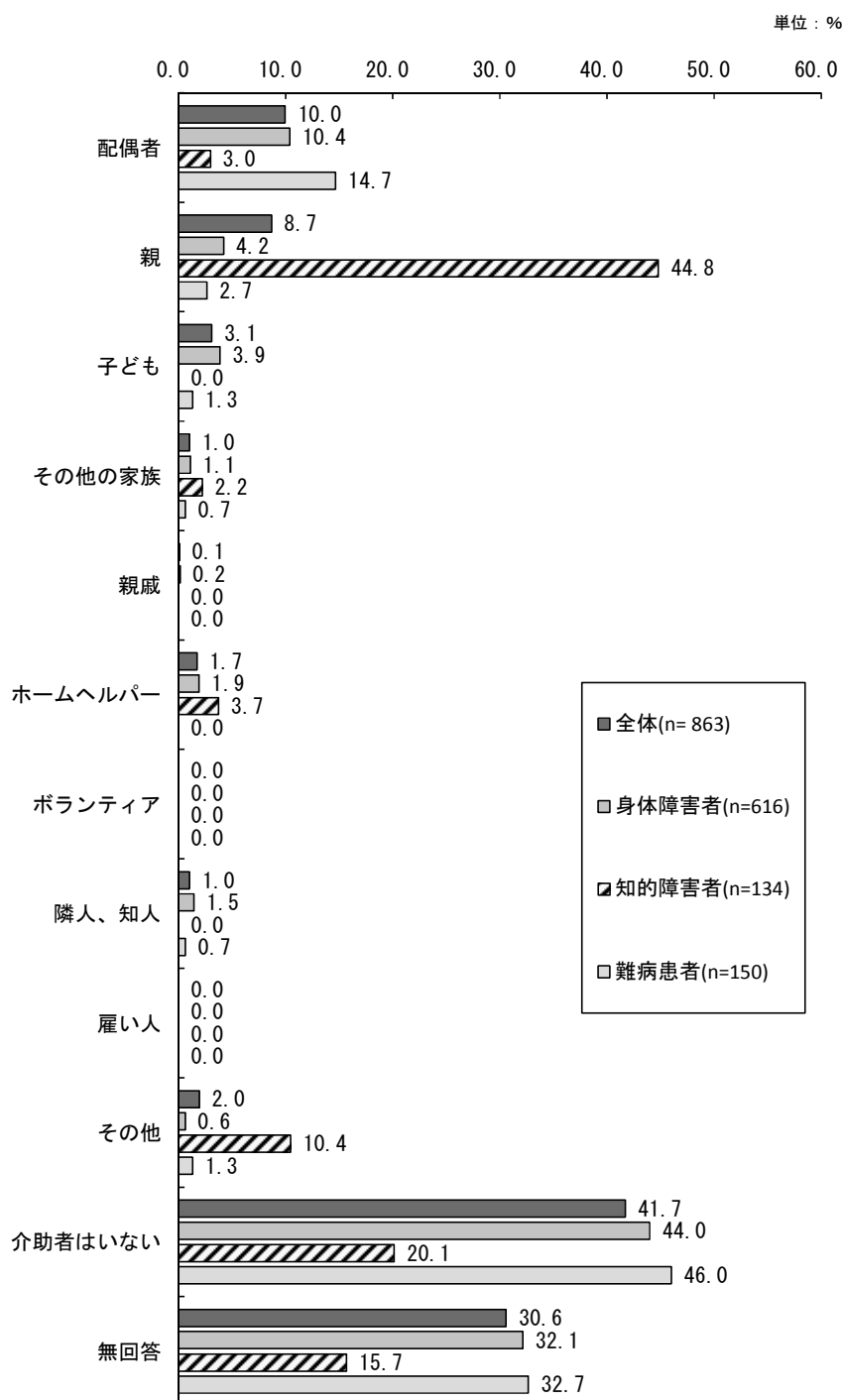


音響付き信号機を設置してほしい場所については、「福生駅東口西友前」が34.9%で最も多く、次いで「福生病院前」(19.2%)、「市役所前」(17.2%)の順で続いています。

(9) 外出時の主な介助者  
【身体・知的・難病調査のみ】

問9で「1. 1人で外出する」または「2. 介助者と外出する」と答えた方におたずねします。

問9-3 外出するときの主な介助者は誰ですか。[1つに〇]



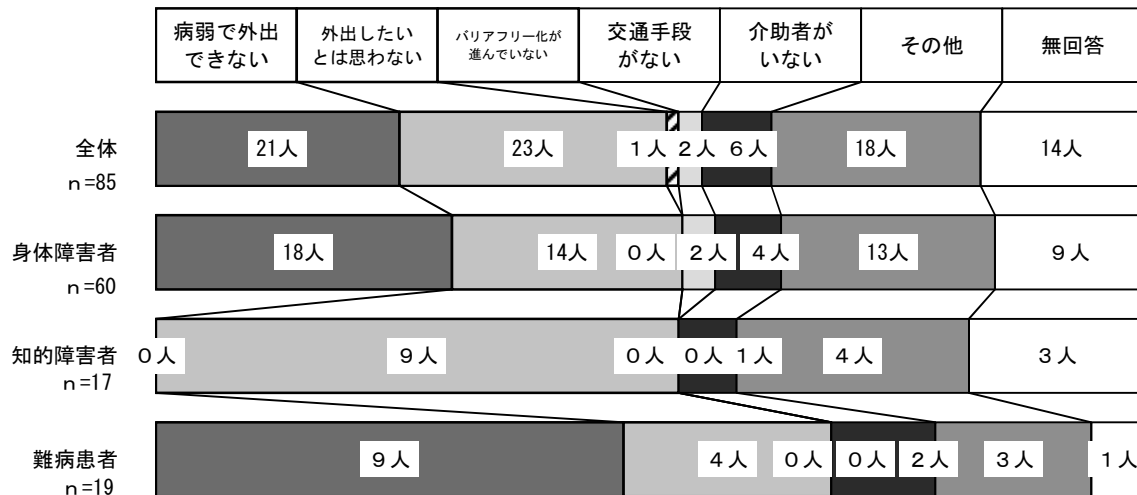
身体障害者、難病患者では「介助者はいない」が4割を超えて最も多くなっている一方、知的障害者では「親」(44.8%)が最も多くなっています。

(10) 外出しない理由

【身体・知的・難病調査のみ】

問9で「3. ほとんど外出しない」と答えた方におたずねします。

問9-4 外出しない理由は何ですか。[1つに〇]

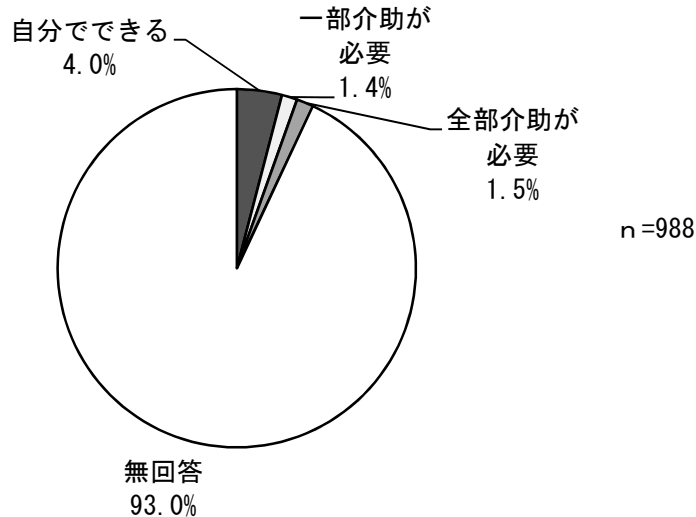


身体障害者、難病患者では「病弱で外出できない」（それぞれ60人中18人〔参考値：30.0%〕、19人中9人〔参考値：47.4%〕）が最も多くなっています。一方で、知的障害者では「外出したいと思わない」（17人中9人〔参考値：52.9%〕）が最も多くなっています。

(11) 外出(通学、通院、通勤または通所)について  
【身体・知的・難病調査のみ】

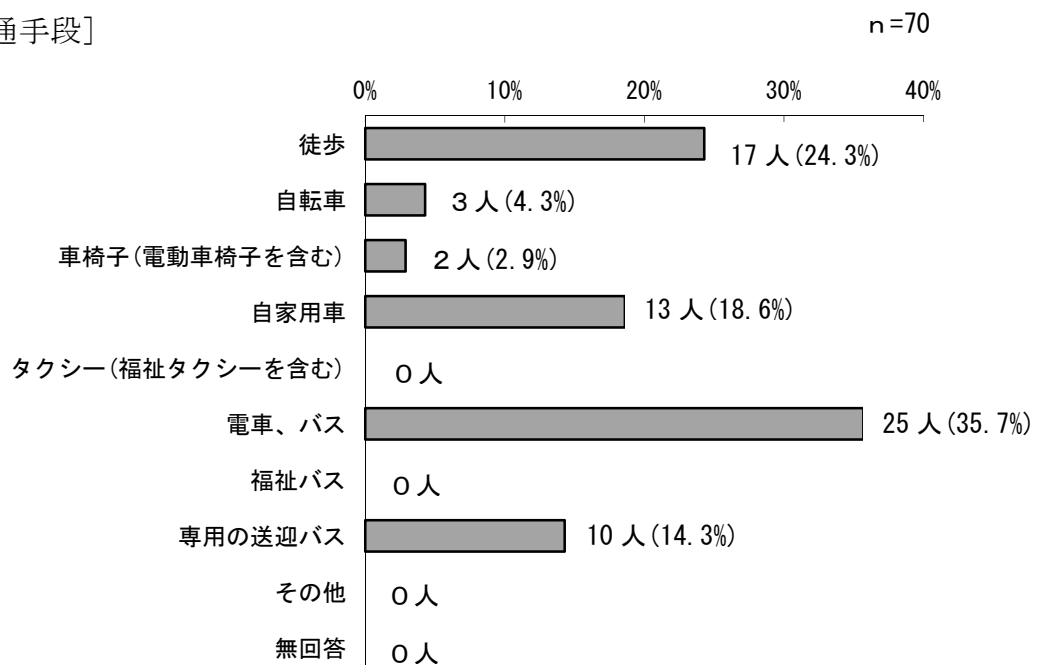
問 10 次の(1)～(3)までの外出についての質問にお答えください。  
(1) 通学 [それぞれ1つに○]

[ア 外出の状況]



通学の状況については、回答があった中では、「自分で行ける」(4.0%)が最も多く、次いで「一部介助が必要」(1.4%)が多くなっています。

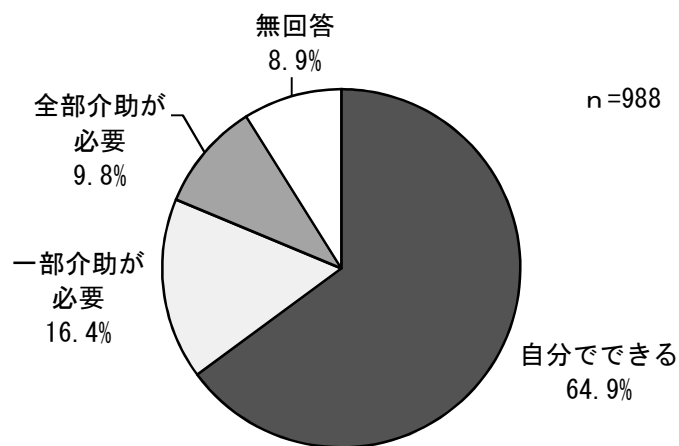
[イ 交通手段]



通学の際の交通手段については、「電車、バス」(70人中25人〔参考値:35.7%〕)が最も多く、次いで「徒歩」(同17人〔参考値:24.3%〕)、「自家用車」(同13人〔参考値:18.6%〕)の順で続いています。

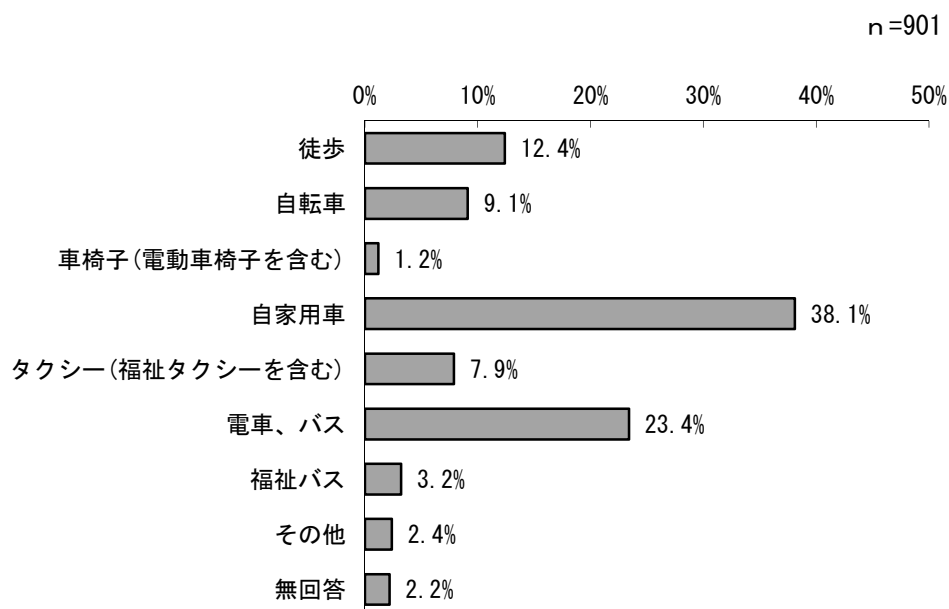
問10 次の(1)～(3)までの外出についての質問にお答えください。  
 (2) 通院 [それぞれ1つに○]

[ア 外出の状況]



通院の状況については、「自分で行ける」(64.9%)が最も多く、次いで「一部介助が必要」(16.4%)が多くなっています。

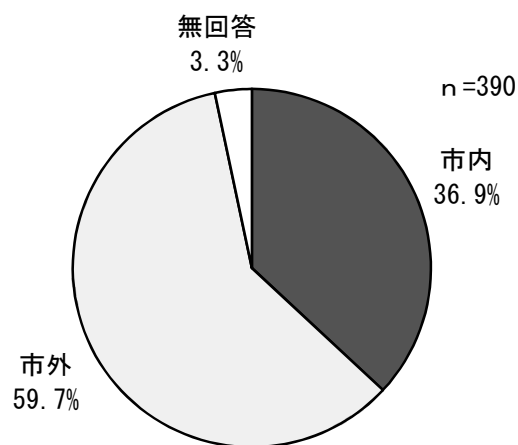
[イ 交通手段]



通院の際の交通手段については、「自家用車」(38.1%)が最も多く、次いで「電車、バス」(23.4%)、「徒歩」(12.4%)の順で続いています。

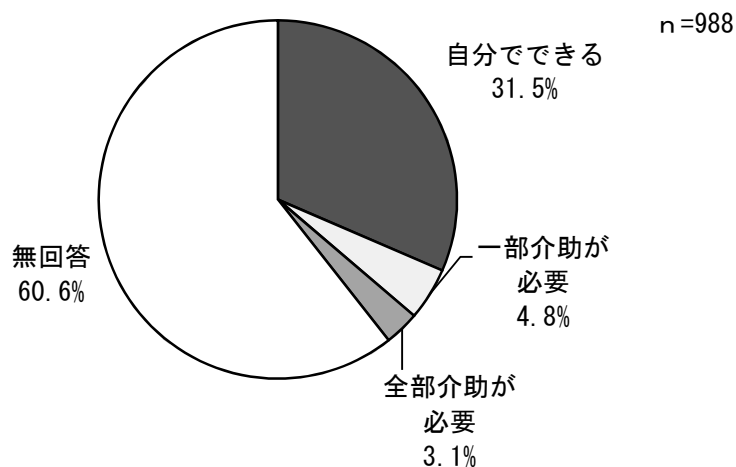
問10 次の(1)～(3)までの外出についての質問にお答えください。  
(3) 通勤または通所 [それぞれ1つに○]

[ア 通勤または通所先]



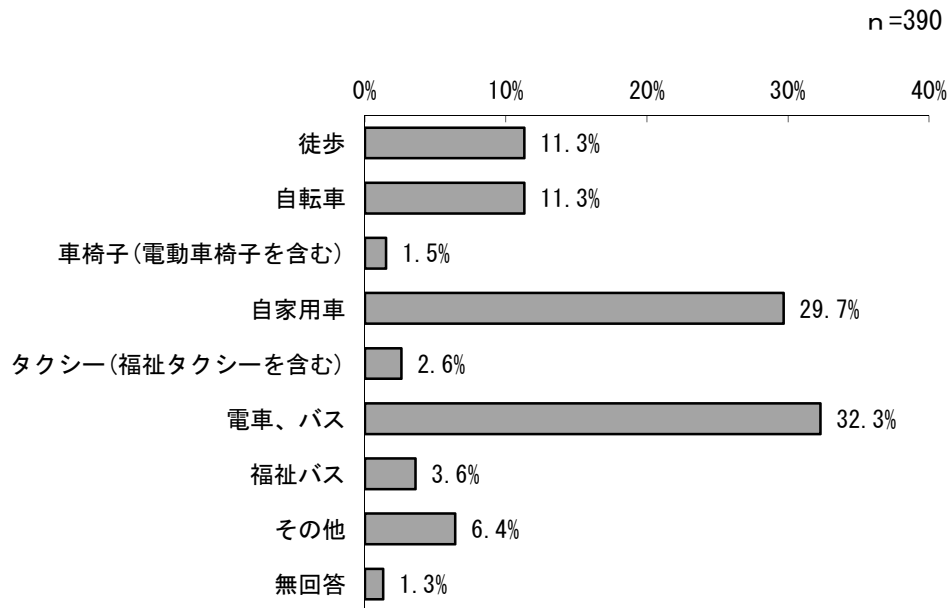
通勤または通所先については、「市外」が59.7%、「市内」が36.9%で、「市外」が多くなっています。

[イ 外出の状況]



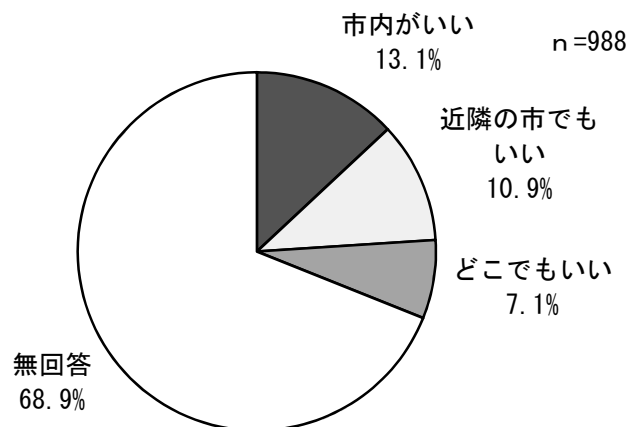
通勤または通所の状況については、「無回答」(60.6%)が最も多いものの、回答があった中では、「自分でできる」(31.5%)が最も多く、次いで「一部介助が必要」(4.8%)が多くなっています。

[ウ 交通手段]



通勤または通所の際の交通手段については、「電車、バス」(32.3%)、「自家用車」(29.7%)が多く、次いで「徒歩」と「自転車」(ともに11.3%)の順で続いています。

[エ 通勤または通所先の希望]

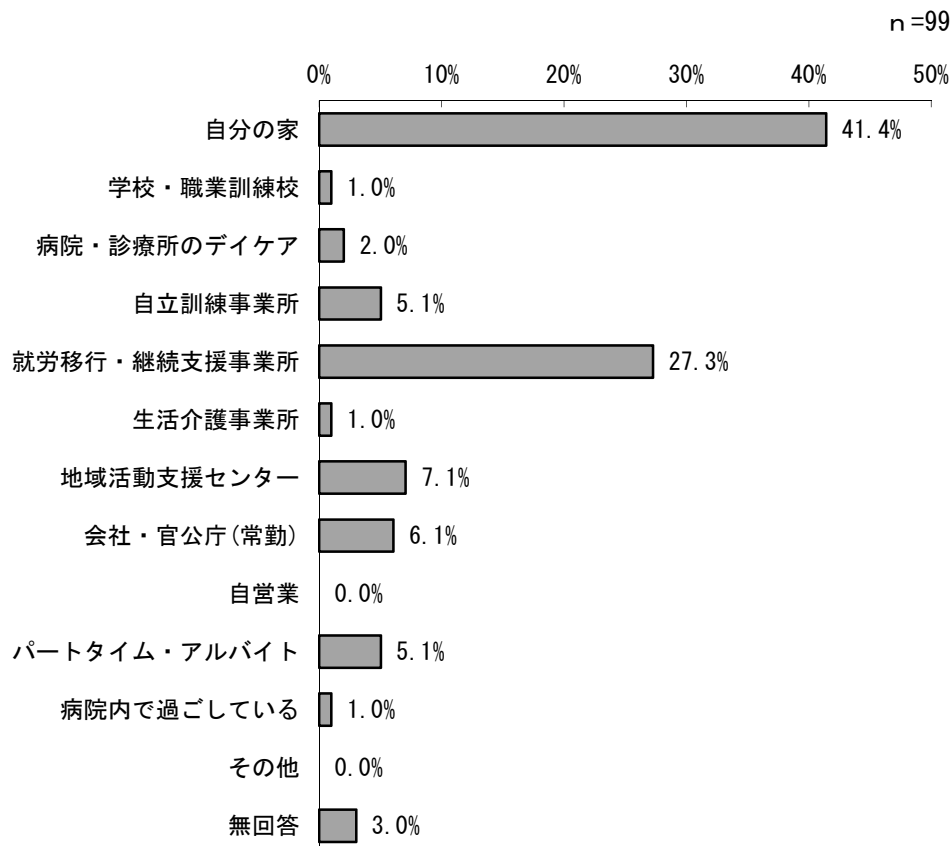


通勤または通所先の希望については、「市内がいい」(13.1%)が最も多く、次いで「近隣の市でもいい」(10.9%)が多くなっています。



(12) 平日(月～金)の昼間の居場所  
【精神疾患等調査のみ】

問8 あなたは平日(月～金)の昼間、主にどこで過ごしていますか。[1つに○]

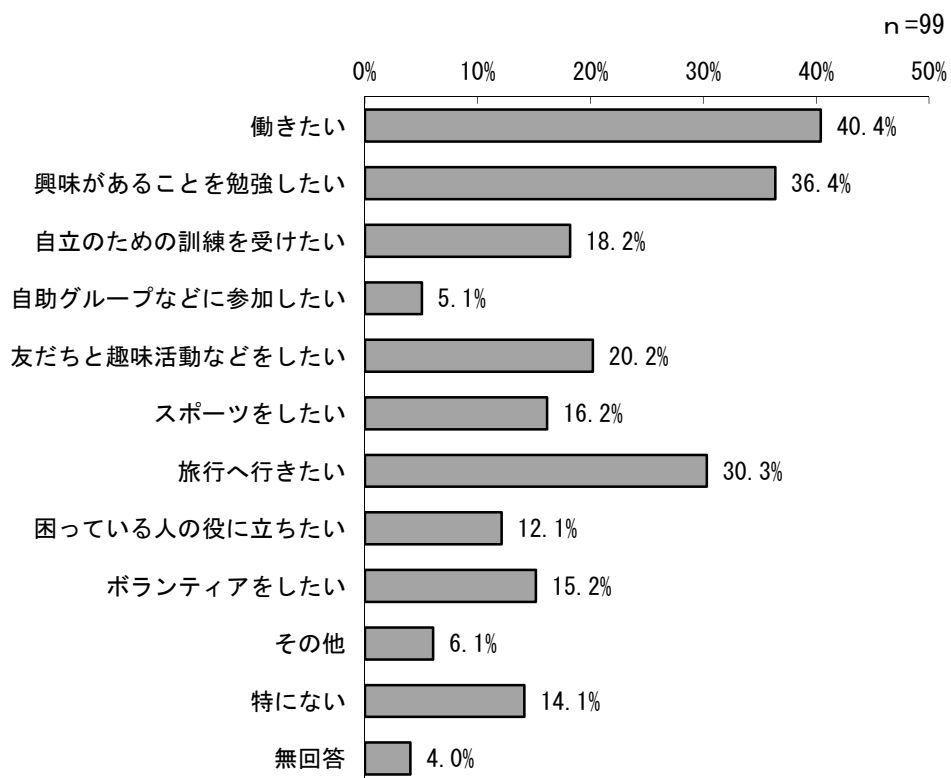


平日昼間の居場所については、「自分の家」(41.4%)が最も多く、次いで「就労移行・継続支援事業所」(27.3%)、「地域活動支援センター」(7.1%)の順で続いています。

(13) 今、特にしたいと思っていること

【精神疾患等調査のみ】

問9 あなたが今、特にしたいと思っていることは何ですか。[いくつでも○]



今特にしたいと思っていることとしては、「働きたい」(40.4%)が最も多く、次いで「興味があることを勉強したい」(36.4%)、「旅行へ行きたい」(30.3%)の順で続いています。

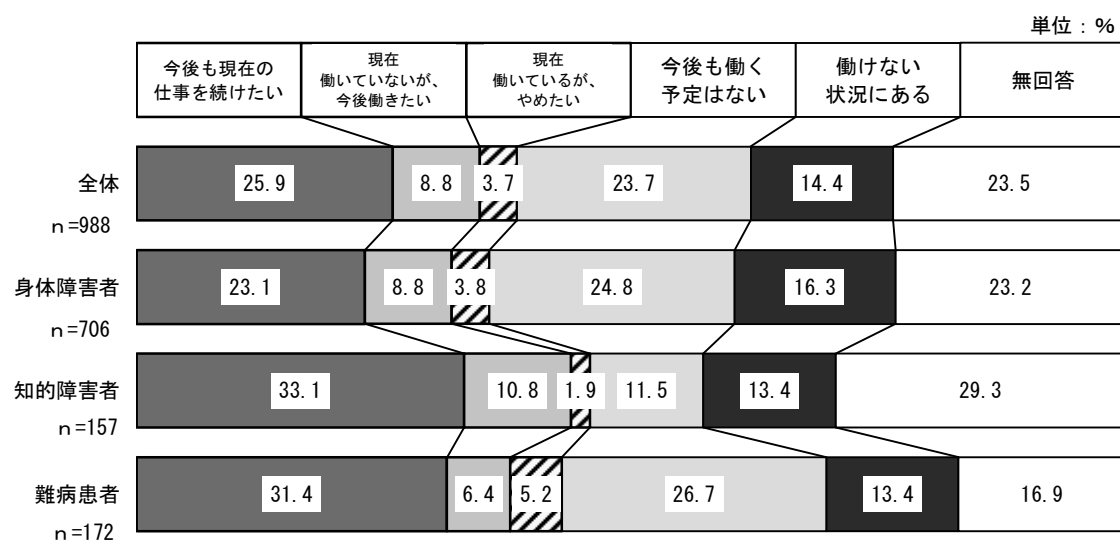
### 3 就労について

#### (1) 現在の就労状況

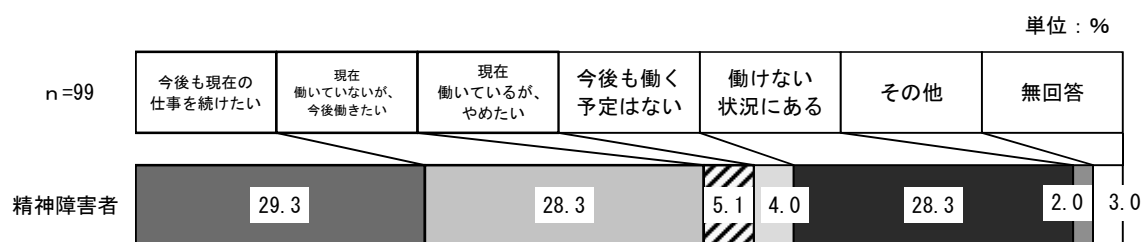
問 11 あなたの現在の就労状況について教えてください。[1つに〇]

【精神：問 10】

[身体・知的障害者、難病患者]



[精神疾患患者]



現在の就労状況については、身体障害者では「今後も働く予定はない」が24.8%と最も多く、知的障害者、難病患者では「今後も現在の仕事を続けたい」が3割を超えて最も多くなっています。

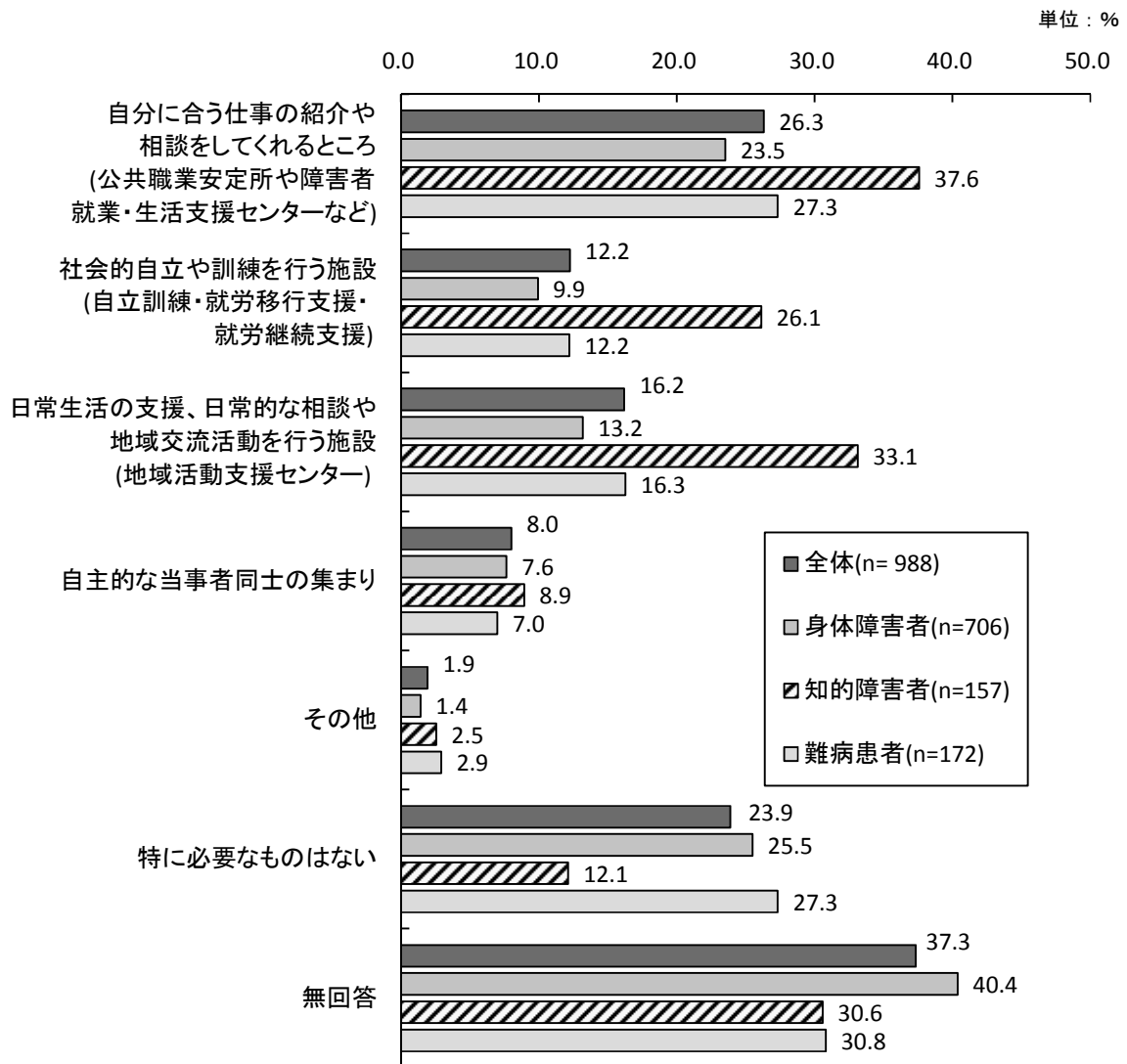
また、精神疾患患者では、「今後も現在の仕事を続けたい」、「現在働いていないが、今後働きたい」、「働けない状況にある」が3割近くと多くなっています。

(2)「働く場」や「活動の場」を充実させるために必要なもの

問12 「働く場」や「活動の場」を充実させるため、あなたが必要と思うものは何ですか。[3つ以内に○]

【精神：問11】

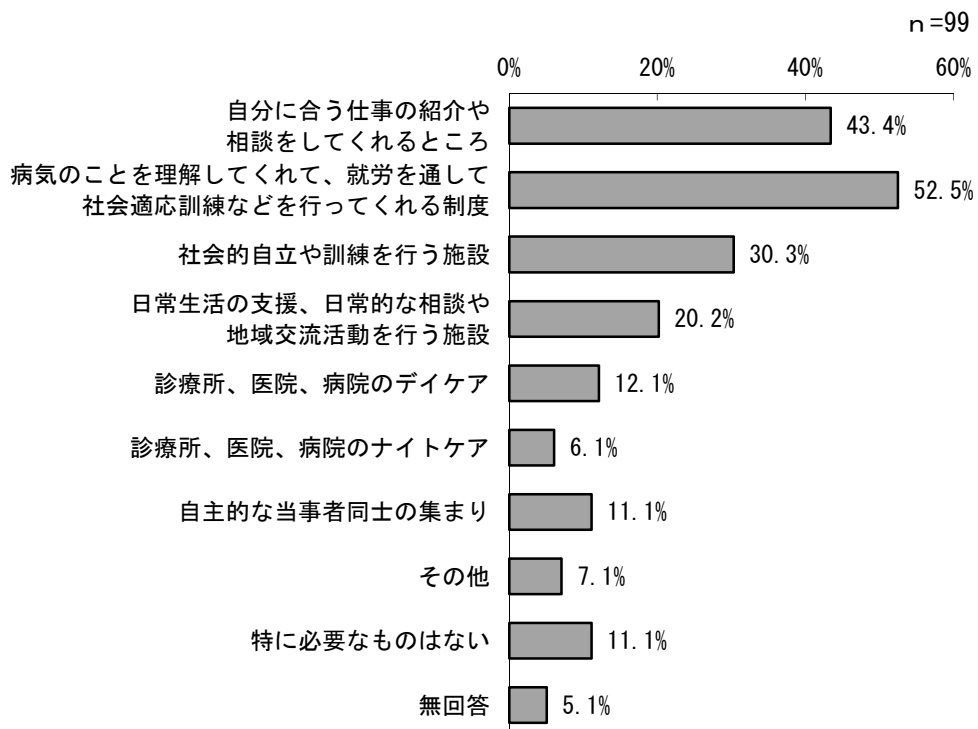
[身体・知的障害者、難病患者]



「働く場」や「活動の場」を充実させるために必要なものについては、身体障害者、難病患者では「無回答」(それぞれ40.4%、30.8%)が最も多く、次いで「特に必要なものはない」(それぞれ25.5%、27.3%)が多くなっています(難病患者では「自分に合う仕事の紹介や相談をしてくれるところ」も同数)。

一方、知的障害者では「自分に合う仕事の紹介や相談をしてくれるところ」(37.6%)、「日常生活の支援、日常的な相談や地域交流活動を行う施設」(33.1%)が多くなっています。

[精神疾患患者]



精神疾患患者では、「病気を理解してくれて、就労を通して社会適応訓練などを行ってくれる制度」(52.5%)が最も多く、次いで「自分に合う仕事の紹介や相談をしてくれるところ」(43.4%)、「社会的自立や訓練を行う施設」(30.3%)の順で続いています。

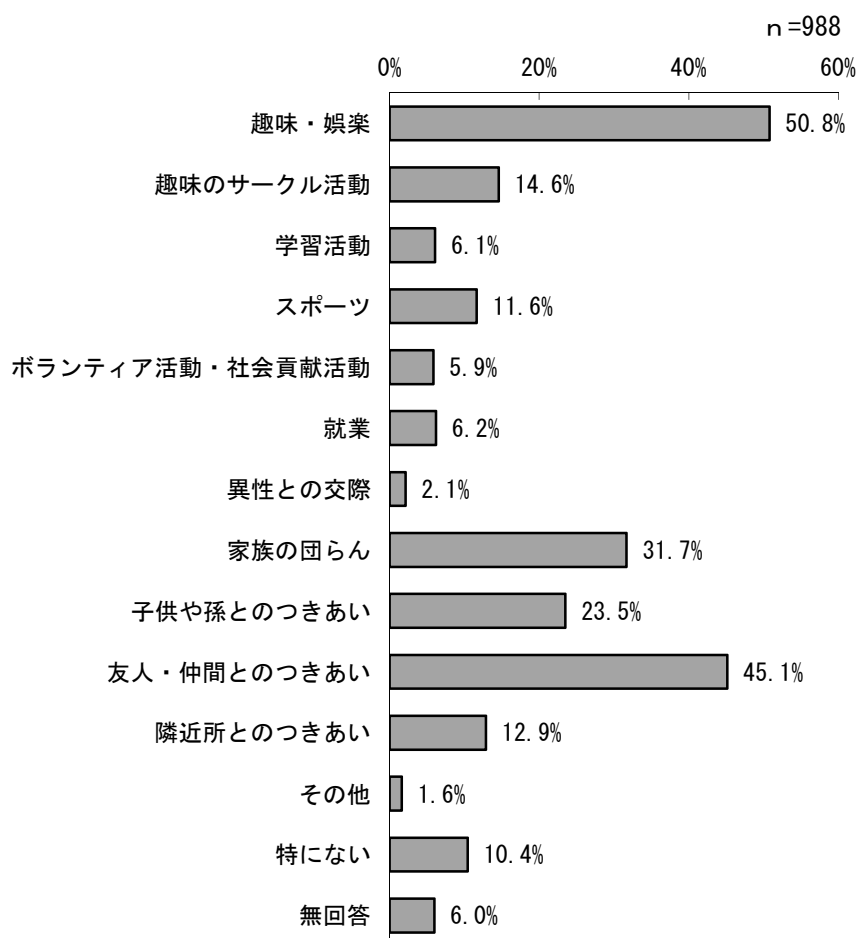
## 4 日ごろの活動について

(1) 楽しみや生きがい

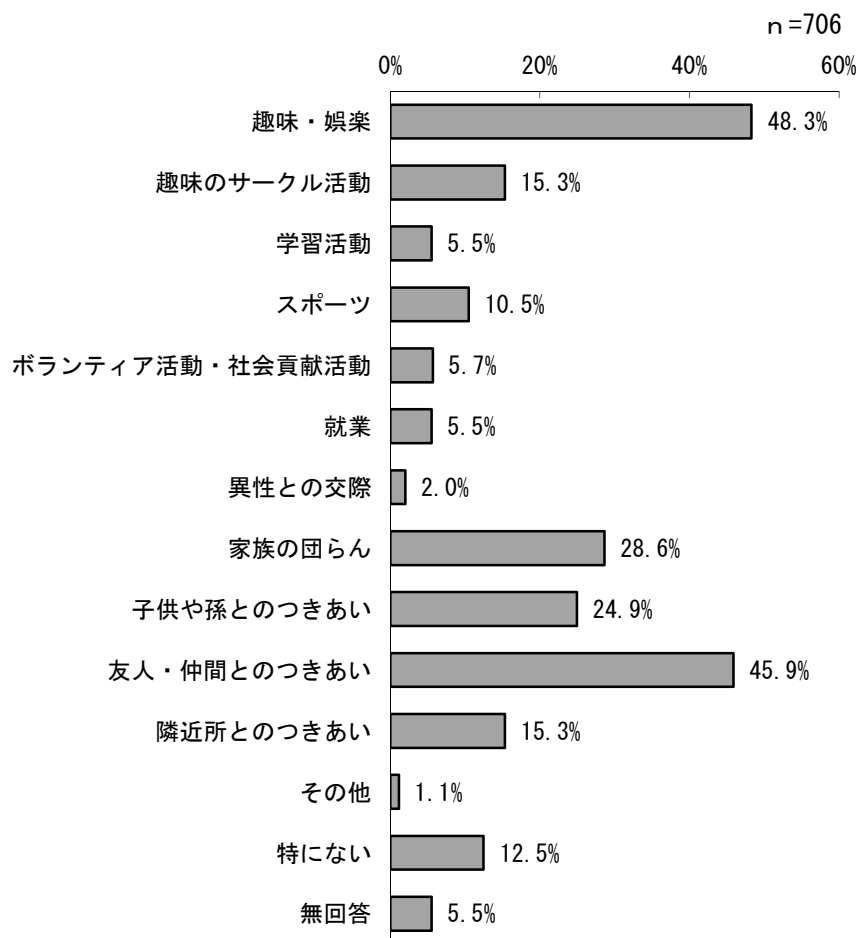
【身体・知的・難病調査のみ】

問 13 あなたの楽しみや生きがいは何ですか。[いくつでも○]

[全体]

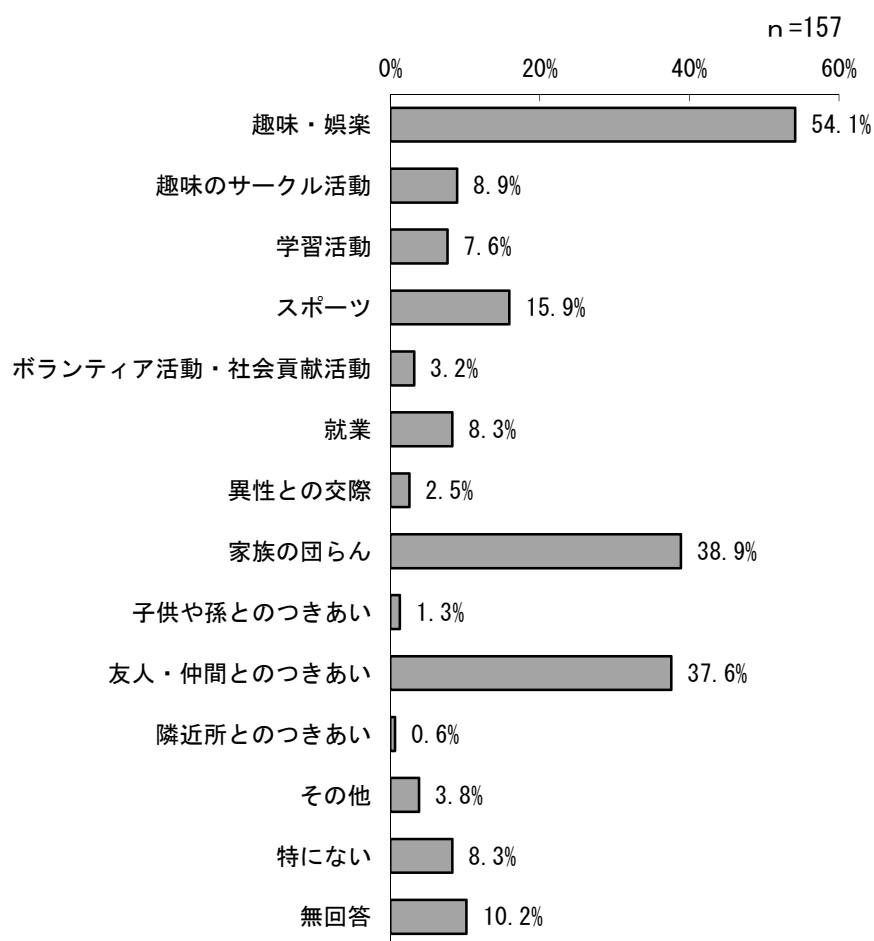


[身体障害者]



楽しみや生きがいについては、身体障害者では「趣味・娯楽」(48.3%)、「友人・仲間とのつきあい」(45.9%)が多く、次いで「家族の団らん」(28.6%)、「子供や孫とのつきあい」(24.9%)の順で続いています。

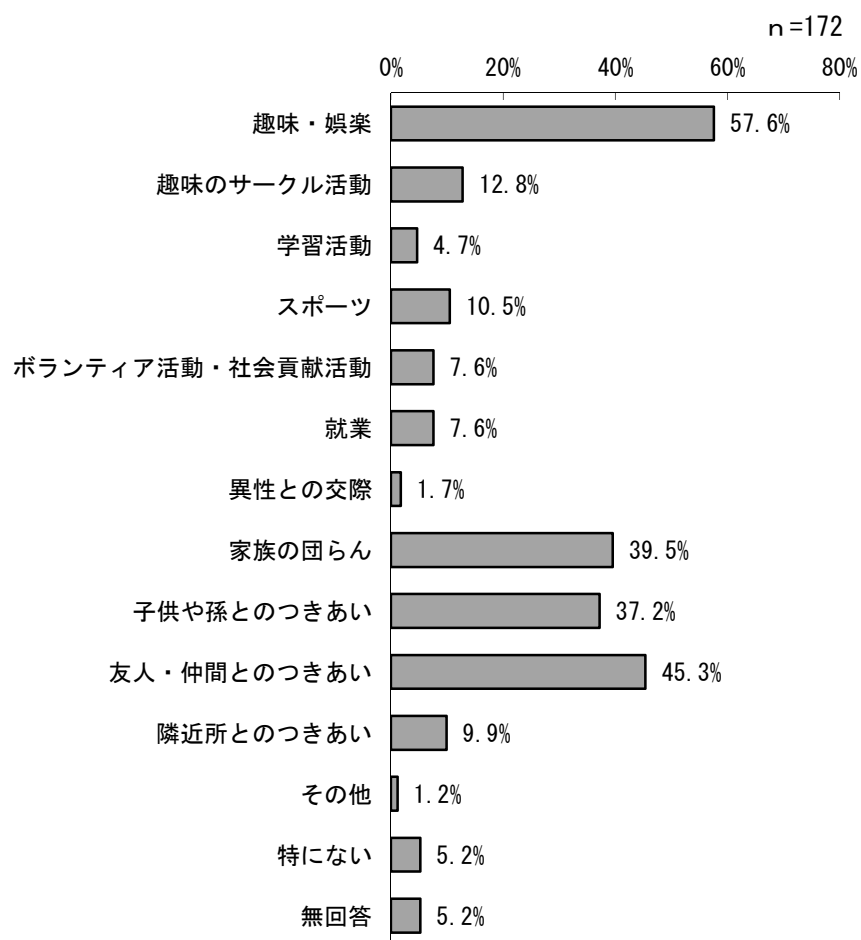
[知的障害者]



知的障害者では、「趣味・娯楽」(54.1%)が最も多く、次いで「家族の団らん」(38.9%)、「友人・仲間とのつきあい」(37.6%)の順で続いています。



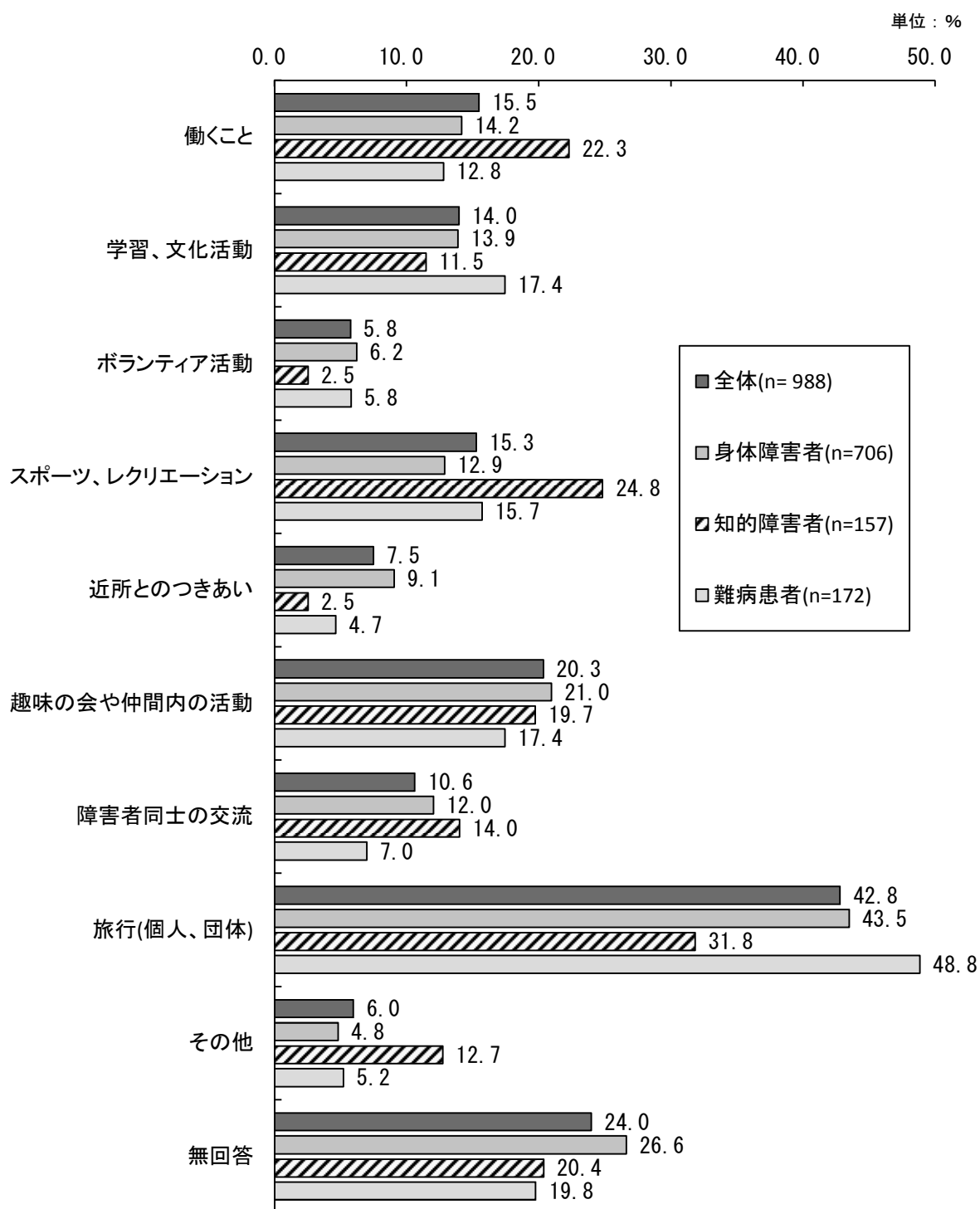
[難病患者]



難病患者では、「趣味・娯楽」(57.6%)が最も多く、次いで「友人・仲間とのつきあい」(45.3%)、「家族の団らん」(39.5%)の順で続いています。

(2) 今後やってみたいこと  
【身体・知的・難病調査のみ】

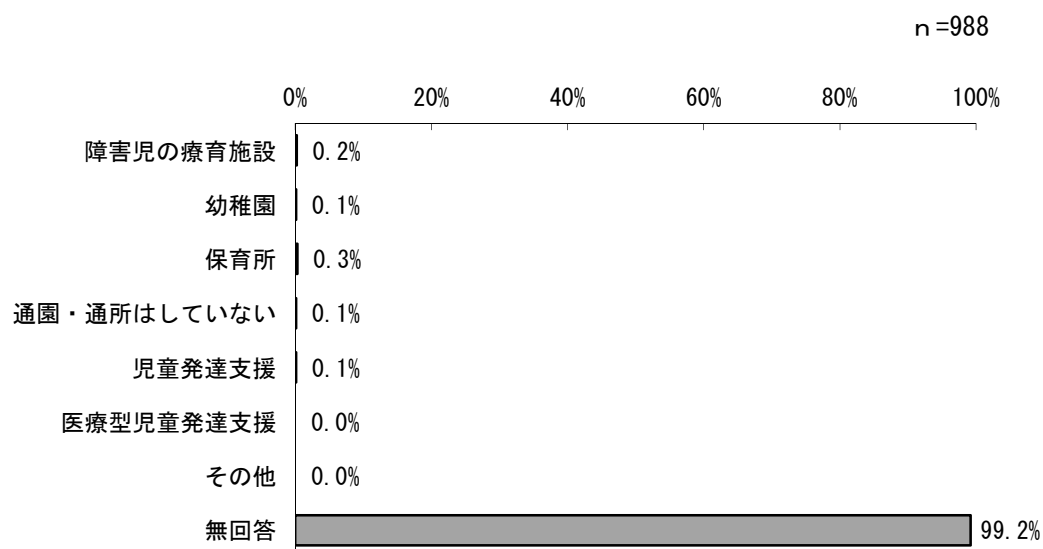
問 14 あなたが今後やってみたいことはどんなことですか。[いくつでも○]



今後やってみたいことについては、すべての種別において「旅行」と回答した人が最も多くなっています。

(3) 昼間、通っている場所  
【身体・知的・難病調査のみ】

問 15 あなたは昼間、主にどこへ通っていますか。  
(1) 未就学の方(学校へ入学前の方) [1つに○]

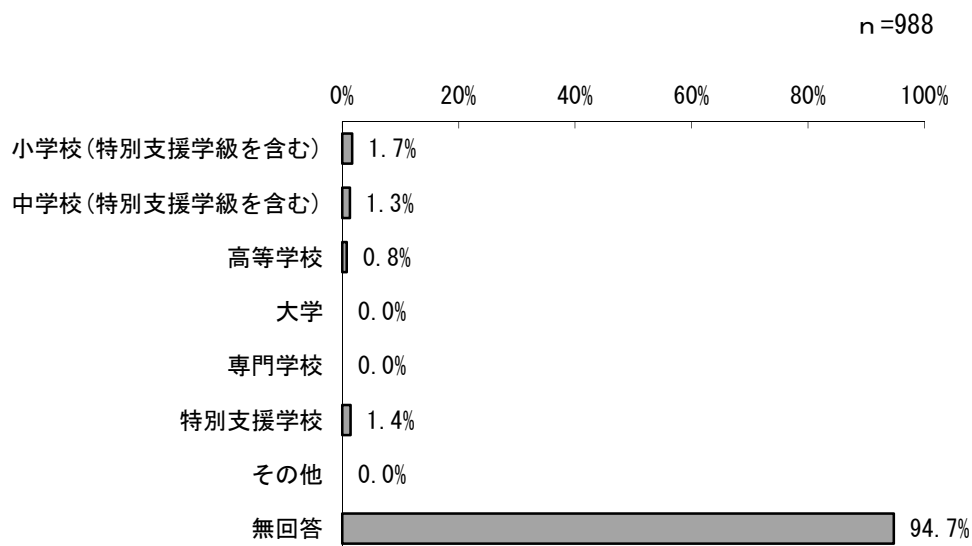


未就学の方の昼間通っている場所については、回答があった中では、「保育所」(0.3%)が最も多くなっています。

なお、「無回答」(99.2%)が最も多くなっている理由については、“未就学の方”以外の方が回答しなかったためと考えられます。

問 15 あなたは昼間、主にどこへ通っていますか。

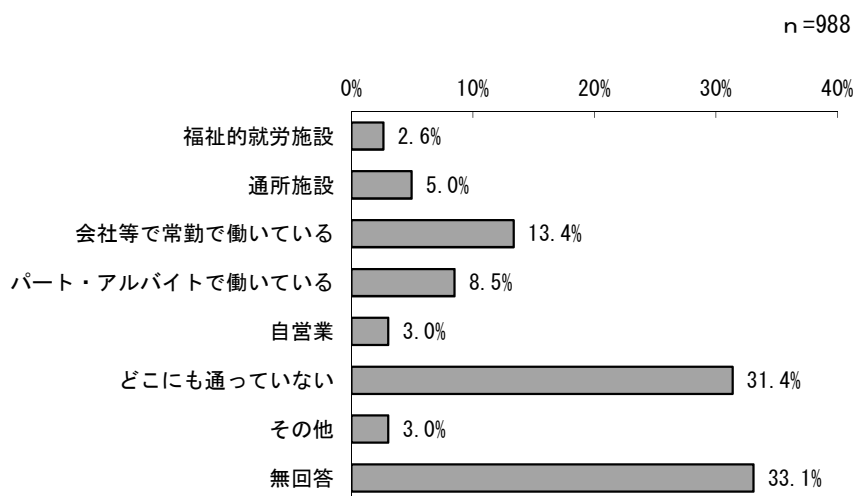
(2) 学校で学んでいる方[1つに○]



学校で学んでいる方の昼間通っている場所については、回答があった中では、「小学校（特別支援学級を含む）」(1.7%)が最も多くなっています。

なお、「無回答」(94.7%)が最も多くなっている理由については、“学校で学んでいる方”以外の方が回答しなかったためと考えられます。

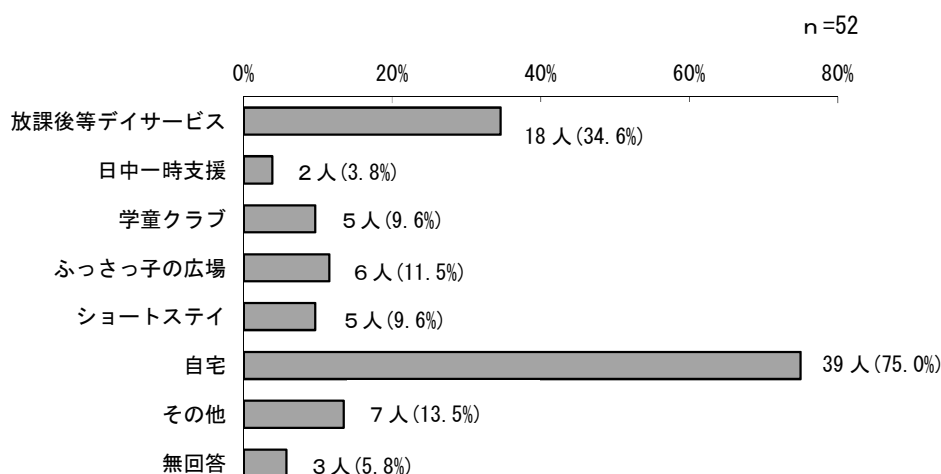
問 15 あなたは昼間、主にどこへ通っていますか。  
 (3) 社会人の方[1つに○]



社会人の方の昼間通っている場所については、回答があった中では、「どこにも通っていない」(31.4%)が最も多く、次いで「会社等で常勤で働いている」(13.4%)、「パート・アルバイトで働いている」(8.5%)の順で続いています。

なお、「無回答」(33.1%)が最も多くなっている理由については、“社会人の方”以外の方が回答しなかったためと考えられます。

問 15 で(2)「学校に通っている」と答えた方におたずねします。  
 問 15-1 放課後や休日をどこで過ごしますか。[いくつでも○]



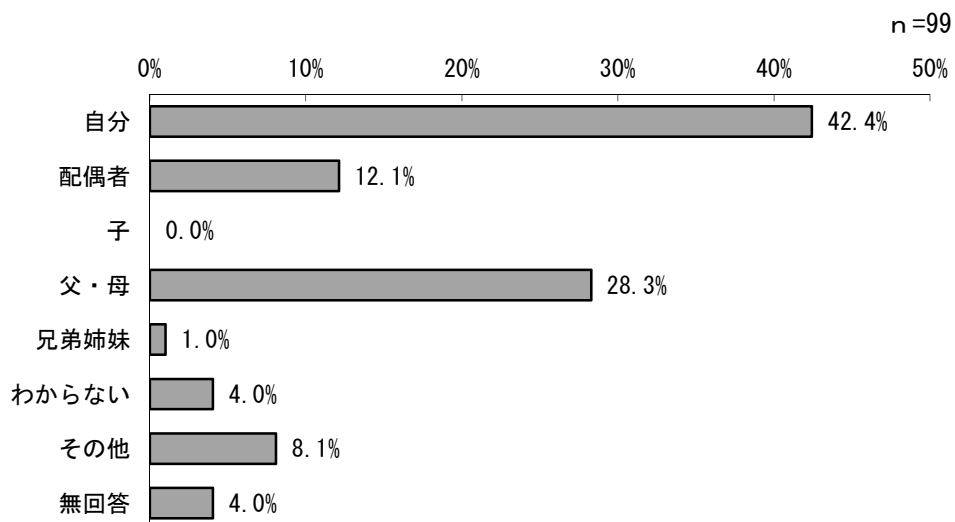
問 15 で(2)「学校に通っている」のいずれかを回答した 52 人に、放課後や休日をどこで過ごすかについて聞いたところ、「自宅」(52 人中 39 人 [参考値: 75.0%])が最も多く、かなりの差があって「放課後等デイサービス」(同 18 人 [参考値: 34.6%])、「その他」(同 7 人 [参考値: 13.5%])の順で続いています。

## 5 収入について

(1) 主に収入を得ている人

【精神疾患等調査のみ】

問 12 主に収入を得ている人は誰ですか。[1つに○]



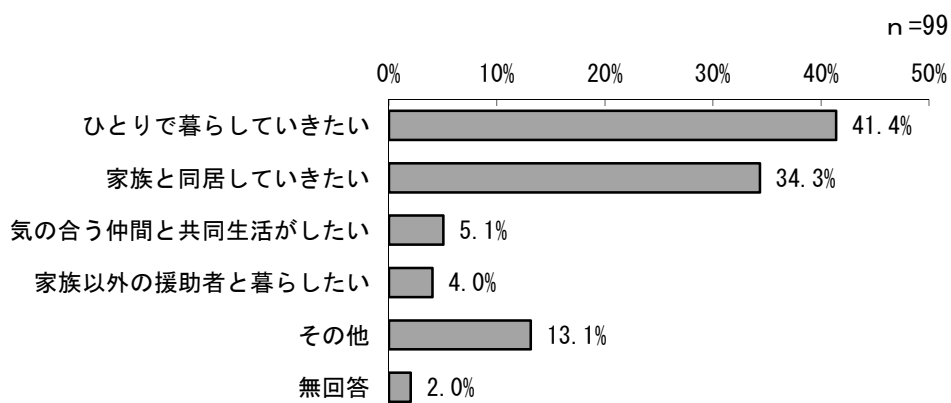
主に収入を得ている人については、「自分」(42.4%)が最も多く、次いで「父・母」(28.3%)、「配偶者」(12.1%)の順で続いています。

## 6 住まいについて

### (1) 将来の暮らし方

【精神疾患等調査のみ】

問 13 あなたは、将来どのような暮らしをしていきたいですか。[1つに○]

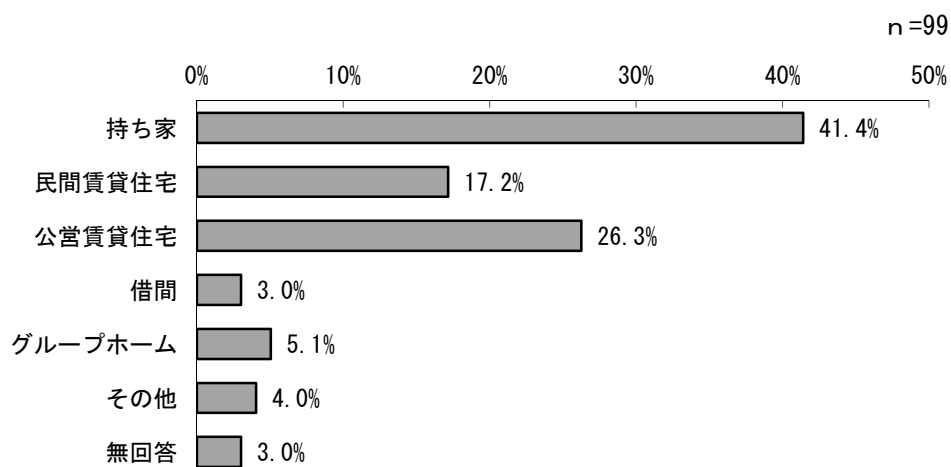


将来の暮らし方については、「ひとり暮らしでいきたい」(41.4%)が最も多く、次いで「家族と同居していきたい」(34.3%)が多くなっています。

### (2) 将来の住まい

【精神疾患等調査のみ】

問 14 将来暮らしていきたいのは、どんな場所ですか。[1つに○]



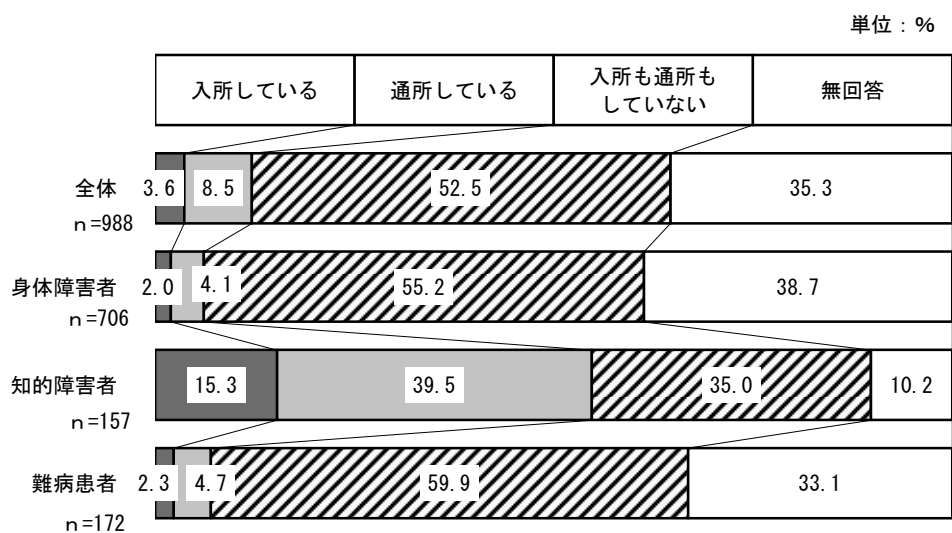
将来の住まいについては、「持ち家」(41.4%)が最も多く、次いで「公営賃貸住宅」(26.3%)、「民間賃貸住宅」(17.2%)の順で多くなっています。

## 7 障害者(児)福祉サービスについて

### (1) 施設の利用状況

【身体・知的・難病調査のみ】

問 16 施設の利用状況についておたずねします。[1つに〇]



施設の利用状況については、身体障害者、難病患者では「入所も通所もしていない」が過半数を占めて最も多くなっている一方、知的障害者では「通所している」(39.5%)が最も多くなっています。

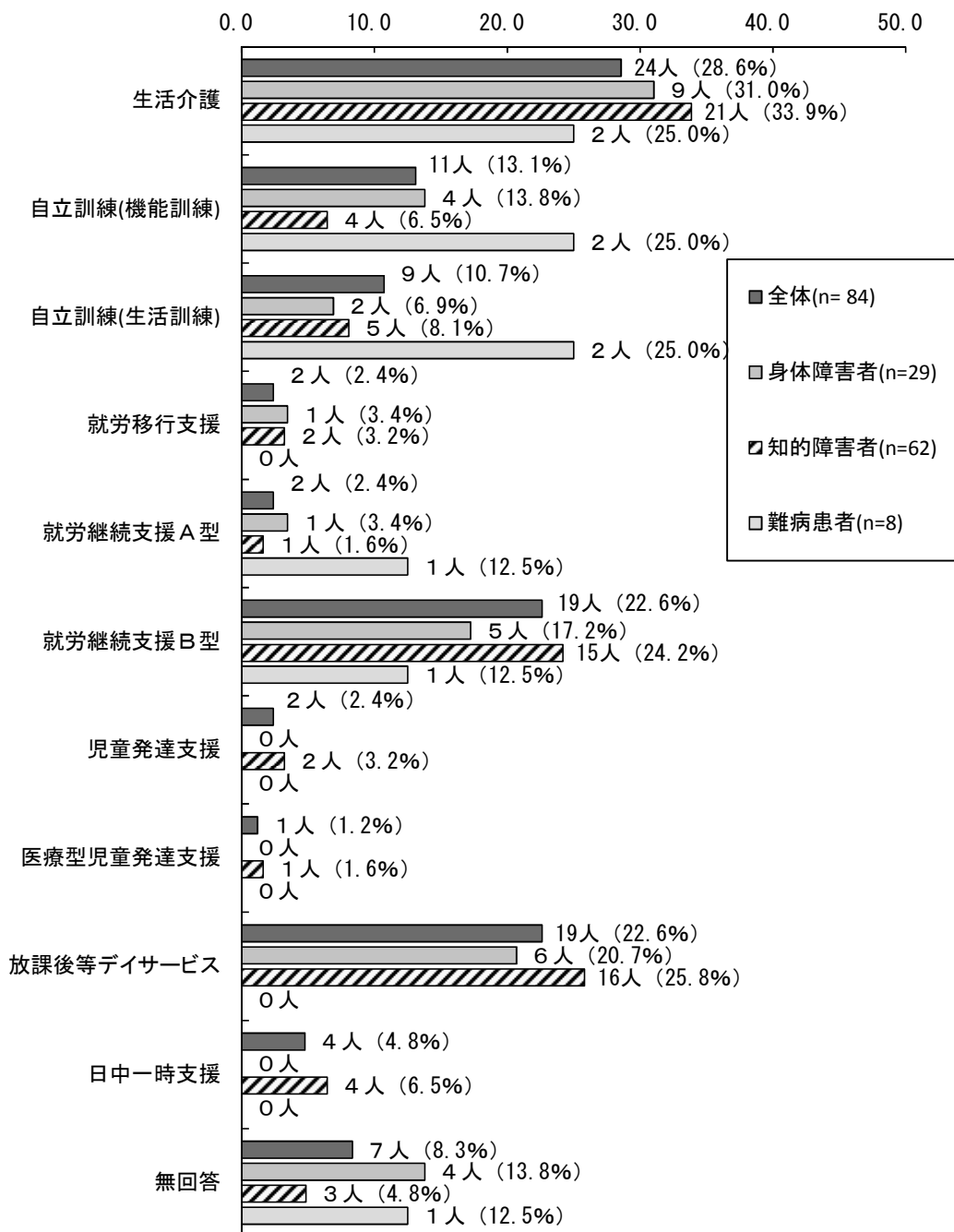


(2) サービスの利用状況

【身体・知的・難病調査のみ】

問 16 で「2. 通所している」と答えた方におたずねします。

問 16-1 現在利用しているサービスは何ですか。[いくつでも○]



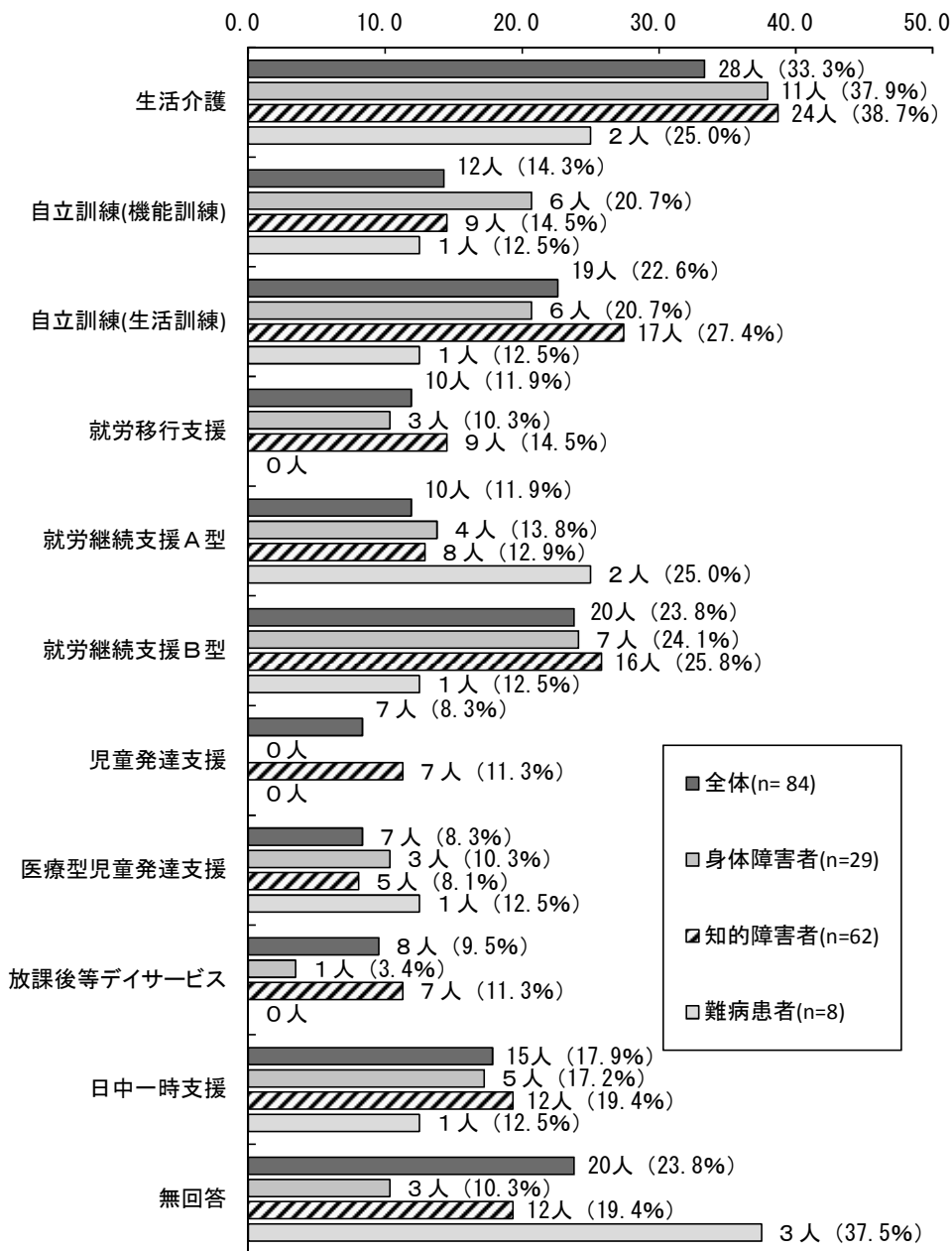
問 16 で「通所している」と回答した人に現在利用中のサービスについて聞いたところ、身体障害者、知的障害者では「生活介護」(それぞれ29人中9人[参考値:31.0%]、62人中21人[参考値:31.9%])が最も多くなっています。一方で、難病患者では「生活介護」と「自立訓練(機能訓練)」と「自立訓練(生活訓練)」(いずれも8人中2人[参考値:25.0%])が多くなっています。

(3) 市内に増やしてほしい事業所

【身体・知的・難病調査のみ】

問 16 で「2. 通所している」と答えた方におたずねします。

問 16-2 市内には、現在、生活介護事業所 2 か所、就労移行支援事業所 3 か所、就労継続支援 B 型事業所 6 か所がありますが、今後、市内に増やしてほしいと思う事業所は何ですか。[いくつでも○]

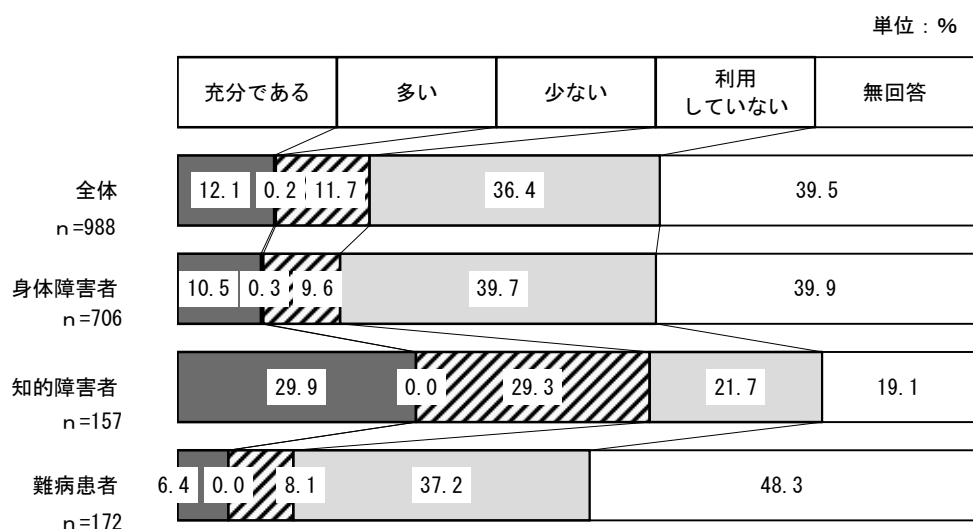


問 16 で「通所している」と回答した人に市内に増やしてほしい事業所について聞いたところ、身体障害者、知的障害者では「生活介護」（それぞれ 29 人中 11 人〔参考値：37.9%〕、62 人中 24 人〔参考値：38.7%〕）が最も多く、難病患者では「無回答」（8 人中 3 人〔参考値：37.5%〕）が最も多くなっています。

(4) 現在利用しているサービス量について

【身体・知的・難病調査のみ】

問 17 障害者総合支援制度全般について、現在、利用しているサービス量は充分だと思いますか。[1つに〇]

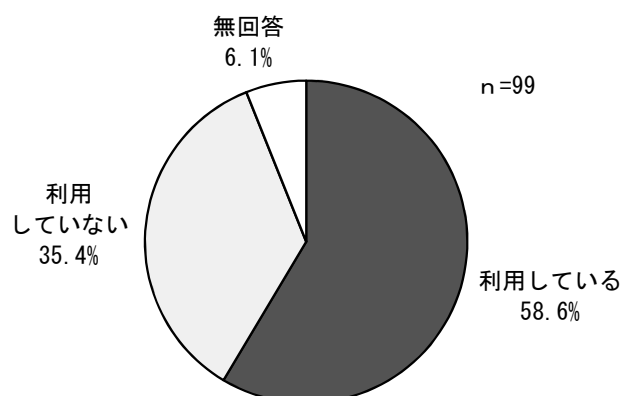


現在利用しているサービス量については、身体障害者、難病患者では「利用していない」が3割台後半で最も多い一方、知的障害者では「充分である」(29.9%)、「少ない」(29.3%)が多くなっています。

(5) サービスの利用状況

【精神疾患等調査のみ】

問 15 現在、障害福祉サービスを利用していますか。[1つに〇]



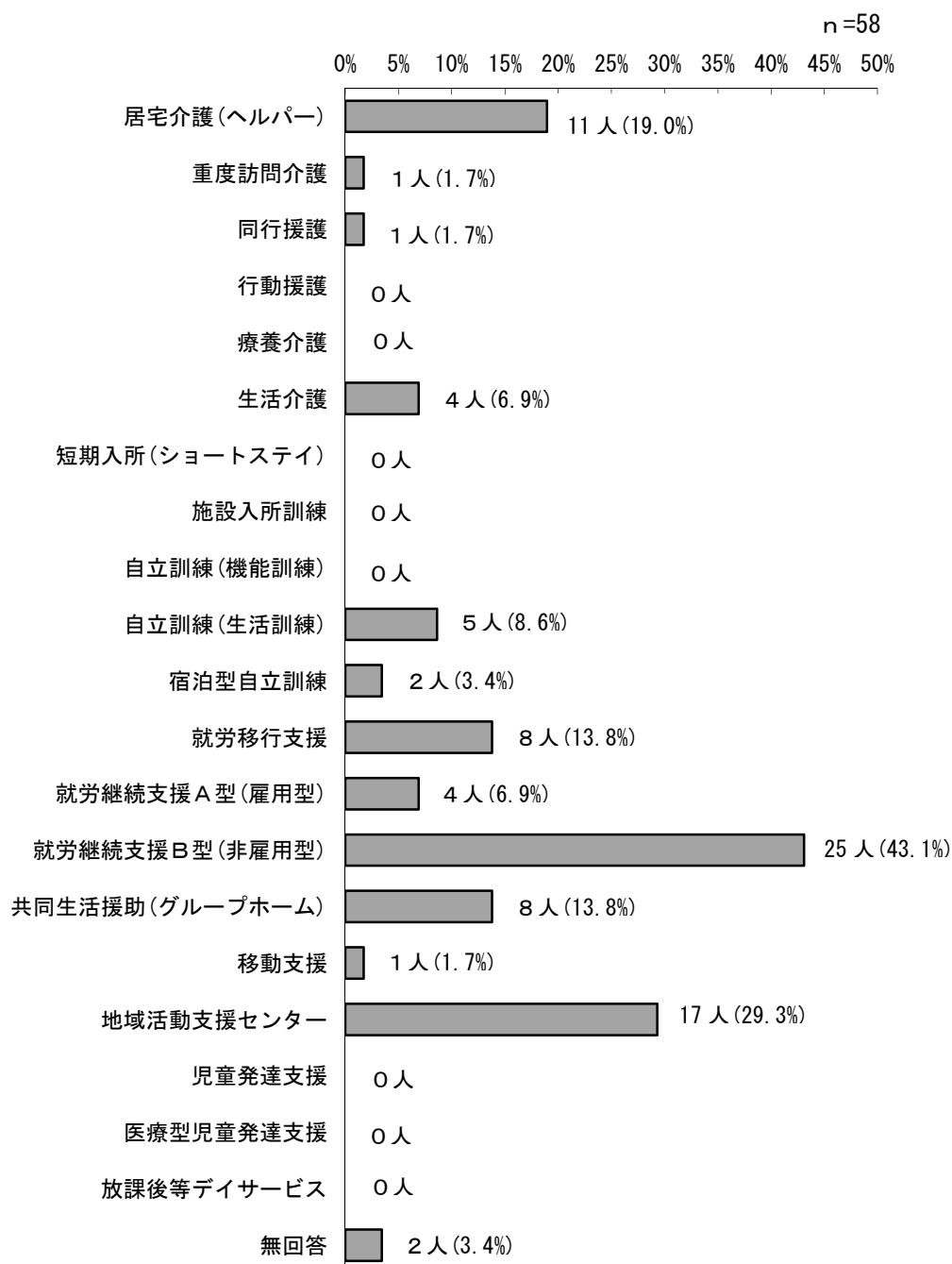
サービスの利用状況については、「利用している」が58.6%、「利用していない」が35.4%となっています。

## (6) 利用しているサービス

【精神疾患等調査のみ】

問 15 で「利用している」と答えた方におたずねします。

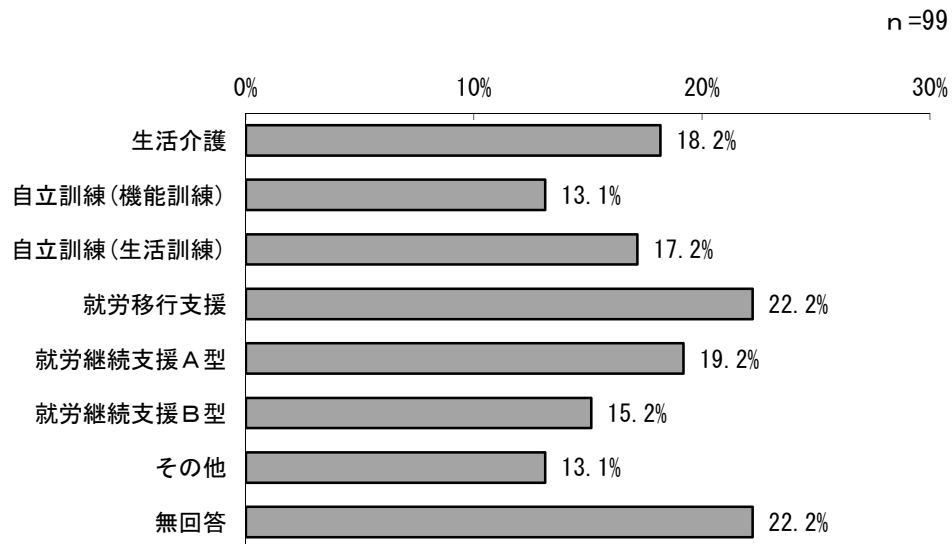
問 15-1 利用している障害福祉サービスをお答えください。[複数回答可]



問 15 で「利用している」と回答した 58 人に現在利用中のサービスについて聞いたところ、「就労継続支援 B 型」(58 人中 25 人 [参考値 : 43.1%]) が最も多く、やや差があり「地域活動支援センター」(同 17 人 [参考値 : 29.3%])、「居宅介護」(同 11 人 [参考値 : 19.0%]) の順で続いています。

(7) 市内に増やしてほしい事業所  
【精神疾患等調査のみ】

問 16 市内には、現在、生活介護事業所 2 か所、就労移行支援事業所 3 か所、就労継続支援 B 型事業所 6 か所がありますが、今後、市内に増やしてほしいと思う事業所は何ですか。[いくつでも○]



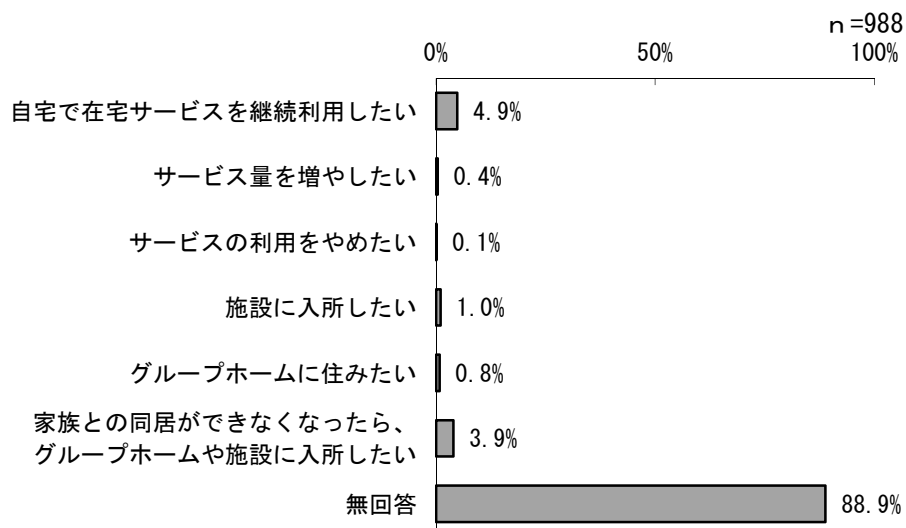
市内に増やしてほしい事業所としては、「就労移行支援」と「無回答」(22.2%)が最も多く、次いで「就労継続支援 A 型」(19.2%)、「生活介護」(18.2%)が続いています。

## 8 在宅でサービスを利用している方について

(1) 今後のサービスの利用意向

【身体・知的・難病調査のみ】

問 18 今後、サービスをどのように利用したいですか。[1つに〇]



今後のサービスの利用意向については、「無回答」(88.9%)が最も多くなっています。回答があった中では、「自宅で在宅サービスを継続利用したい」(4.9%)、「家族との同居ができなくなったら、グループホームや施設に入所したい」(3.9%)が多くなっています。

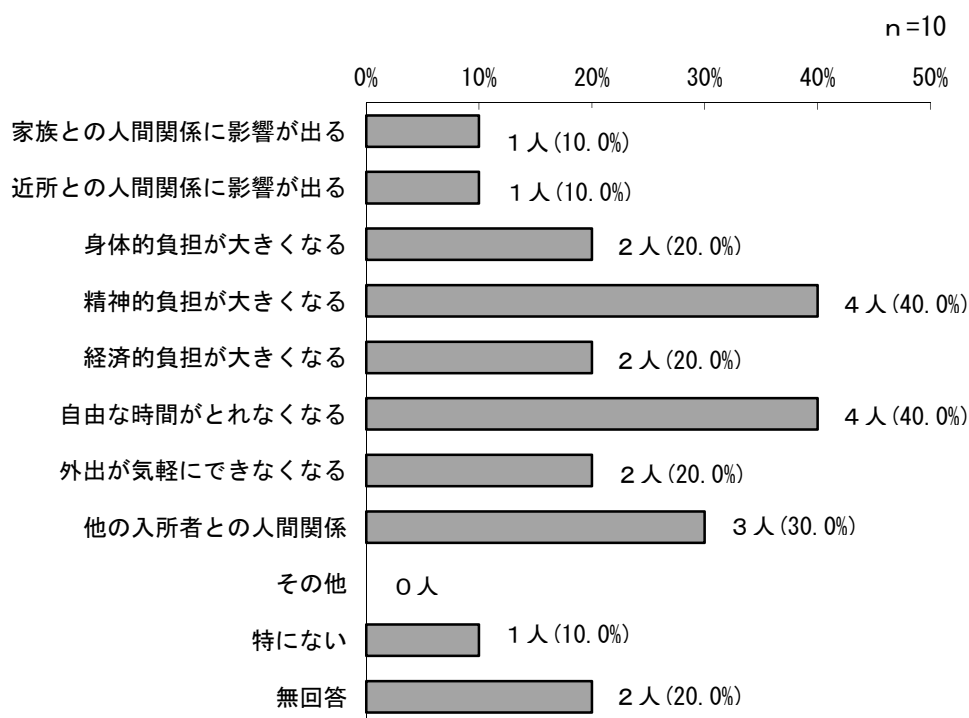
(2) 施設サービスへの変更にあたっての不安など

【身体・知的・難病調査のみ】

問 18 で「3. 施設に入所したい」と答えた方におたずねします。

問 18-1 施設でのサービスに変更するにあたって不安などがありますか。

[いくつでも○]



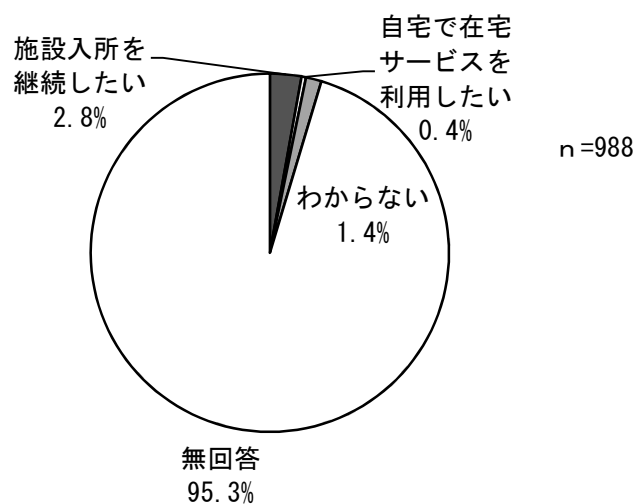
問 18 で「施設に入所したい」と回答した 10 人にサービス変更にあたっての不安などについて聞いたところ、「精神的負担が大きくなる」、「自由な時間がとれなくなる」(ともに 10 人中 4 人 [参考値: 40.0%]) が多くなっています。

## 9 施設でサービスを利用している方について

(1) 今後のサービスの利用意向

【身体・知的・難病調査のみ】

問 19 今後、サービスをどのように利用したいですか。[1つに〇]



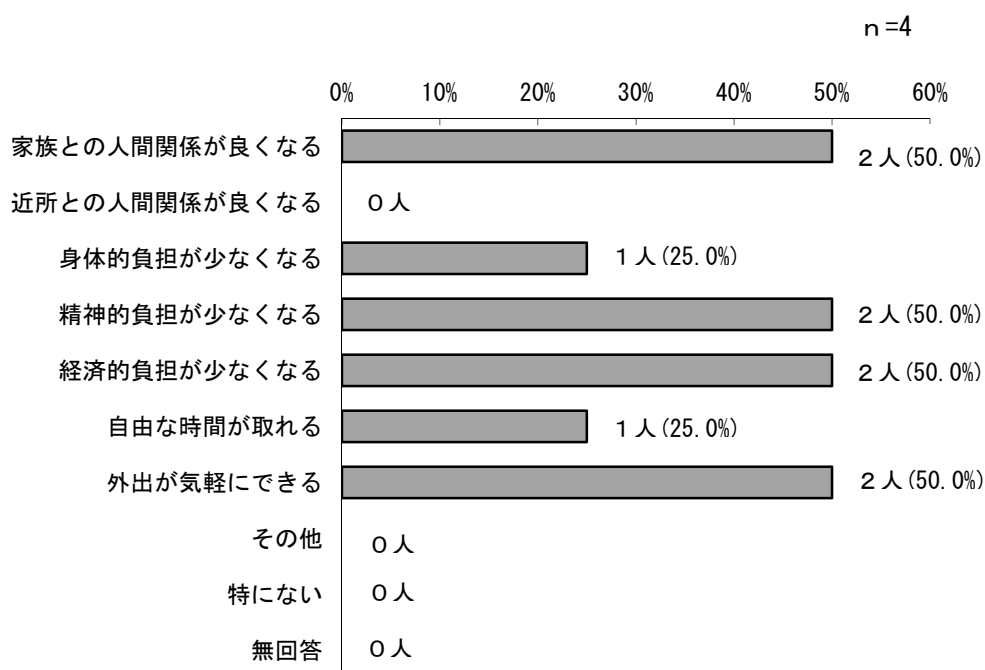
今後のサービスの利用意向については、「無回答」(95.3%)が最も多くなっています。回答があった中では、「施設入所を継続したい」(2.8%)が最も多く、次いで「わからない」(1.4%)が多くなっています。



(2) 自宅サービスへの変更にあたっての期待など

【身体・知的・難病調査のみ】

問 19 で「2. 自宅で在宅サービスを利用したい」と答えた方におたずねします。  
問 19-1 在宅でのサービスに変更するにあたって、期待することはありますか。[いくつでも○]



問 19 で「施設に入所したい」と回答した4人にサービス変更にあたっての期待などについて聞いたところ、4人中2人（参考値：50.0%）が「家族との人間関係がよくなる」、「精神的負担が少なくなる」「経済的負担が少なくなる」、「外出が気軽にできる」と回答しています。

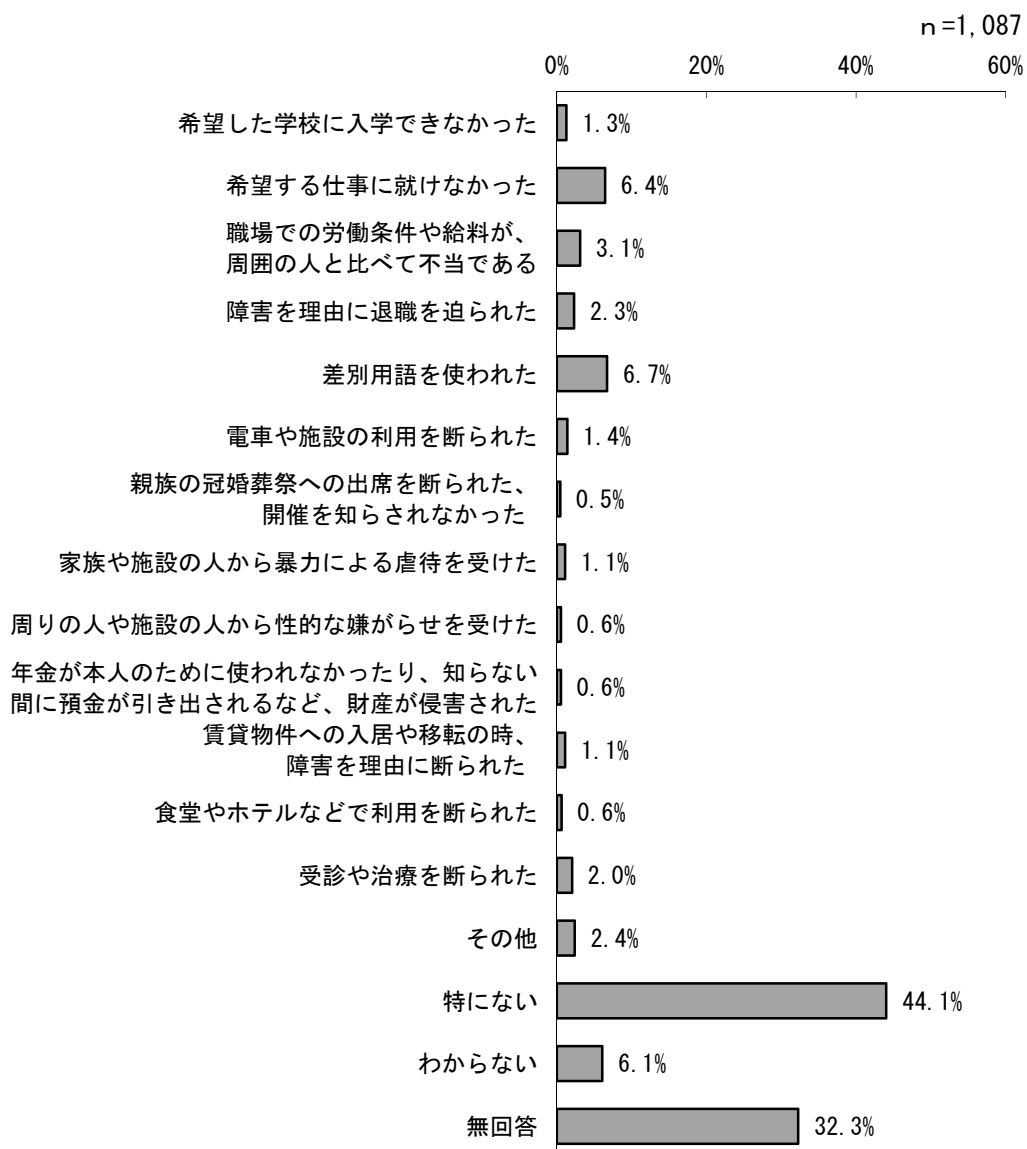
## 10 その他の福祉サービス等について

### (1) 日常生活の中での人権を損なう扱いの有無

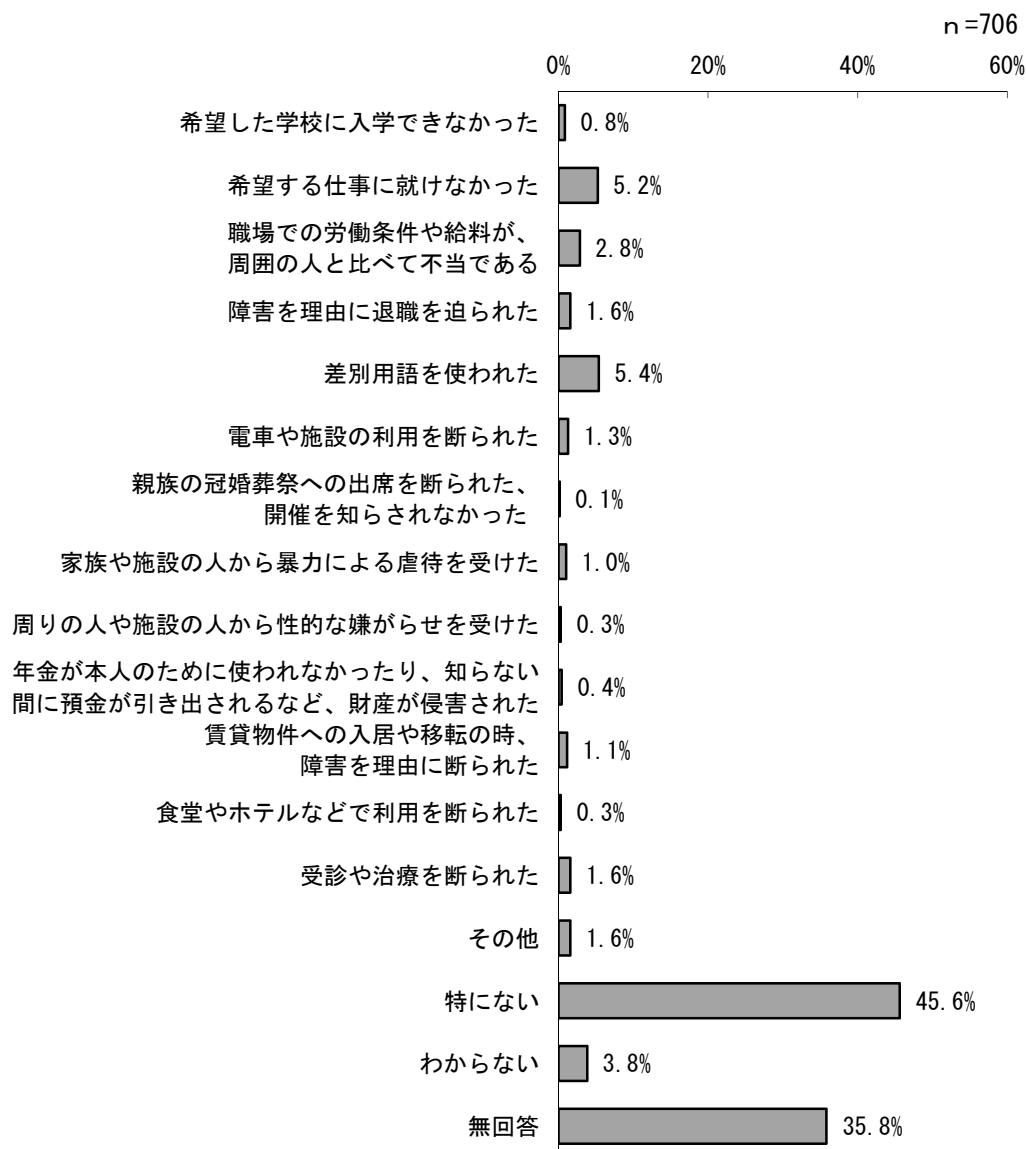
問 20 あなたは、障害があることが原因で、日常生活の中で次のような人権を損なう扱いを受けた経験がありますか。[いくつでも○]

【精神：問 17】

[全体]

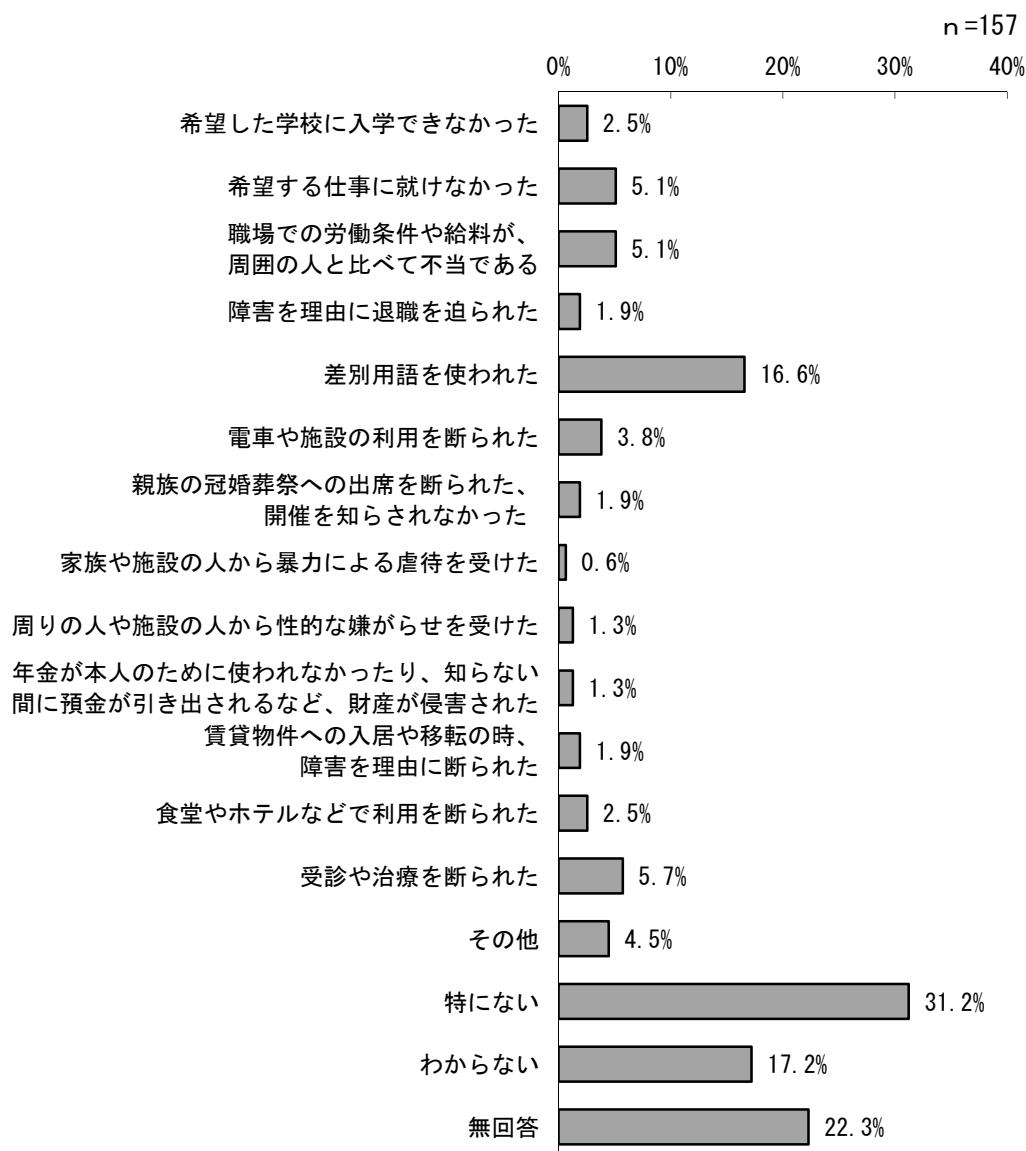


[身体障害者]



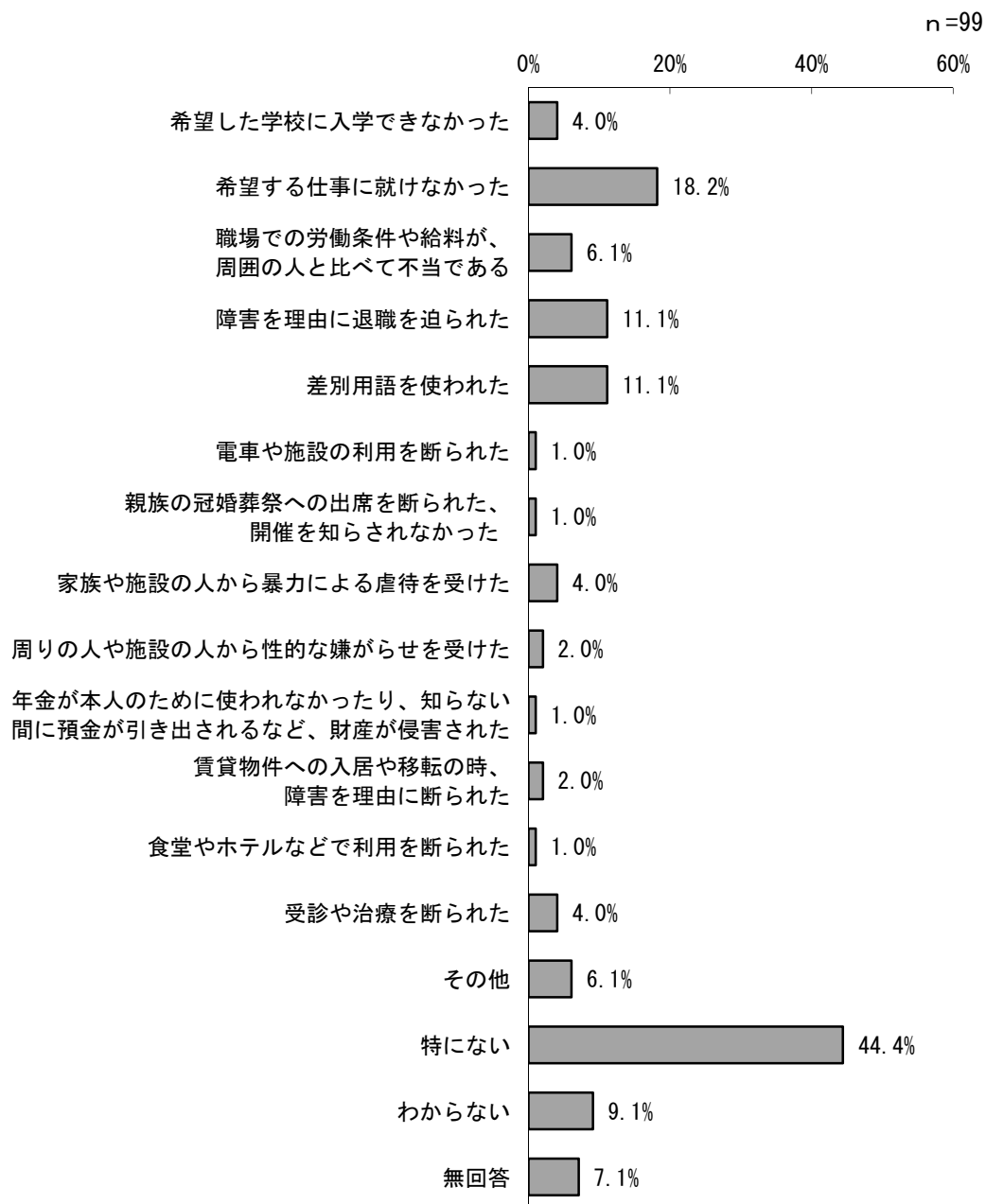
身体障害者では、「特にない」(45.6%)、「無回答」(35.8%)が多く、かなりの差があって「差別用語を使われた」(5.4%)、「希望する仕事に就けなかった」(5.2%)の順で続いています。

[知的障害者]



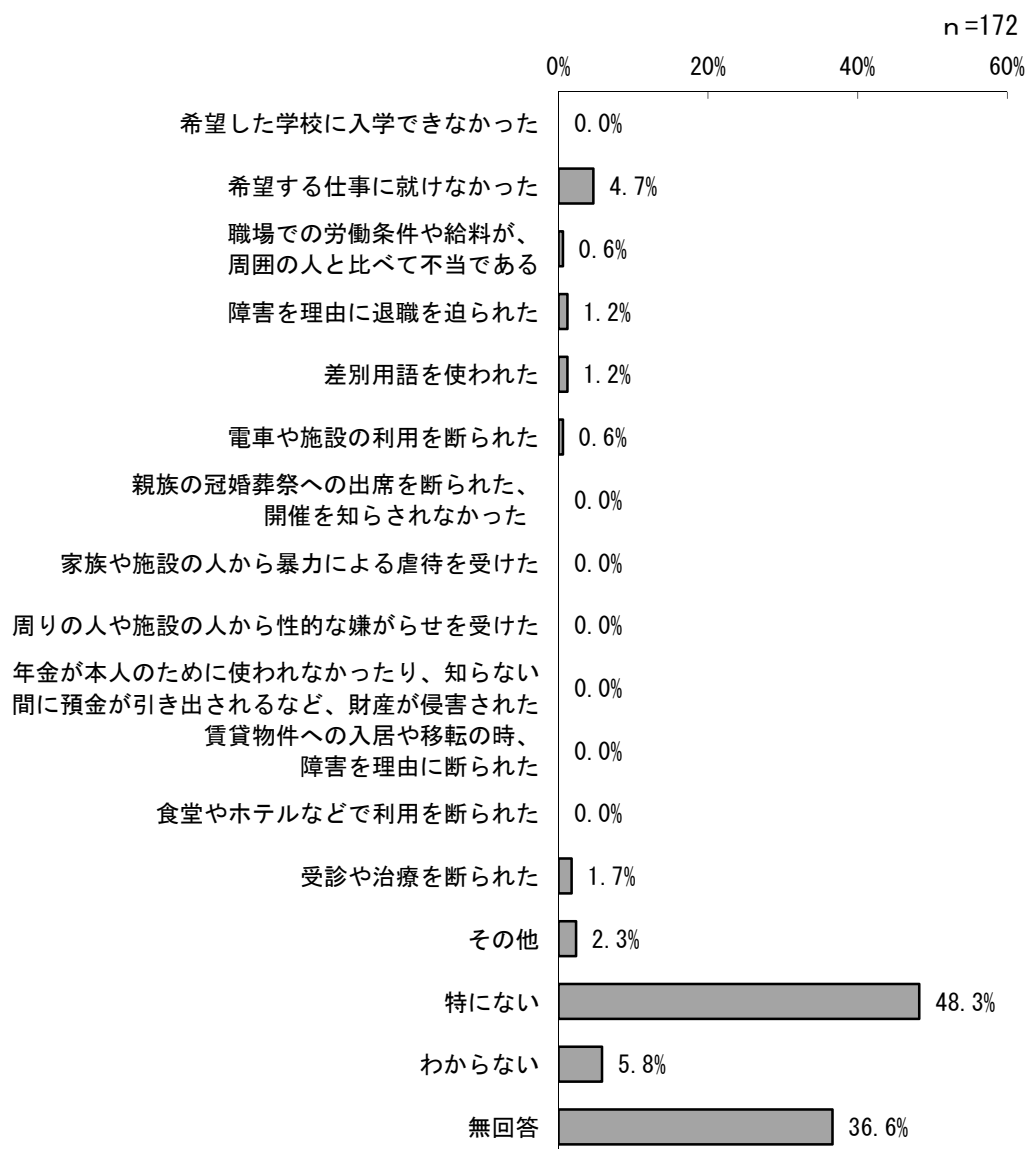
知的障害者では、「特にない」(31.2%)が最も多く、次いで「無回答」(22.3%)、「わからない」(17.2%)、「差別用語を使われた」(16.6%)の順で続いています。

[精神疾患患者]



精神疾患患者では、「特にない」(44.4%)が最も多く、次いで「希望する仕事に就けなかった」(18.2%)、「障害を理由に退職を迫られた」と「差別用語が使われた」(ともに11.1%)の順で続いています。

[難病患者]



難病患者では、「特にない」(48.3%)、「無回答」(36.6%)が多く、かなりの差があ  
って「わからない」(5.8%)、「希望する仕事に就けなかった」(4.7%)の順で続いて  
います。

(2) 生活の中での助かった配慮や広めてほしい取組  
(権利や人権擁護の観点から)

問 21 生活の中で権利や人権の擁護の観点からみて、「こんな配慮があり助かった」「この取組を広めてほしい」と感じた場面や状況があれば、記入してください。[自由記入]

【精神：問 18】

【身体・知的・難病調査】

身体・知的・難病調査では、のべ 42 件の回答がありました。記入内容を項目別にまとめると、以下のようになります。

(合計 42 件)	
学校や教育における配慮や取組	10 件
障害者等に対する理解	8 件
公共施設・道路における配慮や取組	6 件
公共交通機関における配慮や取組	4 件
情報やコミュニケーションにおける配慮や取組	4 件
近隣や地域における配慮	3 件
福祉サービスにおける配慮	3 件
医療機関における配慮や取組	2 件
お店など民間サービスにおける配慮	1 件
メディア(テレビ)での配慮	1 件

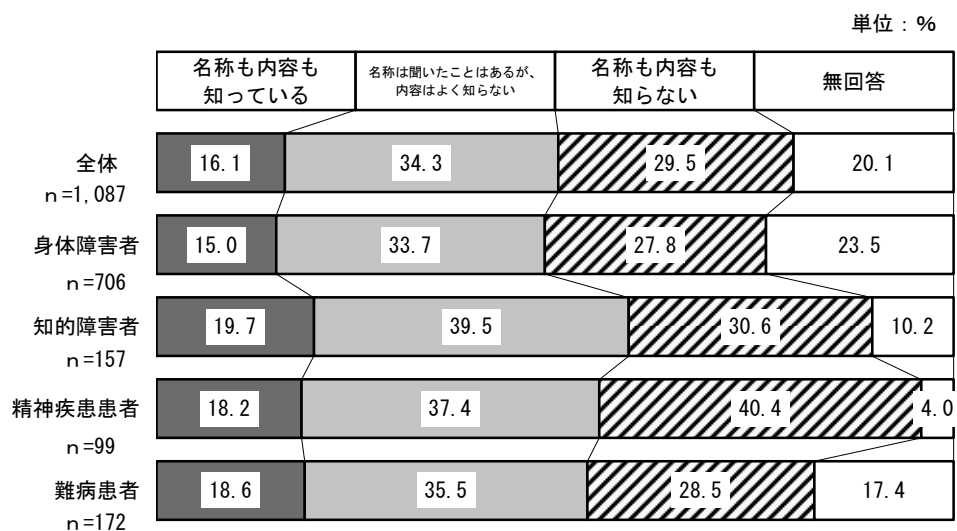
【精神疾患等調査】

精神疾患等調査では、のべ 13 件の回答がありました。記入内容を項目別にまとめると、以下のようになります。

(合計 13 件)	
福祉サービスにおける配慮	6 件
職場における配慮	2 件
地域における配慮	1 件
障害者に対する理解	1 件
公共交通機関における配慮	1 件
市役所などの行政機関における配慮や取組	1 件
制度などにおける配慮	1 件

(3) 「地域福祉権利擁護事業」や「成年後見制度」の認知状況

問 22 判断能力が十分でない方の権利を擁護する事業として、「地域福祉権利擁護事業」や「成年後見制度」がありますが、ご存知でしたか。[1つに○]  
【精神：問 19】



「地域福祉権利擁護事業」や「成年後見制度」の認知状況については、身体障害者、知的障害者、難病患者では、「名称は聞いたことはあるが、内容はよく知らない」がそれぞれ3割以上を占めて多くなっています。一方で、精神疾患患者は、「名称も内容も知らない」が40.4%と最も多くなっています。



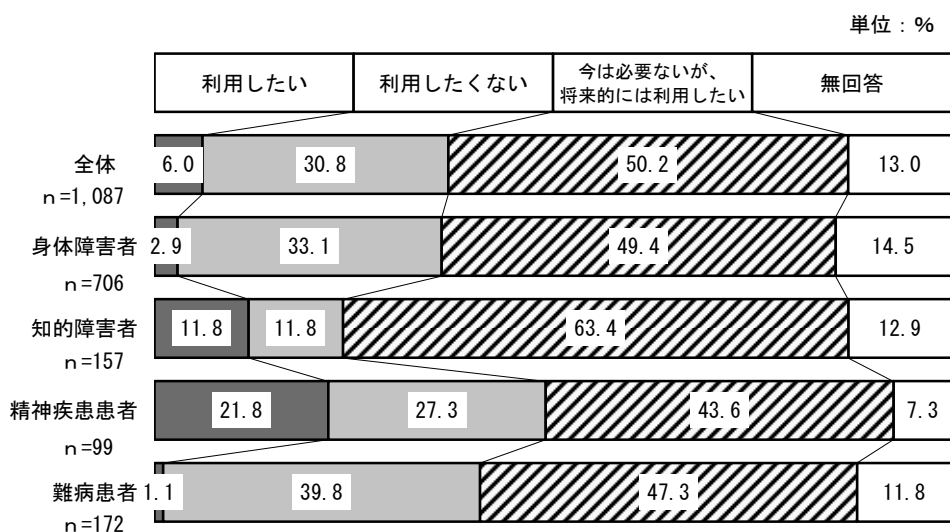
(4) 「地域福祉権利擁護事業」や「成年後見制度」の利用意向

問 22 で「1. 名称も内容も知っている」または「2. 名称は聞いたことはあるが、内容はよく知らない」と答えた方におたずねします。

問 22-1 「地域福祉権利擁護事業」や「成年後見制度」を利用したいですか。

[1 つに〇]

【精神：問 19-1】



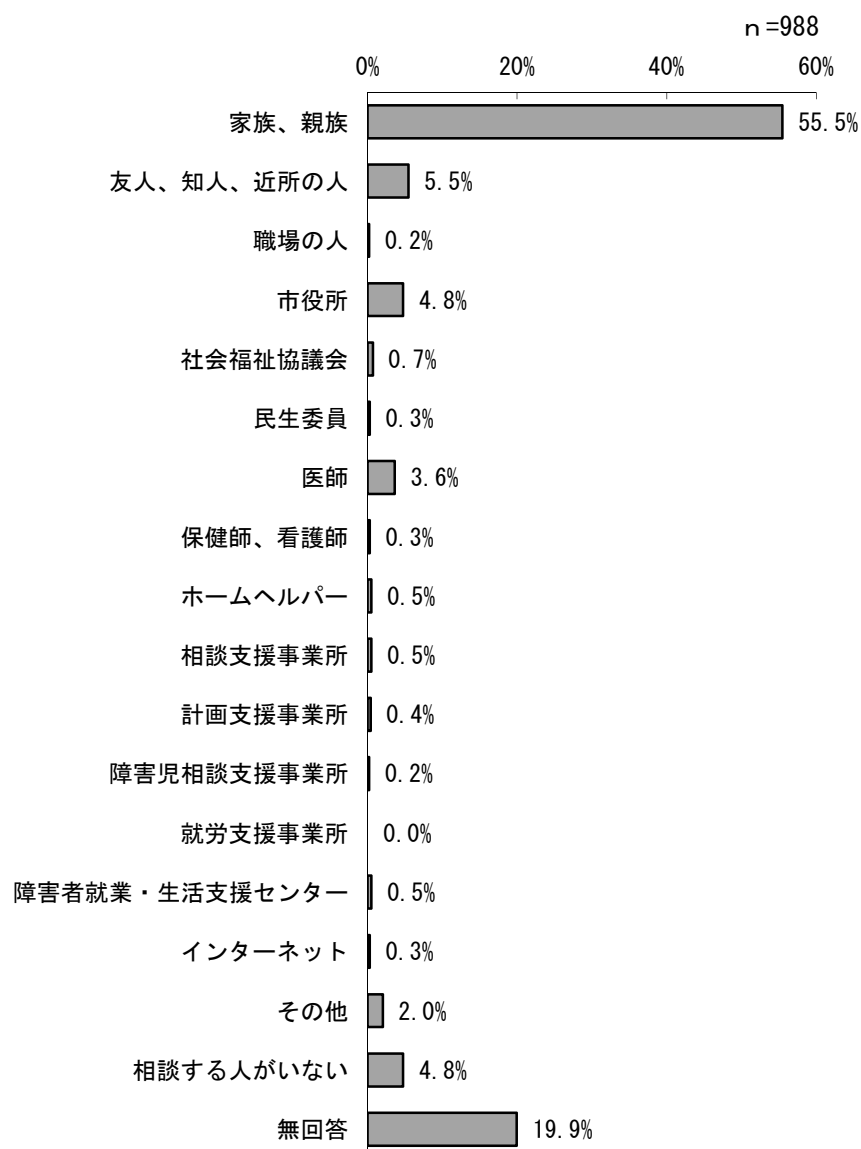
問 22(精神疾患等調査は問 19)で「名称も内容も知っている」または「名称は聞いたことはあるが、内容はよく知らない」と回答した人に「地域福祉権利擁護事業」や「成年後見制度」の利用意向について聞いたところ、すべての種別で「今は必要ないが、将来的には利用したい」が4割を超えて最も多く、特に知的障害者では63.4%と高い値になっています。

(5) 本人や介助者の相談先

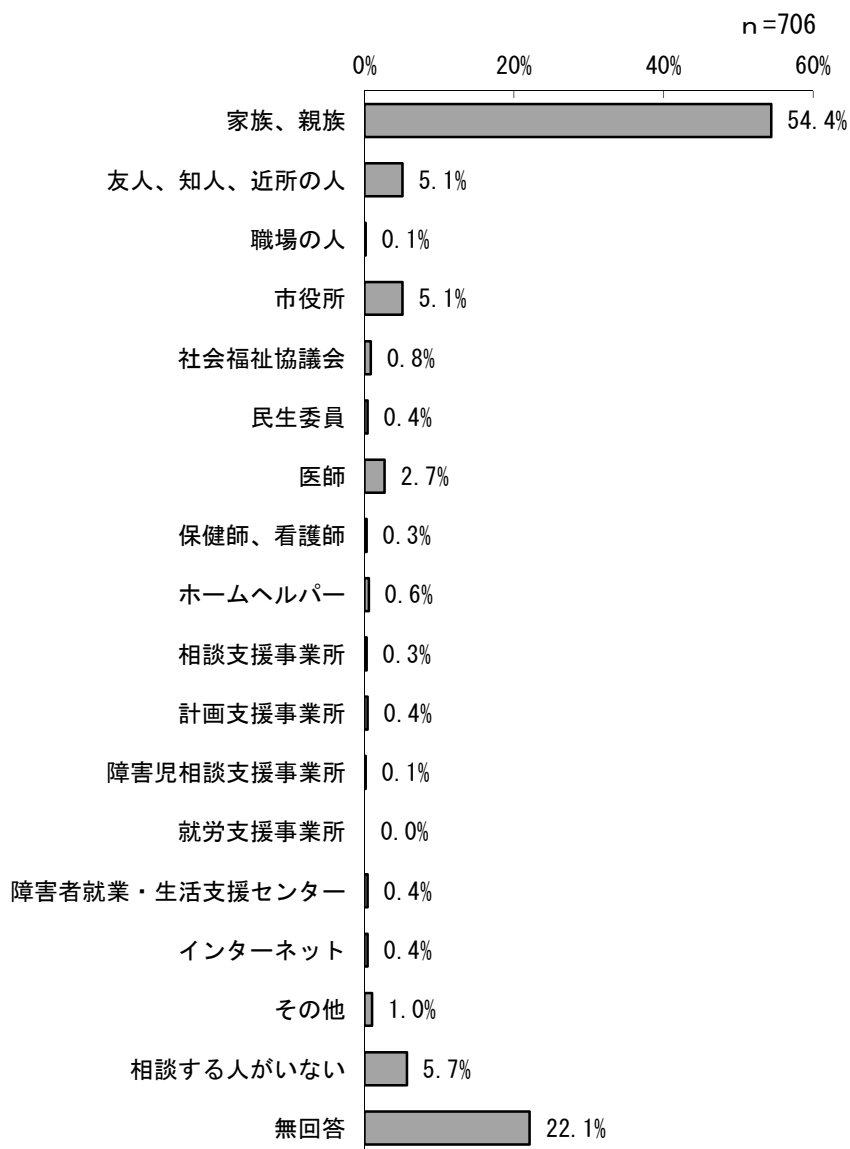
【身体・知的・難病調査】

問 23 あなたや介助者が、生活上の悩みや困ったことを相談するのは誰ですか。[1つに○]

[全体]

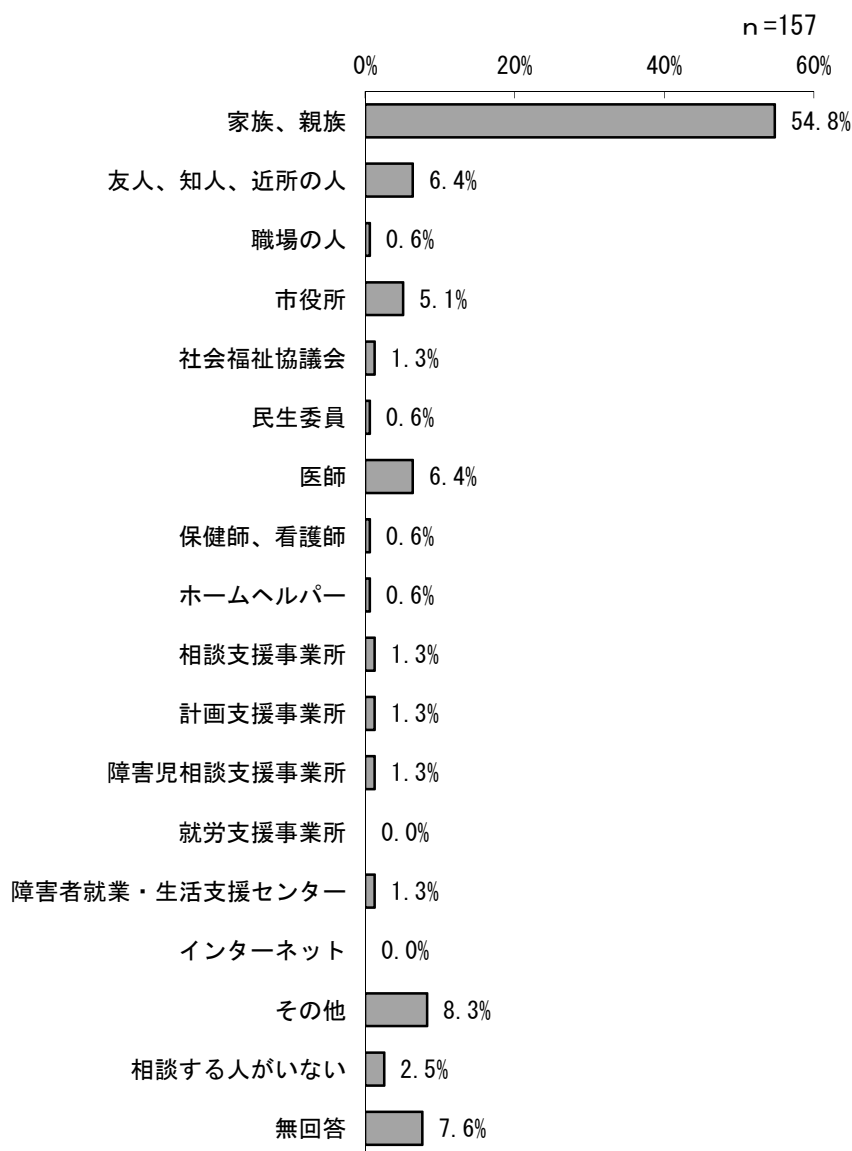


[身体障害者]



本人や介助者の相談先については、身体障害者では「家族、親族」(54.4%)が最も多く、かなりの差があって「無回答」(22.1%)、「相談する人がいない」(5.7%)の順で続いています。

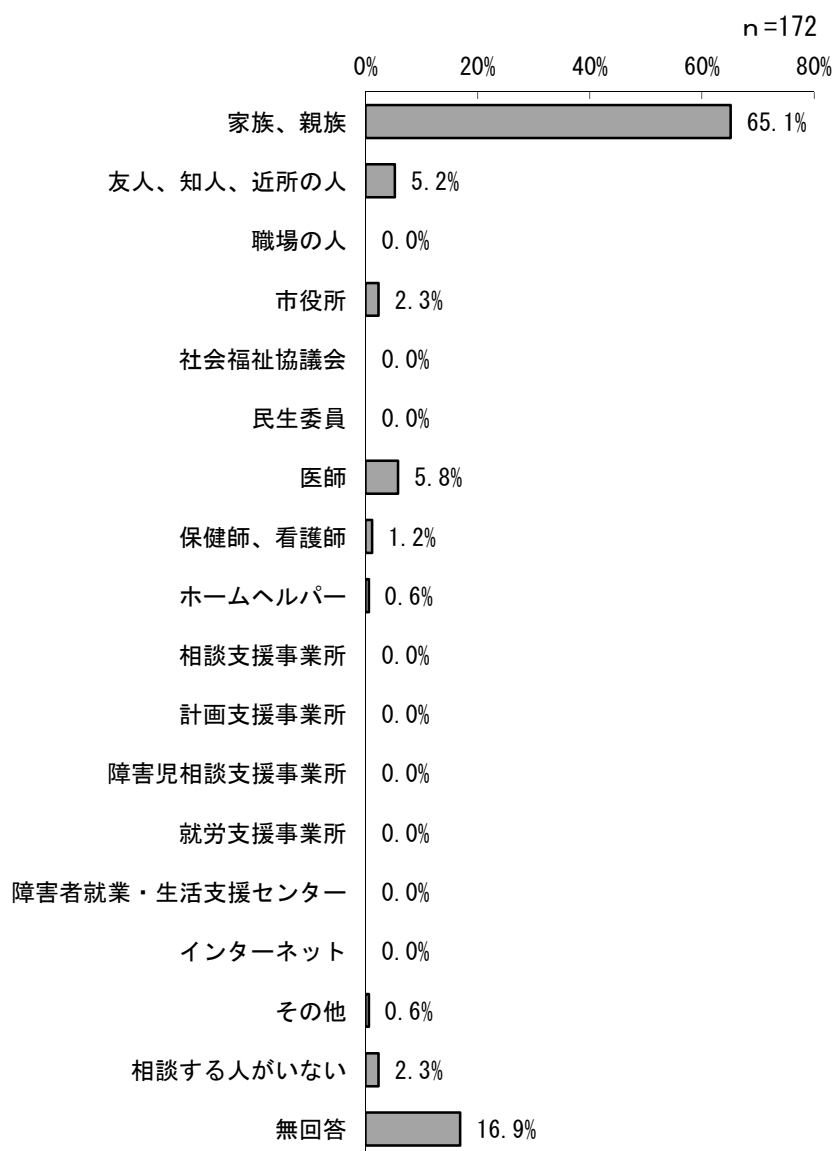
[知的障害者]



知的障害者では「家族、親族」(54.8%)が最も多く、かなりの差があって「その他」(8.3%)、「無回答」(7.6%)の順で続いています。

なお、「その他」で最も多かった回答は、「入所施設の職員」でした。

[難病患者]

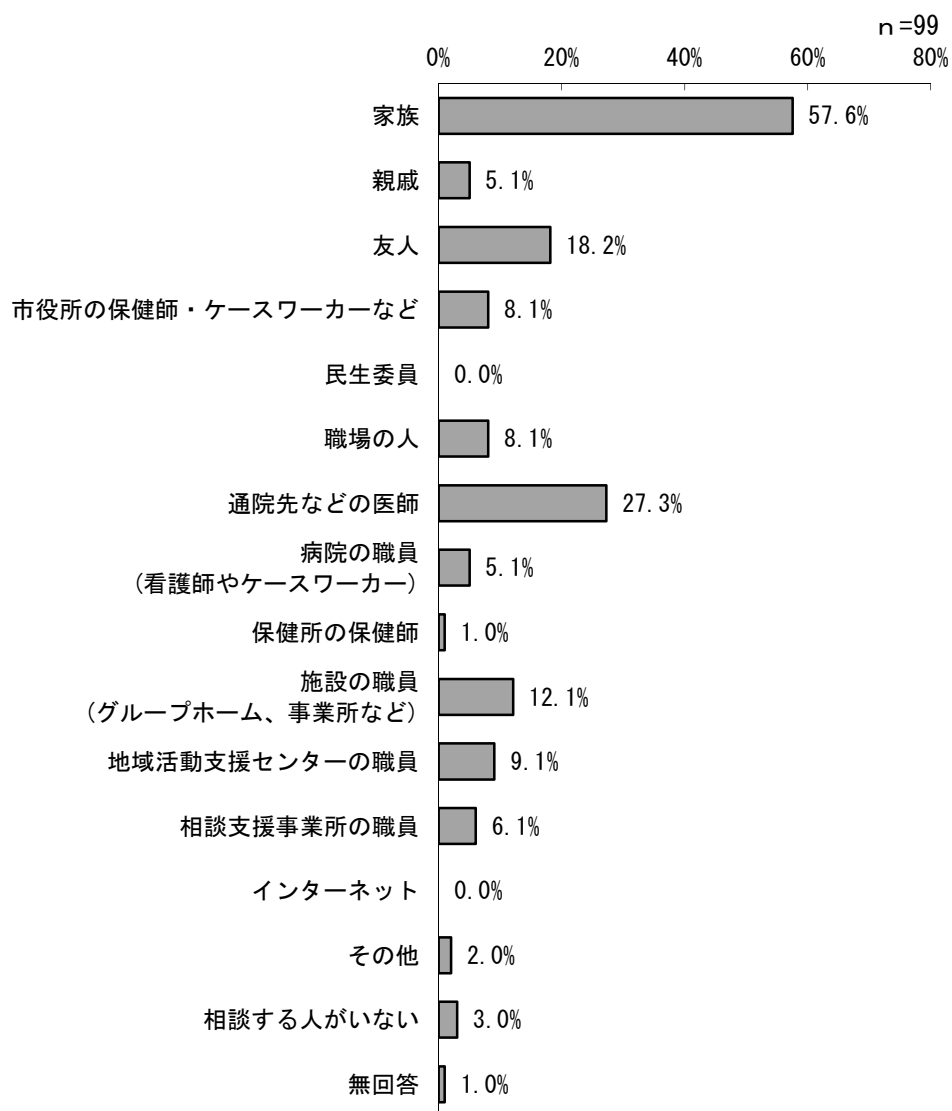


難病患者では「家族、親族」(65.1%)が最も多く、かなりの差があつて「無回答」(16.9%)、「医師」(5.8%)の順で続いています。

【精神疾患等調査】

問 20 あなたが生活上の悩みや困ったことを相談するのは誰ですか。

[○は2つ以内]



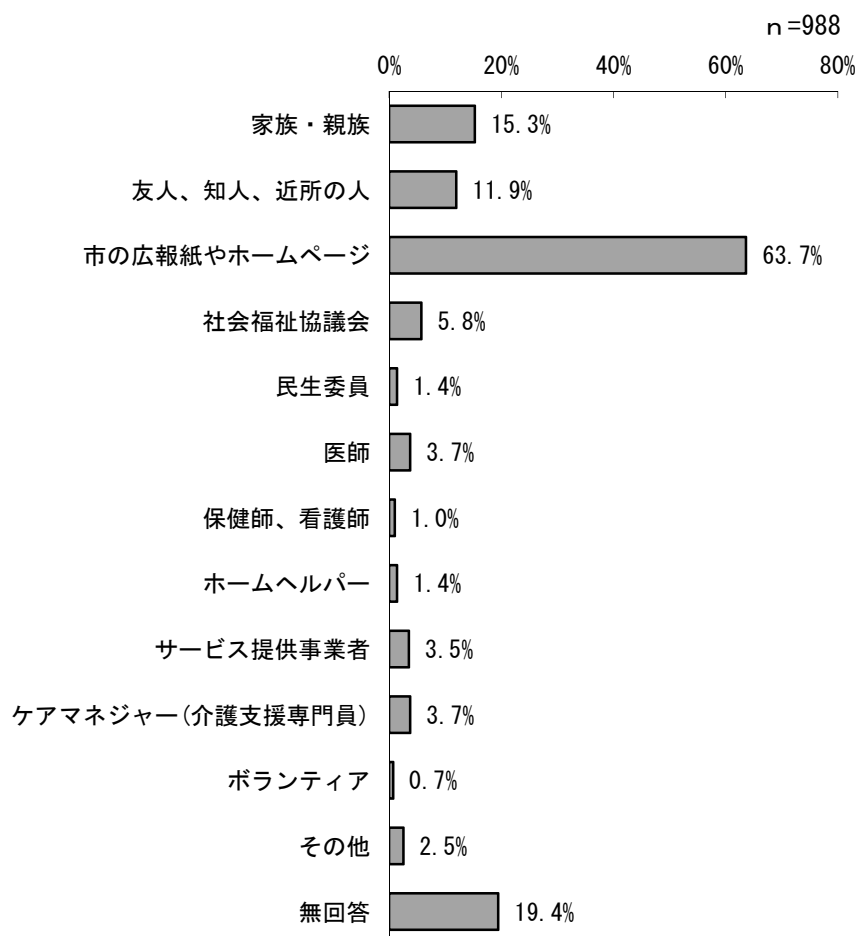
本人の相談先については、「家族」(57.6%)が最も多く、かなりの差があって「通院先などの医師」(27.3%)、「友人」(18.2%)の順で続いています。

(6) 市の催しなどを知る手段

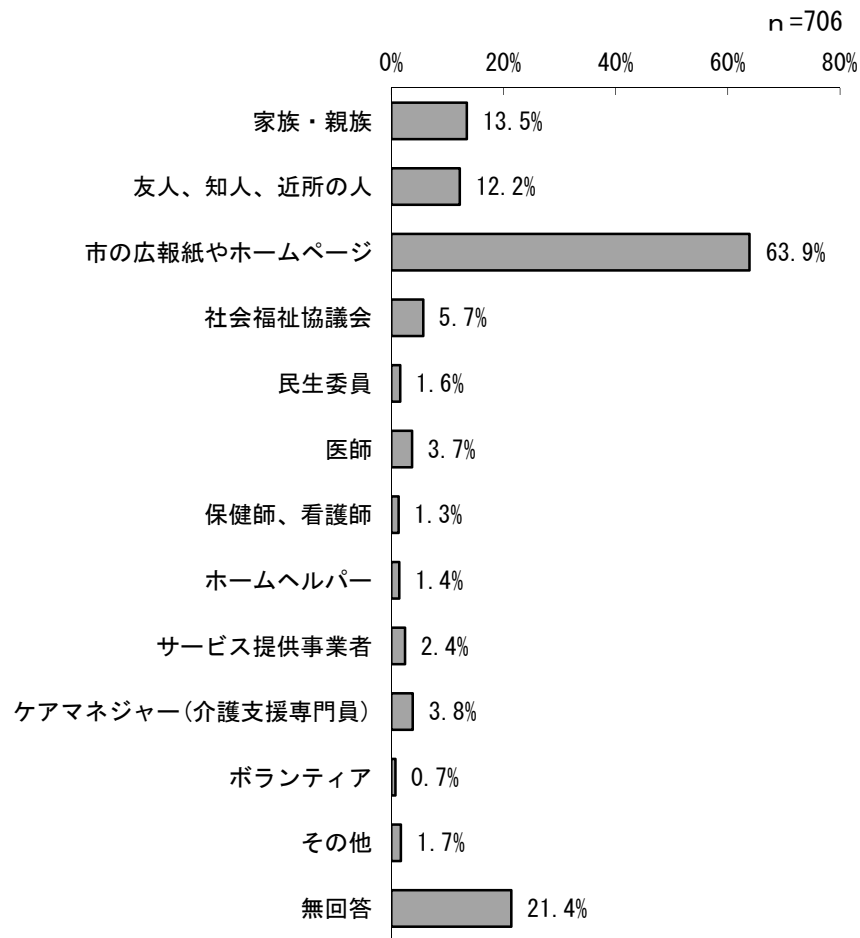
【身体・知的・難病調査のみ】

問 24 市が行う催しや行事、障害者福祉や保健に関することは、主に何でお知りになりますか。[いくつでも○]

[全体]



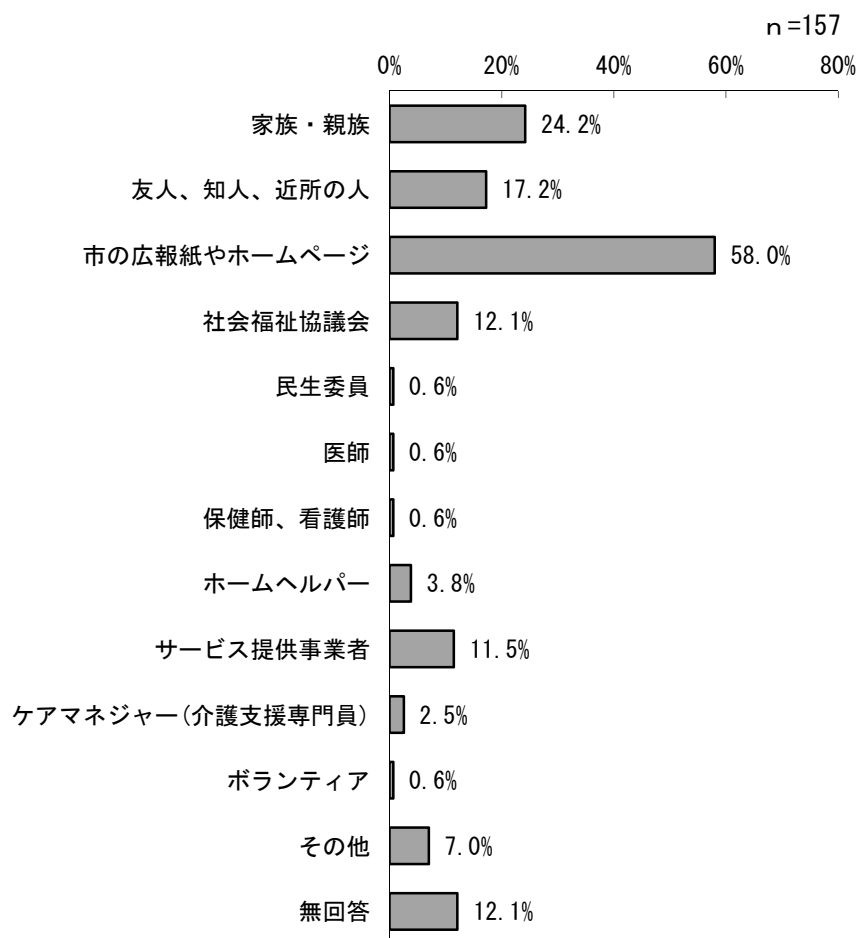
[身体障害者]



市の催しなどを知る手段については、身体障害者では「市の広報紙やホームページ」(63.9%)が最も多く、かなりの差があつて「無回答」(21.4%)、「家族・親族」(13.5%)の順で続いています。

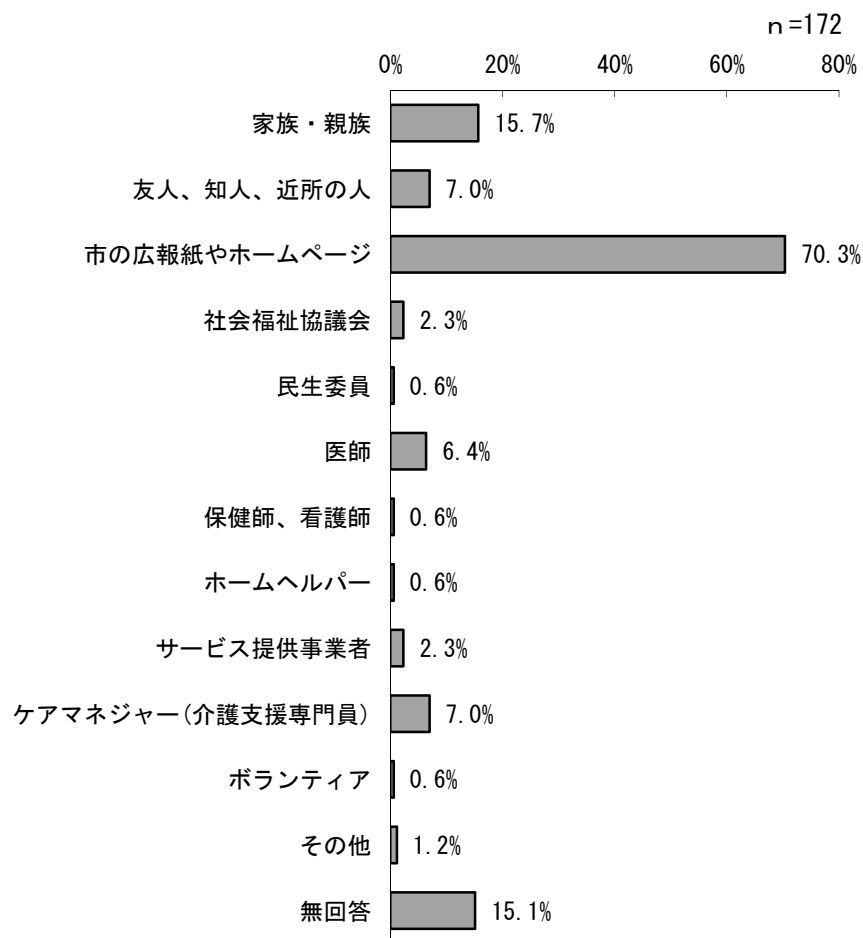


[知的障害者]



知的障害者では、「市の広報紙やホームページ」(58.0%)が最も多く、かなりの差があって「家族・親族」(24.2%)、「友人、知人、近所の人」(17.2%)の順で続いています。

## [難病患者]

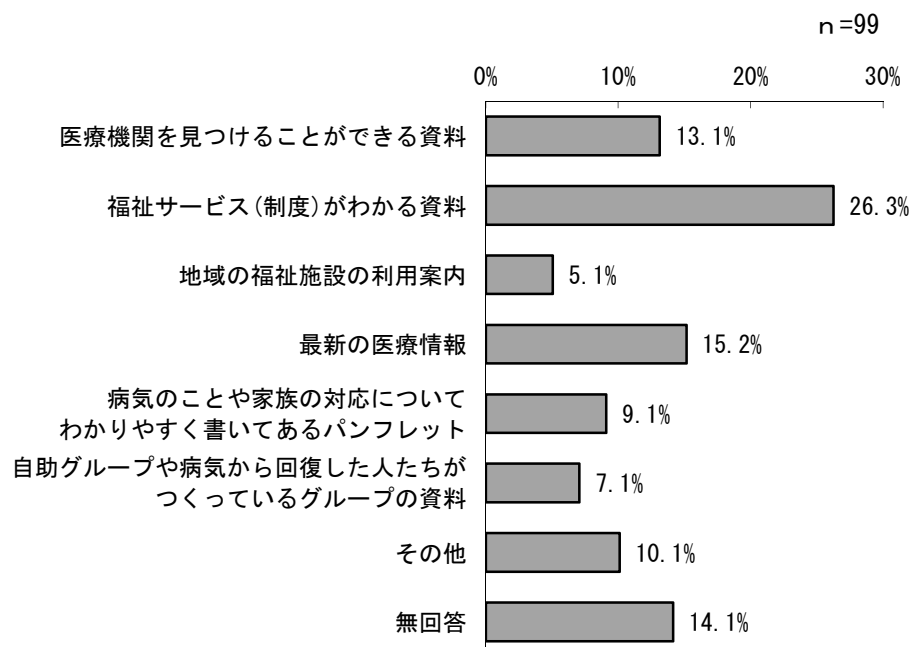


難病患者では、「市の広報紙やホームページ」(70.3%)が最も多く、かなりの差が  
あって「家族・親族」(15.7%)、「無回答」(15.1%)の順で続いています。

(7) 市役所や保健所などで必要な情報

【精神疾患等調査のみ】

問 21 市役所や保健所などで、あなたがほしい情報は何か。[1つに○]



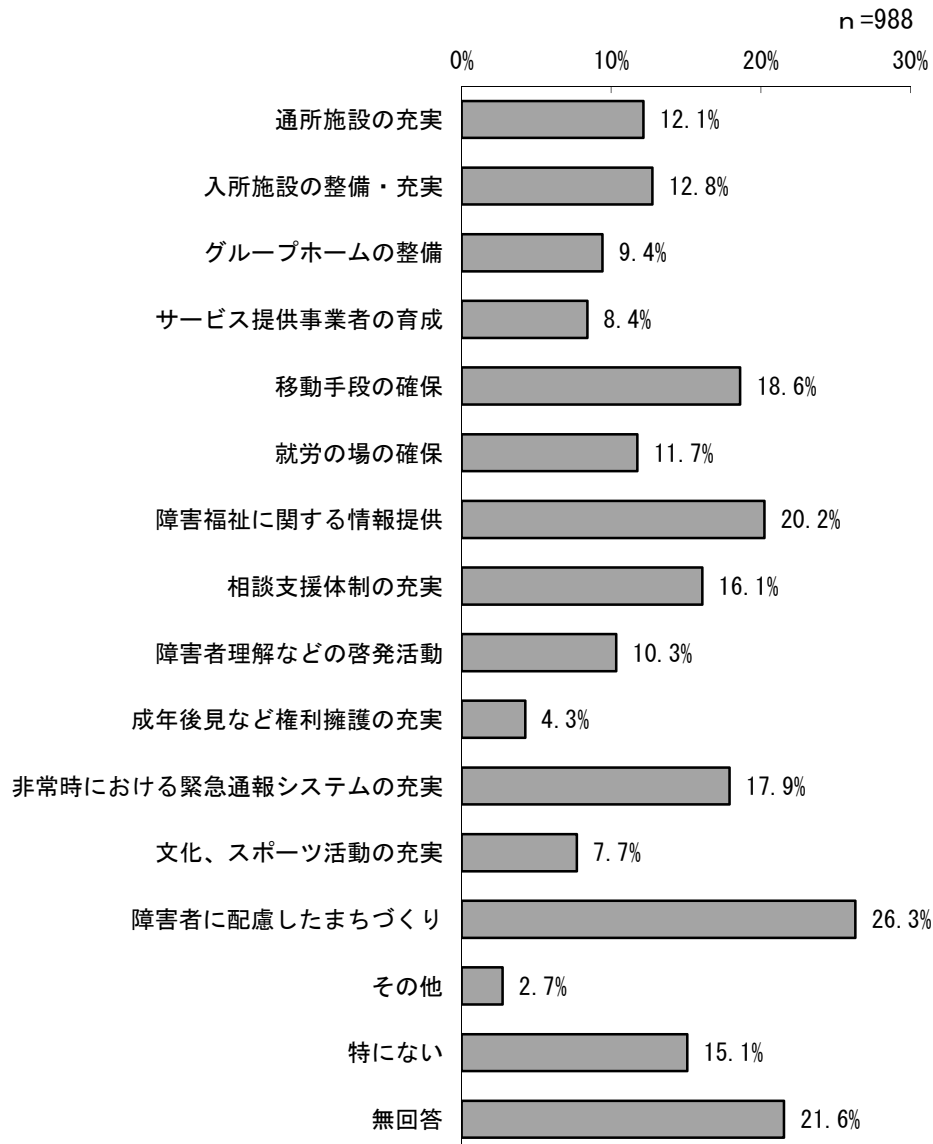
市役所や保健所などで欲しい情報については、「福祉サービス（制度）がわかる資料」（26.3%）が最も多く、次いで「最新の医療情報」（15.2%）、「無回答」（14.1%）の順で続いています。

(5) 市に期待すること

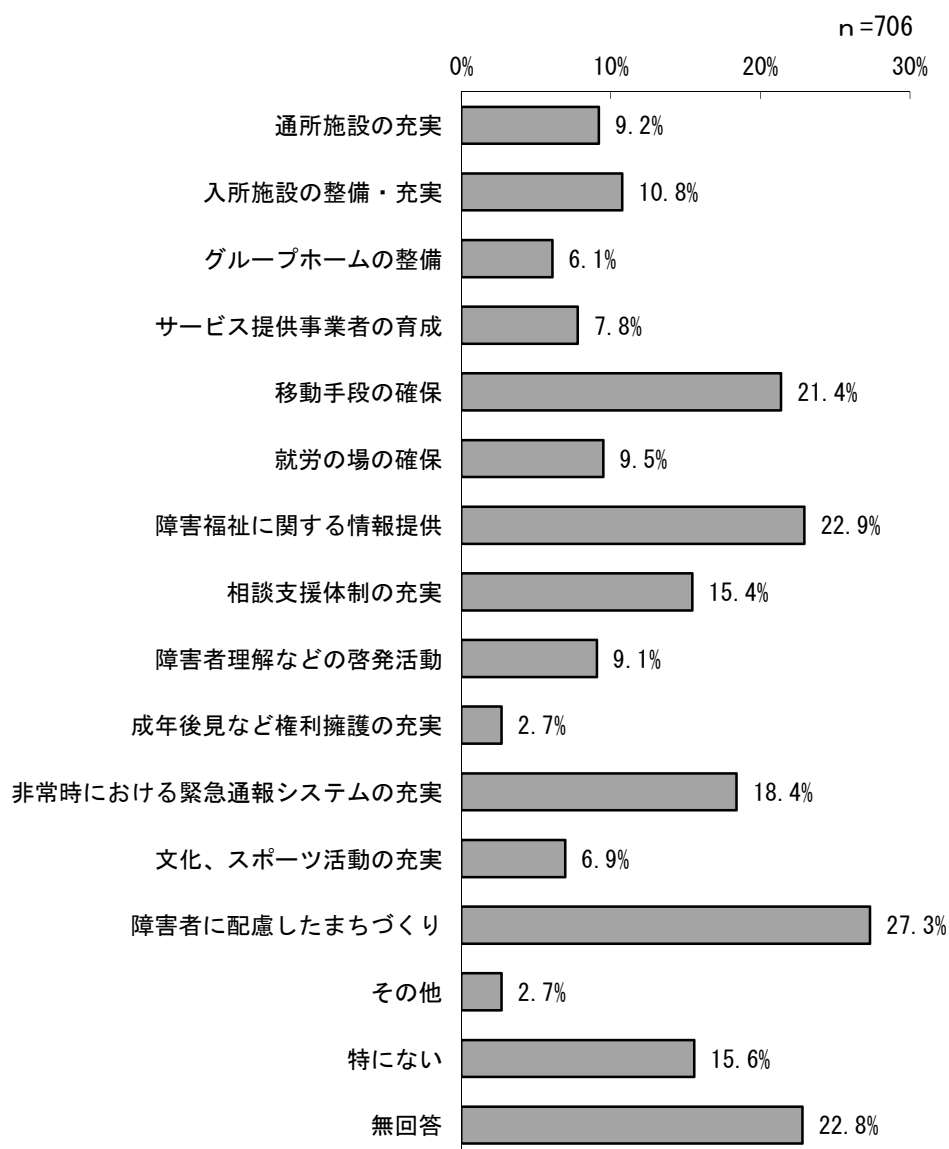
【身体・知的・難病調査】

問 25 今後、市に何を期待しますか。[5つ以内に○]

[全体]

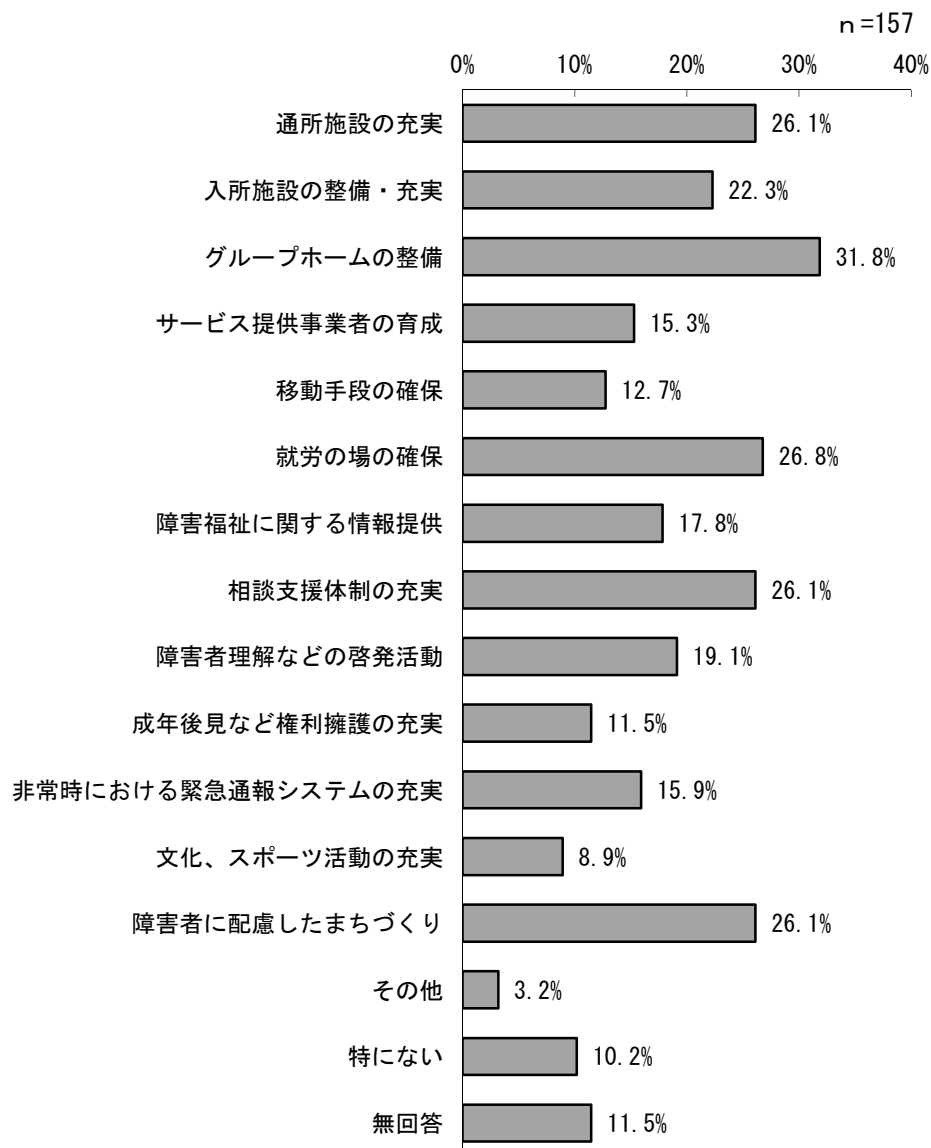


[身体障害者]



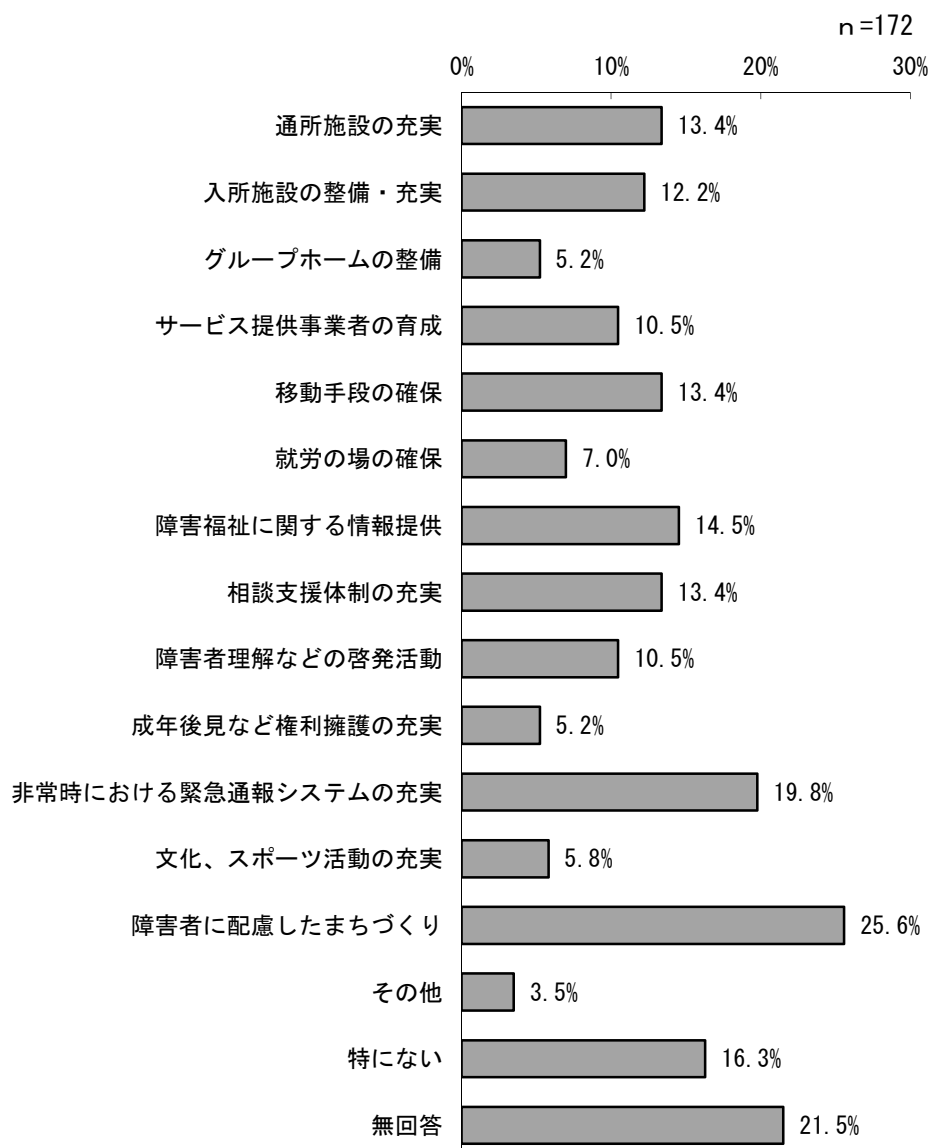
市に期待することについては、身体障害者では「障害者に配慮したまちづくり」(27.3%)が最も多く、次いで「障害福祉に関する情報提供」(22.9%)、「無回答」(22.8%)の順で続いています。

[知的障害者]



知的障害者では、「グループホームの整備」(31.8%)が最も多く、次いで「就労の場の確保」(26.8%)、「通所施設の充実」と「相談支援体制の充実」と「障害者に配慮したまちづくり」(いずれも26.1%)の順で続いています。

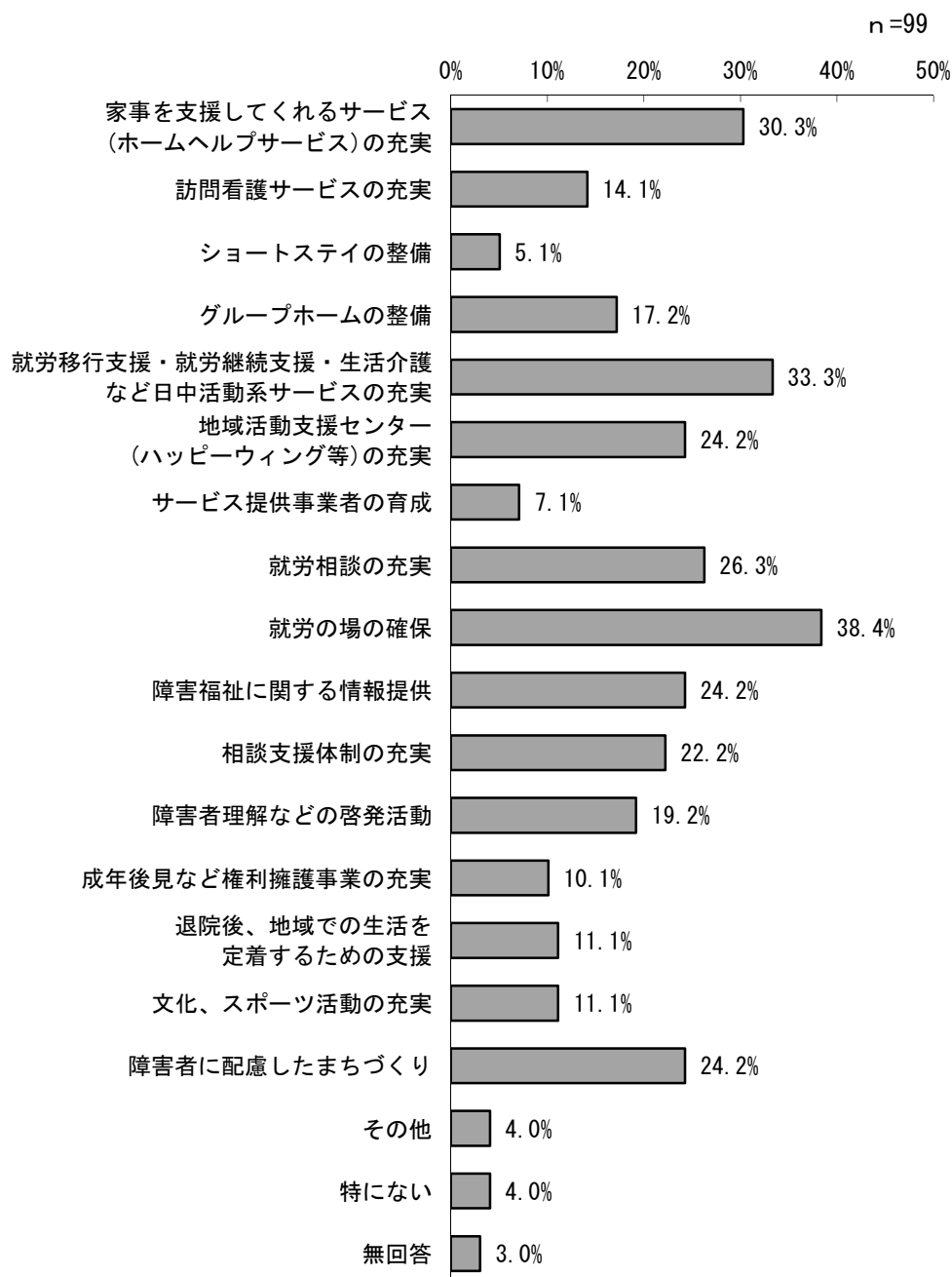
[難病患者]



難病患者では、「障害者に配慮したまちづくり」(25.6%)が最も多く、次いで「無回答」(21.5%)、「非常時における緊急通報システムの充実」(19.8%)の順で続いています。

【精神疾患等調査】

問 22 今後、市に何を期待しますか。[いくつでも○]



市に期待することについては、「就労の場の確保」(38.4%)、「就労移行支援・就労継続支援・生活介護など日中活動系サービスの充実」(33.3%)、「家事を支援してくれるサービスの充実」(30.3%)が多くなっています。

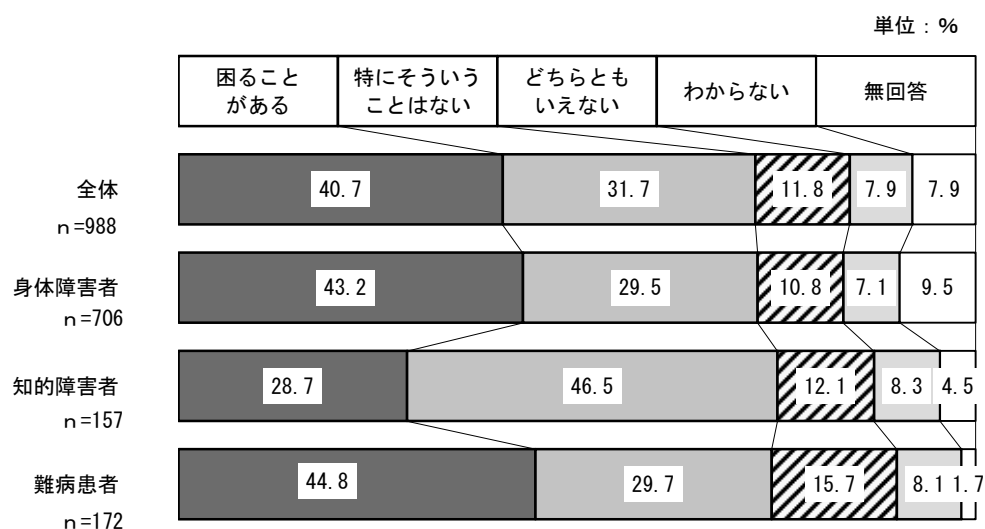


## 11 災害時の対応について

### (1) 災害発生時に健康上困ること

【身体・知的・難病調査のみ】

問 26 災害などが発生した時、数日間医療機関で受診や治療を受けられなかった場合、健康上困ることがありますか。[1つに〇]



災害発生時に健康上困ることがあるかについては、身体障害者、難病患者では「困ることがある」がそれぞれ4割を超えて最も多くなっています。一方で、知的障害者では「特にそういうことはない」(46.5%)と回答した人が最も多くなっています。

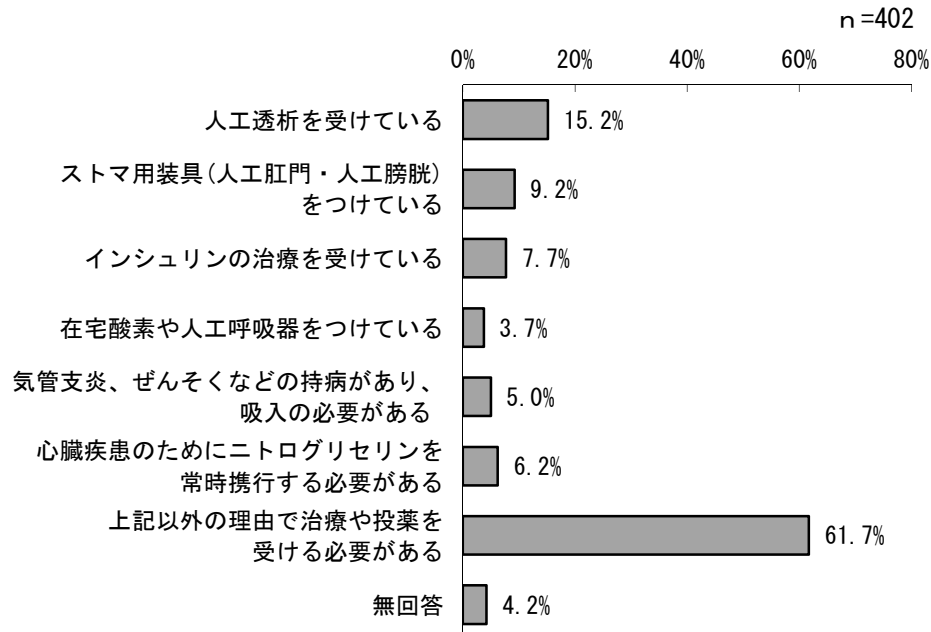
(2) 受診や治療を受けられない場合に健康上困る理由

【身体・知的・難病調査のみ】

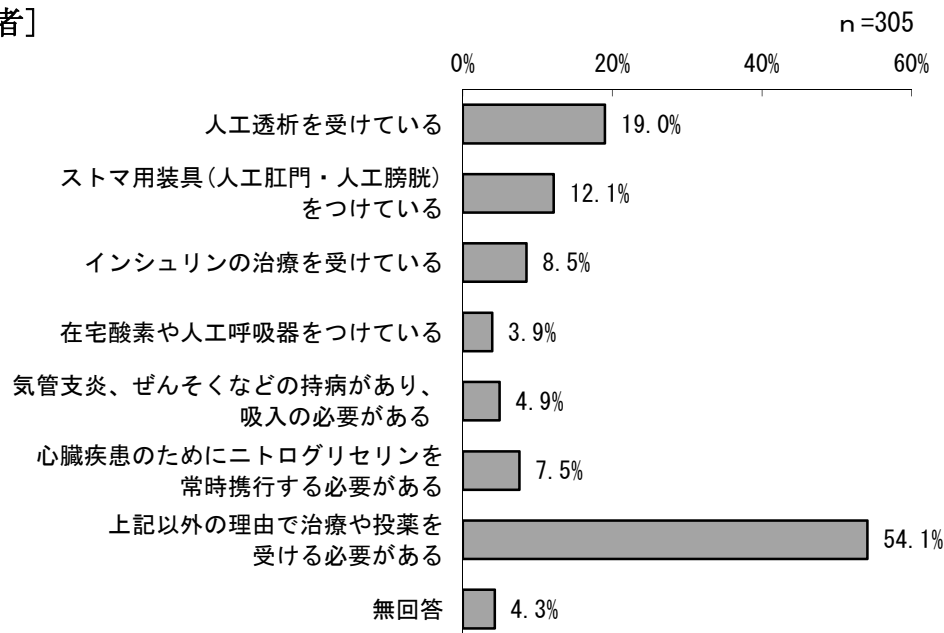
問 26 で「1. 困ることがある」と答えた方におたずねします。

問 26-1 それはどのような理由によるものですか。[いくつでも○]

[全体]

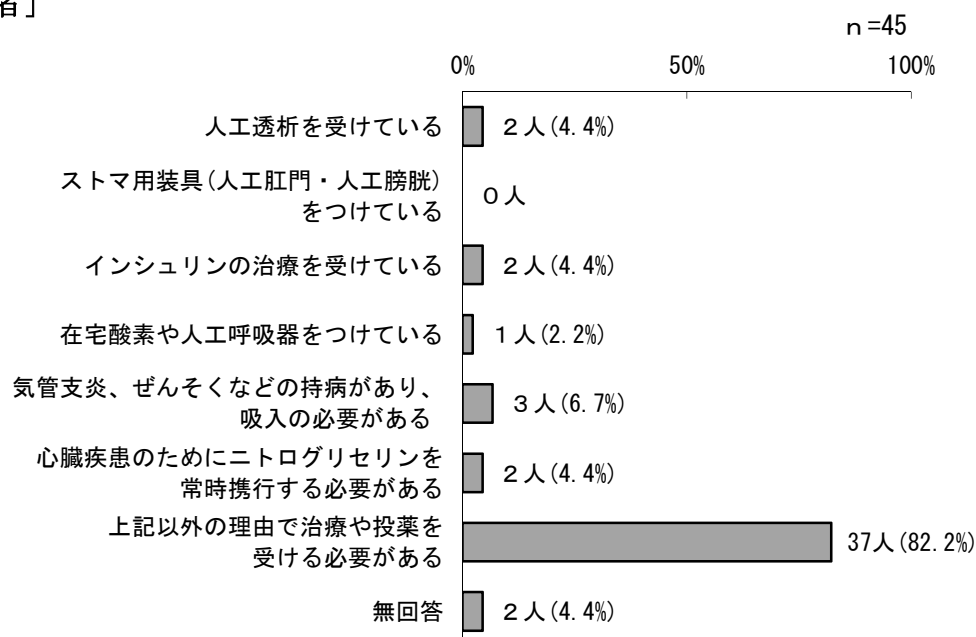


[身体障害者]



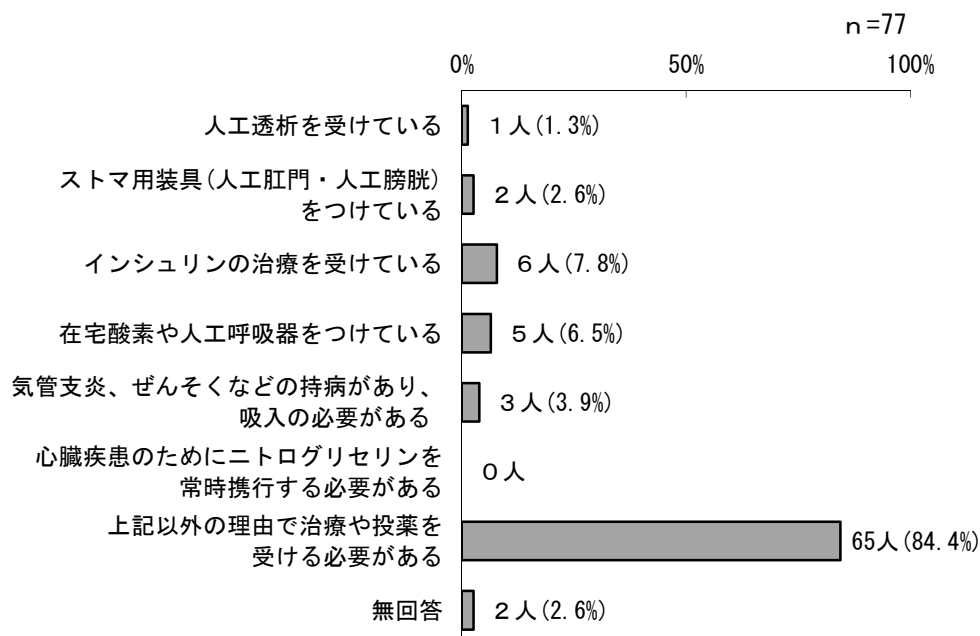
問 26 で「困ることがある」と回答した人にその理由を聞いたところ、身体障害者では「上記以外の理由で治療や投薬を受ける必要がある」(54.1%)が最も多くなっています。

### [知的障害者]



知的障害者では、「上記以外の理由で治療や投薬を受ける必要がある」(45人中37人〔参考値：82.2%〕)が最も多くなっています。

### [難病患者]



難病患者では、「上記以外の理由で治療や投薬を受ける必要がある」(77人中65人〔参考値：84.4%〕)が最も多くなっています。

### (3) 災害発生時に健康面以外で困ること

#### 【身体・知的・難病調査のみ】

問 27 災害などが発生した時、問 26-1 以外で困ることがあれば記入してください。[自由記入]

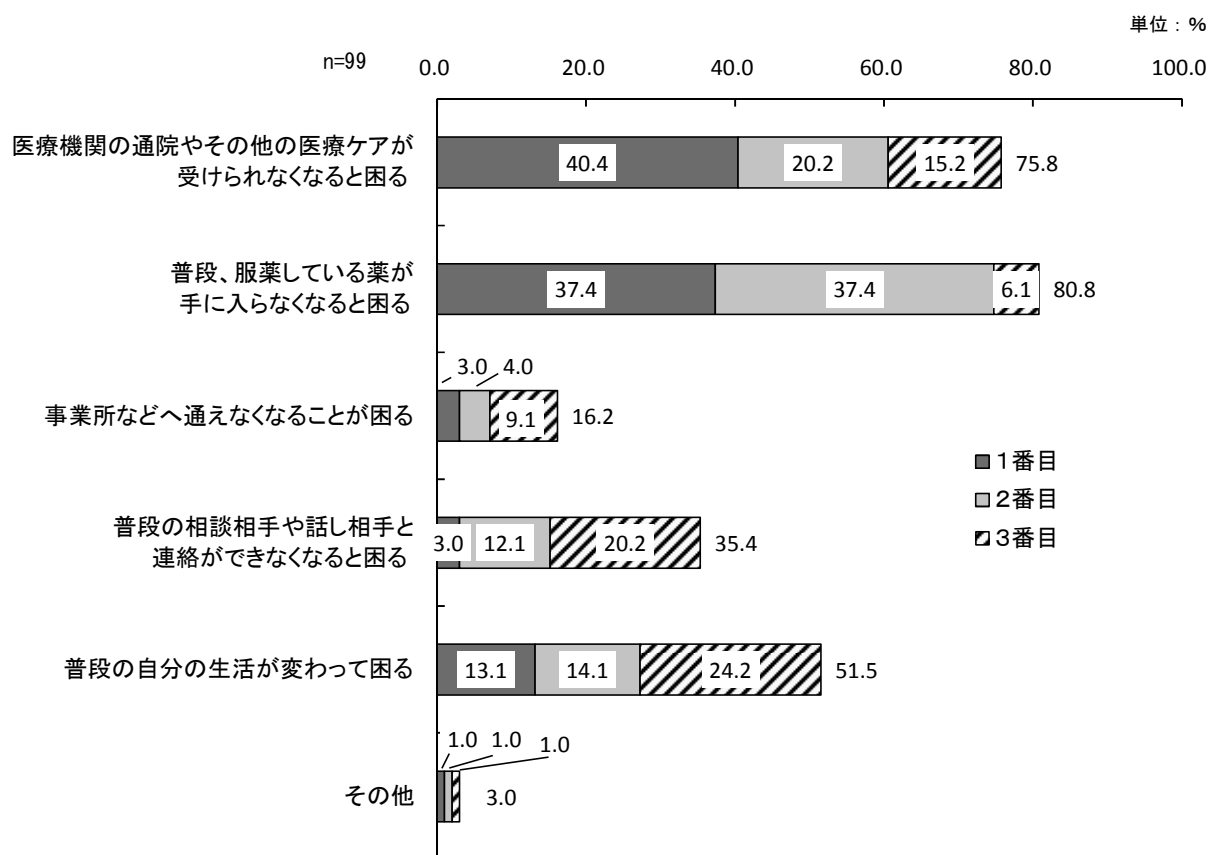
災害発生時に健康面以外で困ることについては、のべ 110 件の回答がありました。記入内容を項目別にまとめると、以下のようになります。

(合計 110 件)	
自力での移動や避難が難しい	38 件
避難所での共同生活が難しい(周囲に迷惑をかけてしまう等)	13 件
パニック症状に対する不安	10 件
トイレについての不安(避難所でのトイレが使えるかどうか等)	9 件
情報提供の充実	6 件
交通(移動)手段の確保	6 件
市の放送などが聞こえないことに対する不安	5 件
食事についての不安(食事制限、アレルギーへの配慮)	5 件
通信手段の確保	4 件
コミュニケーションに対する不安	4 件
相談先の確保	2 件
寝具についての不安	2 件
助けてくれる人が近くにいない	1 件
家族と離れることへの不安	1 件
インフラの確保	1 件
シャワーや浴室の確保	1 件
精神的な不安	1 件
災害時の生活全般に対する不安	1 件

(4) 災害発生時に心身の健康面や生活面で困ること

【精神疾患等調査のみ】

問 24 震災や水害などの災害発生時に、あなたは心身の健康面や生活面でどんなことに困ると思いますか。[最も困ると思われることから順に3つ以内]

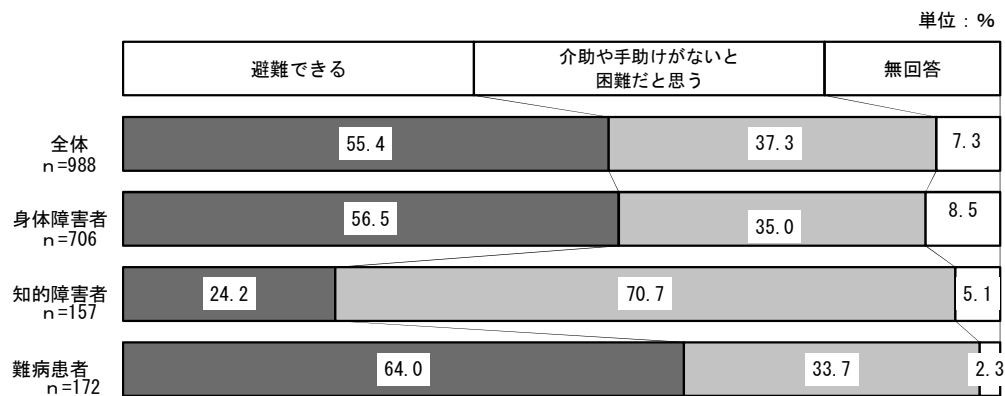


災害発生時に心身の健康面や生活面で最も困ることについては、「医療機関の通院やその他の医療ケアが受けられなくなると困る」(40.4%)、「普段、服薬している薬が手に入らなくなると困る」(37.4%)が多くなっています。

(5) 災害発生時の避難の可否

【身体・知的・難病調査のみ】

問 28 震災や水害などの災害発生時に、あなたは自力で避難することができますか。[1つに○]

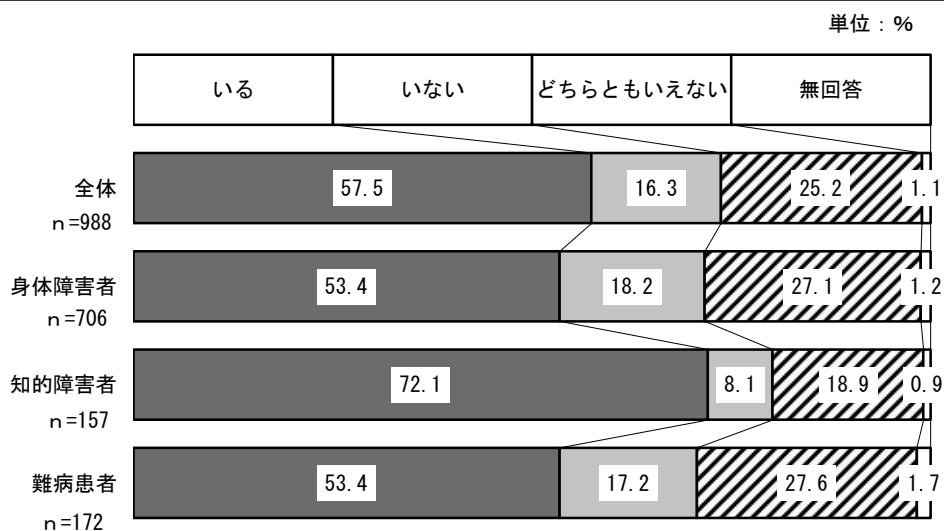


災害発生時の自力避難の可否については、身体障害者、難病患者では「避難できる」がそれぞれ5割台半ば以上で多くなっています。一方で、知的障害者では「介助や手助けがないと困難だと思う」(70.7%)と回答した人の方が多くなっています。

(6) 避難時に手助けしてくれる人の有無

【身体・知的・難病調査のみ】

問 28 で「2. 介助や手助けがないと困難だと思う」と答えた方におたずねします。  
問 28-1 災害発生に伴う避難時に、身近に手助けしてくれる人はいますか。  
[1つに○]



問 28 で「介助や手助けがないと困難だと思う」と回答した人に手助けしてくれる人の有無を聞いたところ、すべての種別で「いる」がそれぞれ過半数以上を占めて多くなっています。

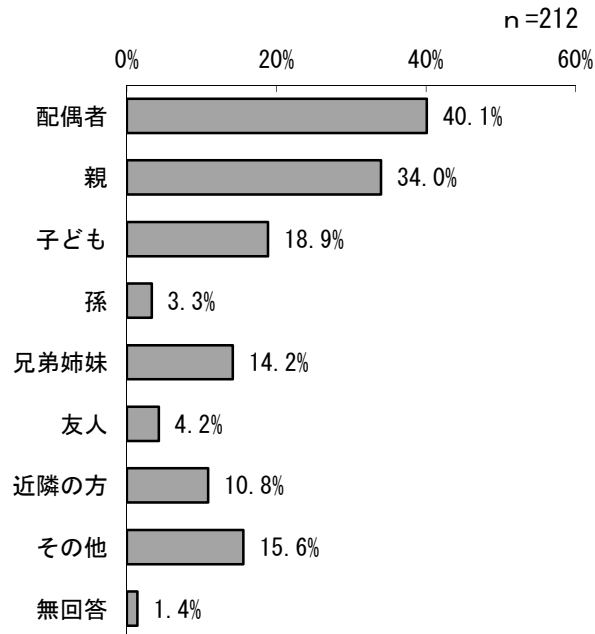
(7) 避難時に手助けしてくれる人

【身体・知的・難病調査のみ】

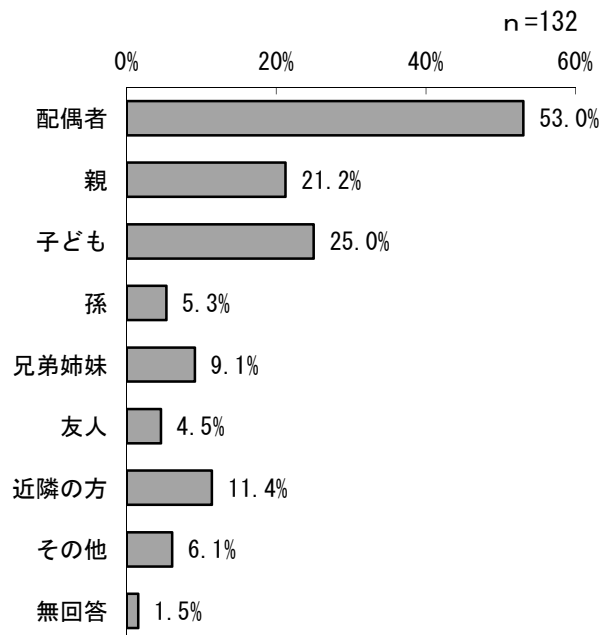
問 28-1 で「1. いる」と答えた方におたずねします。

問 28-1-1 それは誰ですか。[いくつでも○]

[全体]

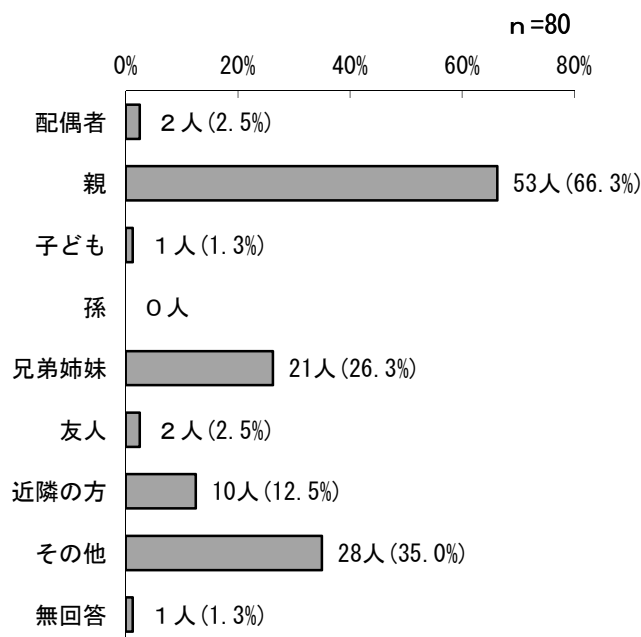


[身体障害者]



問 28-1 で「いる」と回答した人に手助けしてくれる人について聞いたところ、身体障害者では「配偶者」(53.0%)が最も多く、次いで「子ども」(25.0%)、「親」(21.2%)の順で続いています。

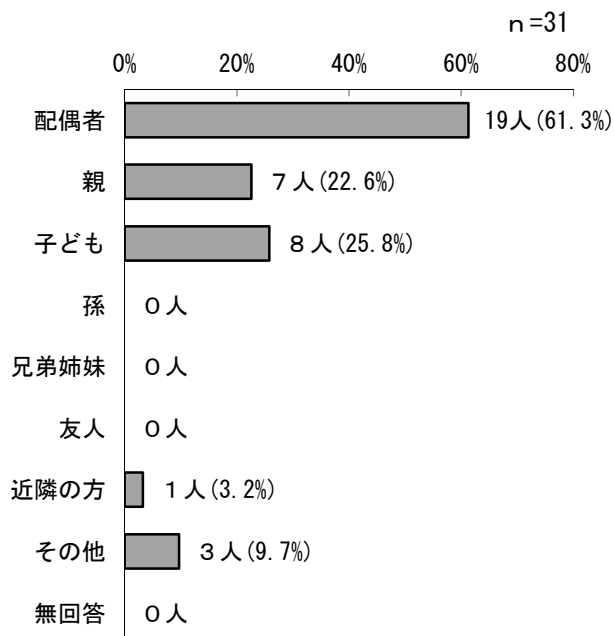
### [知的障害者]



知的障害者では、「親」(80人中53人〔参考値:66.3%〕)が最も多く、次いで「その他」(同28人〔参考値:35.0%〕)、「兄弟姉妹」(同21人〔参考値:26.3%〕)の順で続いています。

なお、「その他」で最も多かった回答は「入所施設の職員」でした。

### [難病患者]

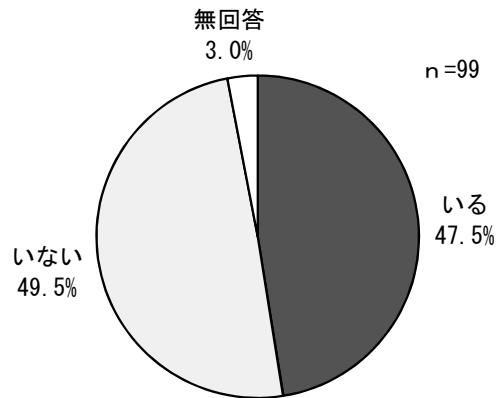


難病患者では、「配偶者」(31人中19人〔参考値:61.3%〕)が最も多く、次いで「子ども」(同8人〔参考値:25.8%〕)、「親」(同7人〔参考値:22.6%〕)の順で続いています。



(8) 緊急時に協力してくれる人  
【精神疾患等調査のみ】

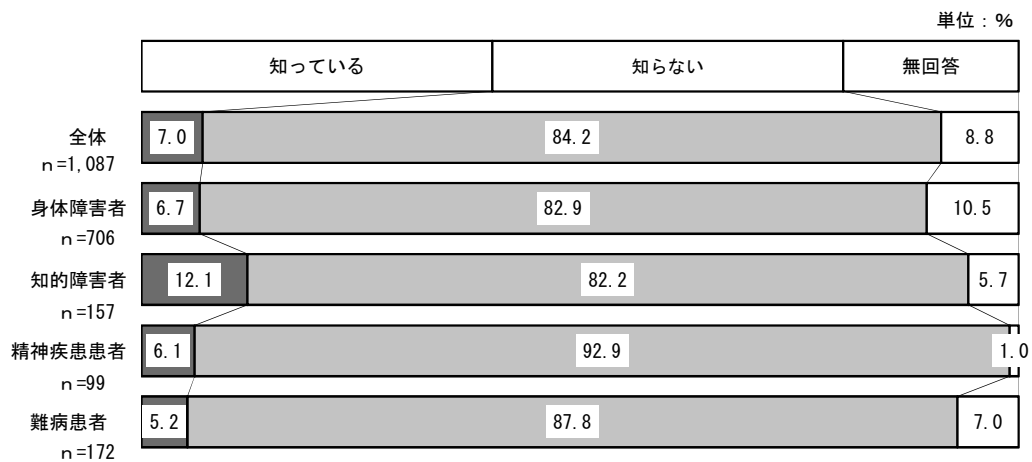
問 23 火災などの緊急時に近所で協力してくれる人がいますか。[1つに○]



緊急時に近所で協力してくれる人については、「いる」が47.5%、「いない」が49.5%で、「いない」がわずかに多くなっています。

(9) 「福祉避難所」の認知状況

問 29 障害のある方が優先的に避難できる「福祉避難所」をご存知ですか。  
[1つに○]  
【精神：問 25】



「福祉避難所」の認知状況については、すべての種別で「知らない」が8割を超え、「知っている」を圧倒的に上回っています。

## 12 自由記入

◎市の障害福祉施策について、ご意見・ご要望などございましたら、ご自由にお書きください。[自由回答]

### 【身体・知的・難病調査】

身体・知的・難病調査では、のべ180件の回答がありました。記入内容を項目別にまとめると、以下のようになります。

(合計 180 件)	
道路・歩道の整備	14 件
具体的記載内容実例： <ul style="list-style-type: none"> <li>○7月中頃右足が段の角にひっかかりころび、足が不具合になり手押し車を利用して歩いていますが、道路の凹凸や踏切の開口部など注意していますが歩きにくいところがたくさん。車いすでなく自分の足で歩きたいので路面のバリアフリーをよろしく願います。</li> <li>○道路の段差をなくし歩きやすい様に。</li> </ul>	
サービス全般の質、量の不足、推進(他自治体との比較等)	8 件
市からの積極的な情報発信	8 件
<ul style="list-style-type: none"> <li>○福祉施策をもっとアピールしてほしい。</li> <li>○情報を得る方法が今ひとつ分からない。十分やられていると思いますが、利用者は思っている以上に知らないものです。</li> </ul>	
入所施設等の充実	8 件
経済的支援	7 件
就労支援の充実	6 件
サービスについての情報提供	5 件
相談体制の充実	5 件
バス・福祉バスについて	5 件
個人の状況に合わせたサービスの供給	4 件
市職員の障害者に対する対応の充実	4 件
信号機について(音響付き信号機の設置など)	4 件
親亡き後の支援の充実	3 件
交流の場の確保	3 件
将来に対する不安	3 件
タクシー券について	3 件
手続きの簡略化	3 件
福祉避難所について	3 件

移動手段の確保	2件
医療サービス等の充実	2件
エレベーターの設置	2件
ガソリン券について	2件
交通機関の量の不足	2件
交通ルールについて	2件
災害発生時の支援の充実	2件
障害者差別の解消	2件
身体障害者用駐車スペースについて	2件
トイレの整備	2件
福祉教育の充実	2件
放課後デイサービスの充実	2件
民生委員について	2件
介護者の負担軽減	1件
教育に携わる人材の発達障害への理解の推進	1件
心安らぐ場の確保	1件
災害発生時の避難マップの作成	1件
視覚障害者に対する支援の充実	1件
施設サービスに対する要望	1件
児童発達支援の充実	1件
市のイベントについて	1件
市報(デイジー版)について	1件
障害者手帳で利用できる交通機関の充実	1件
障害当事者が提言できる環境の整備	1件
障害児に対する支援の充実	1件
通所サービスの充実	1件
通信手段の確保	1件
難病患者に対する支援の充実	1件
福祉に携わる人材の確保	1件
ヘルプマークの啓発活動	1件
保育園や各施設の障害児受け入れについて	1件
アンケートについて	3件
その他	37件

【精神疾患等調査】

精神疾患等調査では、のべ 40 件の回答がありました。記入内容を項目別にまとめると、以下のようになります。

(合計 40 件)	
市職員の障害者に対する対応の充実	5 件
親亡き後の暮らしに対する不安	4 件
<b>具体的記載内容実例：</b> ○両親が年老いている。本人の身のふり方等心配です。	
経済的支援	2 件
工賃の引き上げ	2 件
交流の場の確保	2 件
就労支援の充実	2 件
障害者差別の解消	2 件
障害者福祉に携わる人材の確保(保健師や臨床心理士等)	2 件
相談体制の充実	2 件
地域活動支援センターの充実	2 件
医療機関との連携の充実	1 件
大人の発達障害に対する支援の充実	1 件
薬についての情報提供の充実	1 件
グループホームの整備	1 件
災害時に受診できる医療機関の充実	1 件
作業所の充実	1 件
障害者手帳を利用できる交通手段や施設の充実	1 件
手続きの簡略化	1 件
催し物の充実	1 件
リハビリ訓練所の整備	1 件
その他(謝辞や本問に関係のない内容等)	5 件